

第6次藤枝市総合計画  
後期計画策定基礎調査業務委託

報 告 書

令和7年3月

藤枝市



# 目次

<b>I. 調査概要</b> .....	<b>1</b>
調査の目的 .....	1
調査方法 .....	1
調査項目 .....	1
回収結果 .....	1
<b>II. 調査結果の概要</b> .....	<b>2</b>
1. 藤枝市での暮らしについて .....	2
2. 藤枝市のイメージについて .....	2
3. 藤枝市の取り組みに対する「満足度」「重要度」 .....	2
4. これからのまちづくりについて .....	2
5. 情報収集手段について .....	3
6. 人口減少対策について .....	3
7. 健康・予防のまちづくりについて .....	3
<b>III. 集計結果</b> .....	<b>4</b>
I あなた自身のことについてお尋ねします。 .....	4
II 藤枝市でのあなたの暮らしについてお尋ねします。 .....	12
III 藤枝市のイメージについてお尋ねします。 .....	20
IV 藤枝市の取り組みに対する「満足度」「重要度」についてお尋ねします。 .....	23
V これからのまちづくりについてお尋ねします。 .....	41
VI 情報収集手段についてお尋ねします。 .....	50
VII 人口減少対策についてお尋ねします。 .....	52
VIII 「健康・予防のまちづくり」についてお尋ねします。 .....	56

# I. 調査概要

## 調査の目的

令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間とする「第6次藤枝市総合計画」の後期計画策定に向け、社会環境の変化等に対応する施策の在り方等の見直しや、新たな取り組み等を検討するため、市民の意見、提案などを広く聴取し、分析することで、施策等に取り入れていく基礎とする。

## 調査方法

調査対象：市内在住の満16歳以上の方、3,000人（無作為抽出）

調査期間：令和7年2月1日～令和7年2月21日

配布方法：郵送配布

回収方法：郵送またはWEBによる回答

## 調査項目

- I 属性
- II 藤枝市での暮らしについて
- III 藤枝市のイメージについて
- IV 藤枝市の取り組みに対する「満足度」「重要度」について
- V これからのまちづくりについて
- VI 情報収集手段について
- VII 人口減少対策について
- VIII 「健康・予防のまちづくり」について

## 回収結果

配布数	回収数	回収率
3,000人	1,146人	38.2%

## II. 調査結果の概要

### 1. 藤枝市での暮らしについて

8割以上の方が「住みやすい」と感じているとともに、定住意向も「住み続けたい」と考えている方が8割を超えている。また、現在「幸せ」と感じている方及び今後5年後も「幸せ」だと思われている方が半数を超えている。

藤枝市での暮らしに関して、「藤枝市に愛着を持っていますか」の問いについて「はい」と答えた方が8割を超えていることから、回答者の藤枝市に対する愛着度は高く、定住意向もかなり高いと言える。

暮らしに関する質問では、「ごみ減少への意識」「地域の安心」の問いについて「はい」の回答が8割を超えている。一方で「路線バスの利用」の問いについて「いいえ」の回答が8割を超えている。

### 2. 藤枝市のイメージについて

藤枝市の魅力を「気候が温暖で生活しやすい環境である」と答えた方が一番多く55.8%であり、次いで「ほどよく都会、ほどよく田舎である」と答えた方が44.1%となっている。

藤枝市が誇れるものについては、「蓮華寺池公園」が一番多く66.3%であり、半数以上の方があげている。次いで「サッカー文化」31.3%、「瀬戸川の桜並木」22.5%となっている。

### 3. 藤枝市の取り組みに対する「満足度」「重要度」

満足度については、「満足」、「やや満足」と回答した方を合計すると、「安定した水道水の供給」が一番多く81.7%となっている。「不満」、「やや不満」と回答した方を合計すると、「公共交通機関の利便性」が一番多く57.7%となっている。

重要度については、「重要」、「やや重要」と回答した方を合計すると、「安定した水道水の供給」が一番多く91.4%であり、次いで「医療の充実」90.9%、「地震・水害・火災など災害に強いまちづくり」90.7%となっている。

重点度の上位5位は「安定した水道水の供給」、「医療の充実」、「地震・水害・火災など災害に強いまちづくり」、「ごみ・リサイクル対策」、「犯罪防止対策」となっている。

### 4. これからのまちづくりについて

藤枝市が将来目指すべきまちの姿として、「福祉や医療などが充実したまち」と回答した方が一番多く39.7%であり、次いで「災害に強いまち」33.6%、「こども・子育てに優しいまち」32.6%となっている。「災害に強いまち」は、重点度でも3位に挙げられているため、ニーズが高いことがわかる。

まちづくり活動への参加については、「積極的に参加している」「ある程度参加している」と回答した方を合計すると18.1%であり「あまり参加していない」「参加していない」と回答した方を合計すると、79.8%となっている。前回調査では、「あまり参加していない」「参加していない」と回答した方を合計すると今回調査と同じ構成比であり、参加していない方が変わらず多いことがわかる。

まちづくり活動に参加している方の活動内容としては、「地域おこし」が一番多く32.6%であり、次いで「地域安全」27.4%、「文化・芸術・スポーツの振興」24.3%となっている。

まちづくり活動に参加していない理由としては、「仕事や家事などが忙しい」が一番多く 48.3%であり、次いで「活動に関する情報が入らない」39.7%、「参加方法がわからない」26.4%となっている。

藤枝市のまちづくりの進め方としては、「住民の声を聞き、行政が中心となって進める」が一番多く 49.7%となっている。

行政運営に望むこととしては、「市民へのわかりやすさ」が一番多く 36.9%であり、次いで「行政情報の積極的な公開」10.4%、「民間で活躍し実績のある人材の登用」10.0%となっている。

## 5. 情報収集手段について

普段情報を収集する媒体としては、「スマートフォン」が一番多く 42.0%であり、次いで「テレビ」39.0%、「新聞」9.1%となっている。

藤枝市の情報を収集する媒体としては、「広報誌（広報ふじえだ）」が一番多く 75.7%であり、次いで「テレビ、新聞などの報道」36.4%、「市LINE公式アカウント」24.2%となっている。「広報誌（広報ふじえだ）」と回答している方が多いことから、普段の情報収集手段である「テレビ」、「新聞」にプラスして市の情報を収集していることがわかる。また、スマートフォンの普及によりライン公式アカウントで情報を収集している方が増えている。

## 6. 人口減少対策について

人口減少を抑制する対策としては、「働きながら子育てできる環境の整備」が一番多く 53.3%であり、次いで「子育てや教育、住宅取得に係る費用の支援充実」36.8%、「医療・福祉サービスの充実」27.9%となっている。

人口減少に適応する対策としては、「女性、若者の活躍促進」が一番多く 41.3%であり、次いで「都市機能（行政機能や商業・業務機能など）の集約化、市街地と郊外部の役割分担」37.5%、「市街地拡大の抑制、空き家活用の推進」34.4%となっている。

## 7. 健康・予防のまちづくりについて

「健康・予防」をテーマにした新たな産業づくり、まちづくりについては、「必要」と感じていると回答した方が一番多く 55.8%である。一方で「不要」と感じていると回答した方は 4.6%である。

有機農業への取り組みについては、「知っている」と回答した方は 5.2%となっており、ほとんど知られていないことがわかる。

有機食材のイメージについては、「体に良い」が一番多く 71.1%であり、次いで「値段が高い」47.7%、「環境に優しい」45.0%となっている

食材を購入する際の産地へのこだわりについては、「なるべく国産品を選ぶ」が一番多く 49.0%ある。また、「こだわりはない」が 20.9%となっている。

市内で生産される農作物の流通や消費を増やす方法としては、「求めやすい値段設定」が一番多く 74.9%であり、次いで「学校給食での提供」43.8%、「地元小売店での販売」41.6%となっている。

中小企業の持続性や成長のために必要と考えることとしては、「地域産業を牽引する新たな成長産業の創出」が一番多く 22.2%であり、次いで「成長企業や大学等と連携したノウハウや人材の獲得」18.5%、「革新的な技術やサービスを有する新興企業等との連携」14.8%となっている。

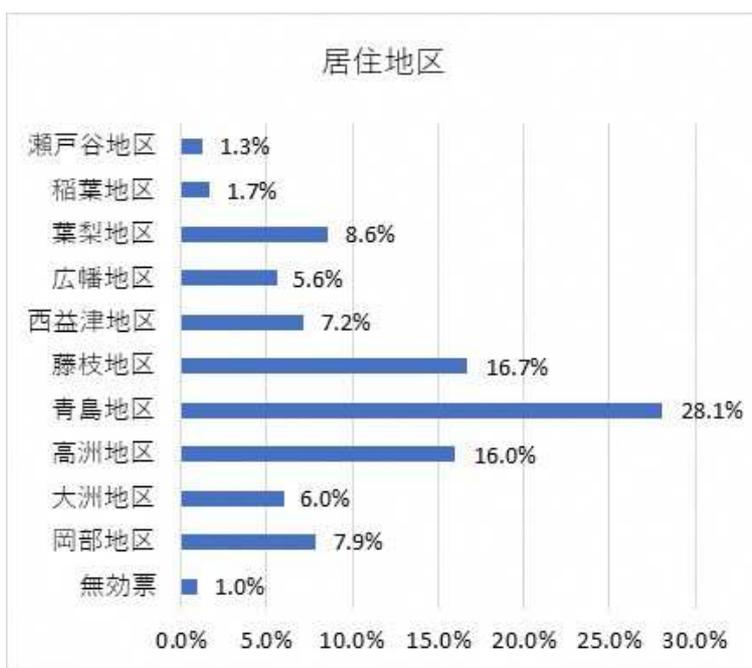
### Ⅲ.集計結果

Ⅰ あなた自身のことについてお尋ねします。

問1 あなたがお住まいの地区をお答えください。

「青島地区」が一番多く 28.1%であり、次いで「藤枝地区」16.7%、「高洲地区」16.0%となっている。

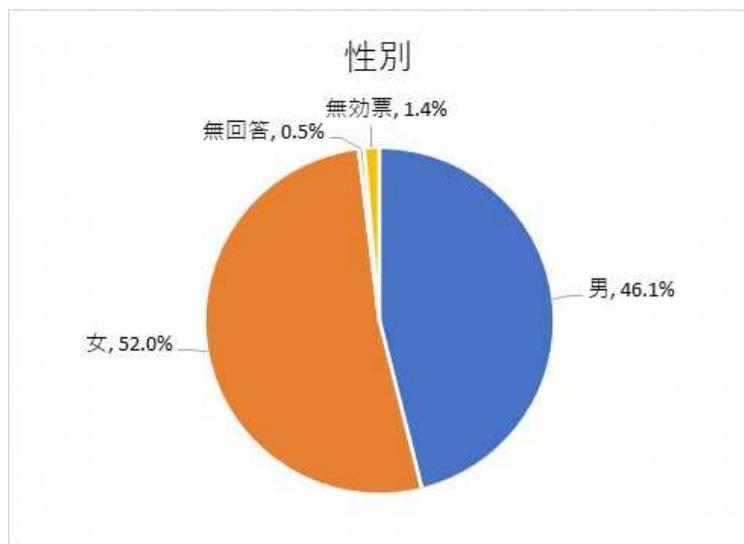
地区	回答数	構成比
瀬戸谷地区	15	1.3%
稲葉地区	20	1.7%
葉梨地区	98	8.6%
広幡地区	64	5.6%
西益津地区	82	7.2%
藤枝地区	191	16.7%
青島地区	322	28.1%
高洲地区	183	16.0%
大洲地区	69	6.0%
岡部地区	90	7.9%
無効票	12	1.0%
合計	1,146	100.0%



問2 あなたの性別をお答えください。

男性、女性のどちらにも回答していただいた。

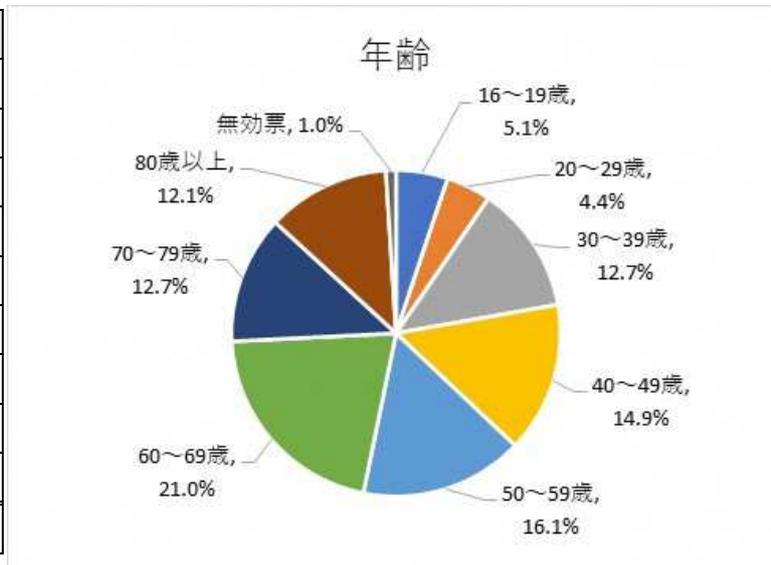
性別	回答数	構成比
男	528	46.1%
女	596	52.0%
無回答	6	0.5%
無効票	16	1.4%
合計	1,146	100.0%



問3 あなたの年齢をお答えください。

「60～69歳」が一番多く21.0%であり、次いで「50～59歳」16.1%、「40～49歳」14.9%となっている。

年齢	回答数	構成比
16～19歳	58	5.1%
20～29歳	50	4.4%
30～39歳	146	12.7%
40～49歳	171	14.9%
50～59歳	184	16.1%
60～69歳	241	21.0%
70～79歳	145	12.7%
80歳以上	139	12.1%
無効票	12	1.0%
合計	1,146	100.0%



問4 あなたの職業をお答えください。

「会社員（正社員）」が一番多く27.4%であり、次いで「無職」18.9%、「パート・アルバイト」13.2%となっている。

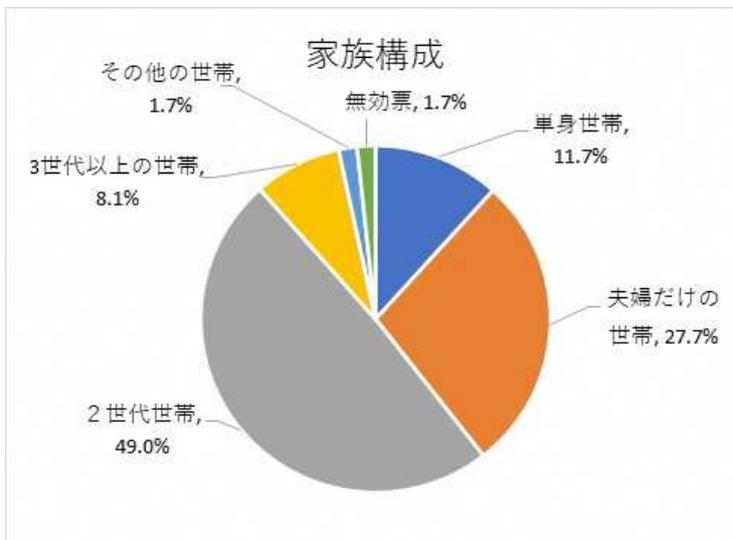
職業	回答数	構成比
会社員（正社員）	314	27.4%
会社員（非正規、派遣）	63	5.5%
公務員	67	5.8%
団体職員	11	1.0%
会社・団体等の役員	22	1.9%
パート・アルバイト	151	13.2%
農・林・漁業	16	1.4%
自営業・自由業	52	4.5%
主夫・主婦	150	13.1%
学生	60	5.2%
無職	217	18.9%
無効票	23	2.0%
合計	1,146	100.0%



問5 あなたの家族の構成をお答えください。

「2世代世帯」が一番多く49.0%であり、次いで「夫婦だけの世帯」27.7%、「単身世帯」11.7%となっている。

家族構成	回答数	構成比
単身世帯	134	11.7%
夫婦だけの世帯	318	27.7%
2世代世帯	562	49.0%
3世代以上の世帯	93	8.1%
その他の世帯	19	1.7%
無効票	20	1.7%
合計	1,146	100.0%



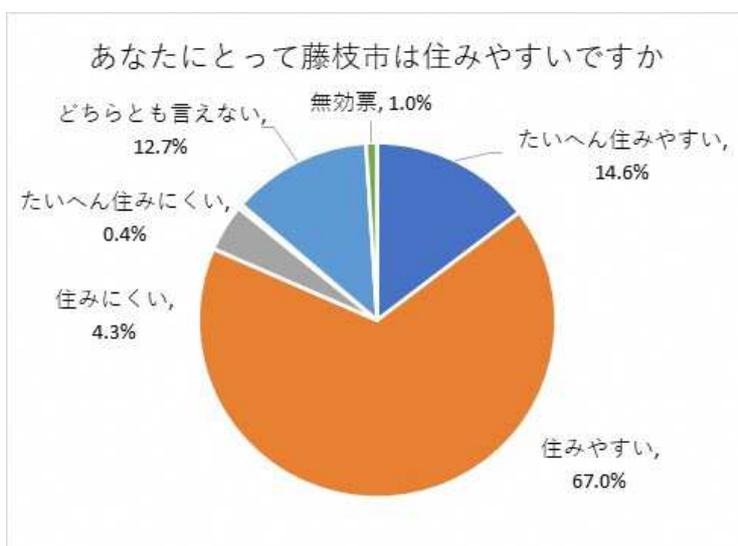
問6 あなたにとって藤枝市は住みやすいですか？

住みやすさについて、「たいへん住みやすい」が14.6%（167人）、「住みやすい」が67.0%（768人）であり、「住みやすい」と感じている人が81.6%となっている。

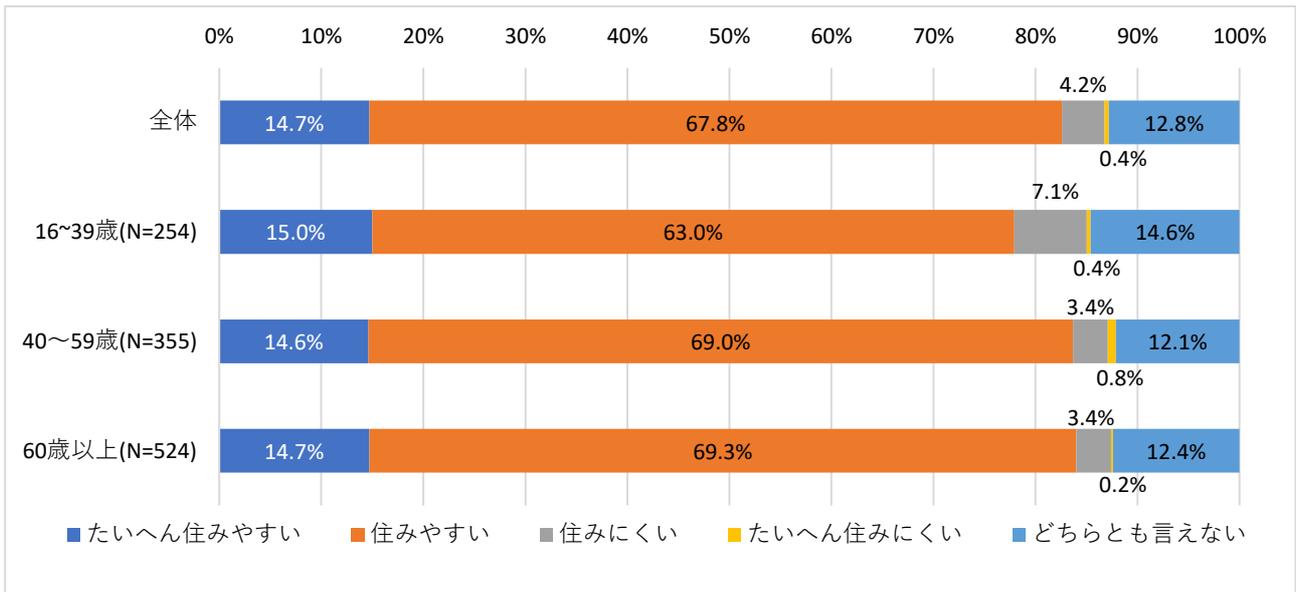
年齢別にみると、どの世代でも約6割以上が「住みやすい」と感じていることがわかる。

経年変化でみると、令和元年度の「たいへん住みやすい」「住みやすい」と感じている人が合計81.5%に比べて、令和6年度は82.4%となり、若干増加していることがわかる。なお、平成26年から令和元年にかけて「たいへん住みやすい」の割合は大きく減少しており、令和6年でもその傾向は続いたままである。

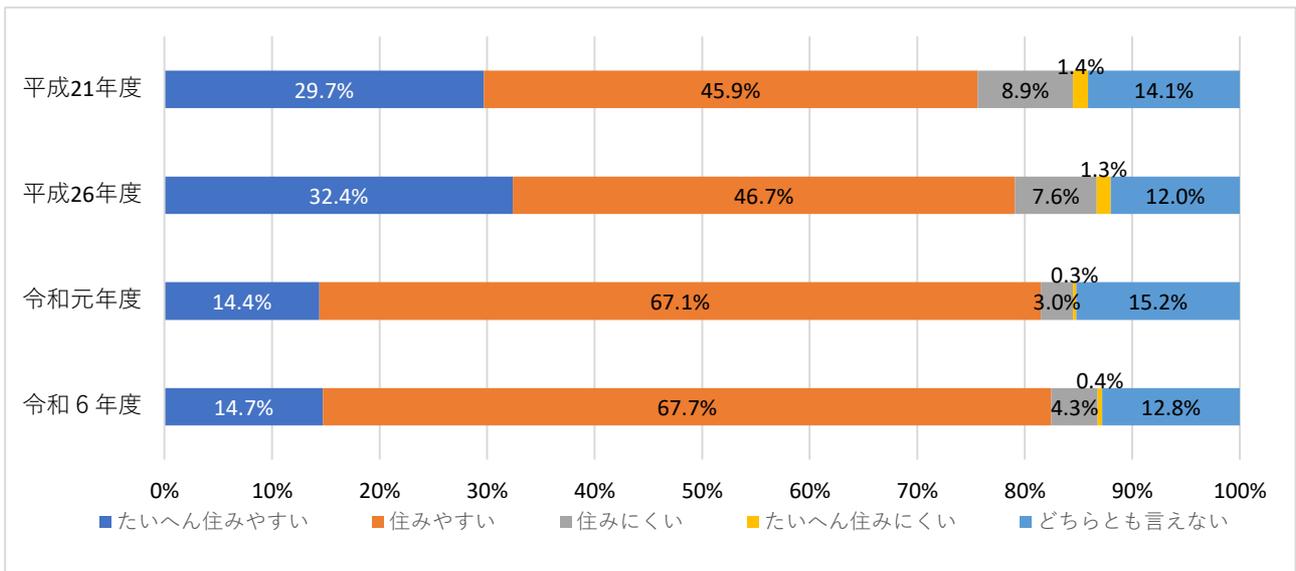
住みやすさ	回答数	構成比
たいへん住みやすい	167	14.6%
住みやすい	768	67.0%
住みにくい	49	4.3%
たいへん住みにくい	5	0.4%
どちらとも言えない	145	12.7%
無効票	12	1.0%
合計	1,146	100.0%



【年齢別】



【経年変化】



問7 これからも、現在の場所に住み続けたいと思いますか？

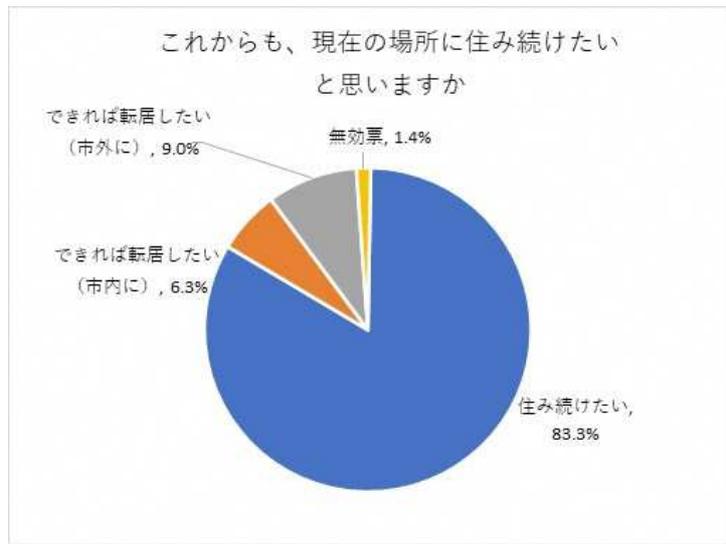
現在の場所に「住み続けたい」が一番多く 83.3%であり 8 割を超えている。次いで「できれば転居したい（市外に）」9.0%、「できれば転居したい（市内に）」6.3%となっている。

経年変化でみると、「住み続けたい」が令和元年度より 2.2%増加しており、転居したいと考えている方が前回より減少していることがわかる。

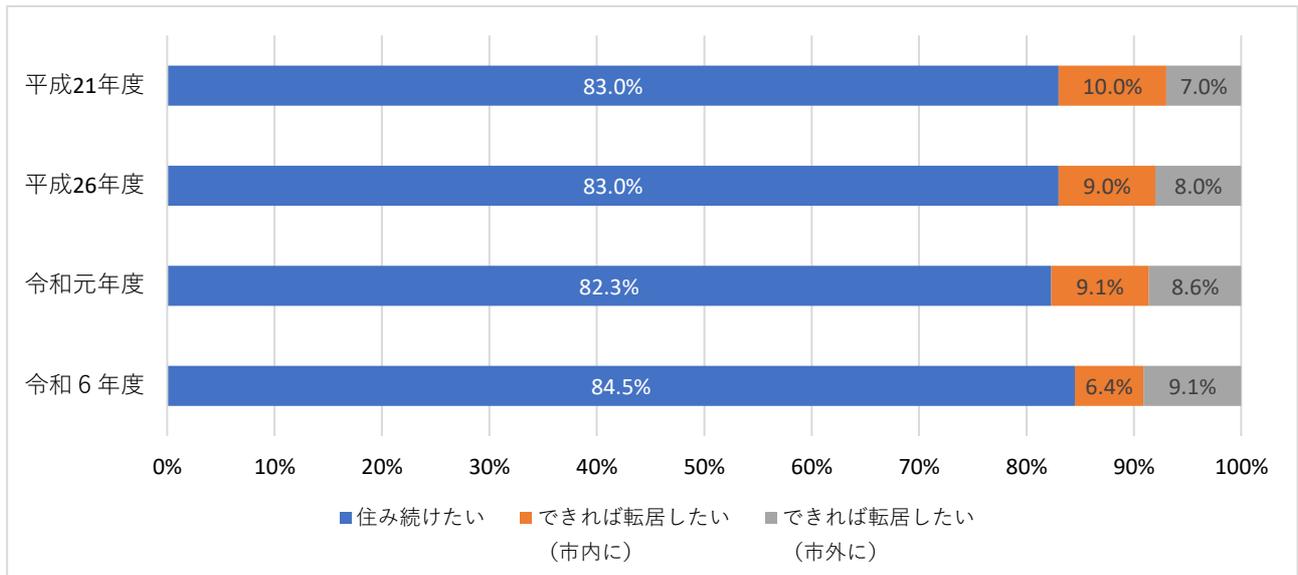
年齢別にみると、現在の場所に「住み続けたい」が 16～39 歳では 75.2%、40～59 歳では 83.8%、60 歳以上では 89.7%となっており、年齢が上がるにつれて多くなっていることがわかる。

地区別にみると、現在の場所に「住み続けたい」が高洲地区では、91.2%で一番多く、次いで稲葉地区で 90.0%となっている。瀬戸谷地区では現在の場所に「住み続けたい」が 73.3%と一番少なくなっている。また、瀬戸谷地区では、「できれば転居したい（市内に）」が他の地区より多くなっている。

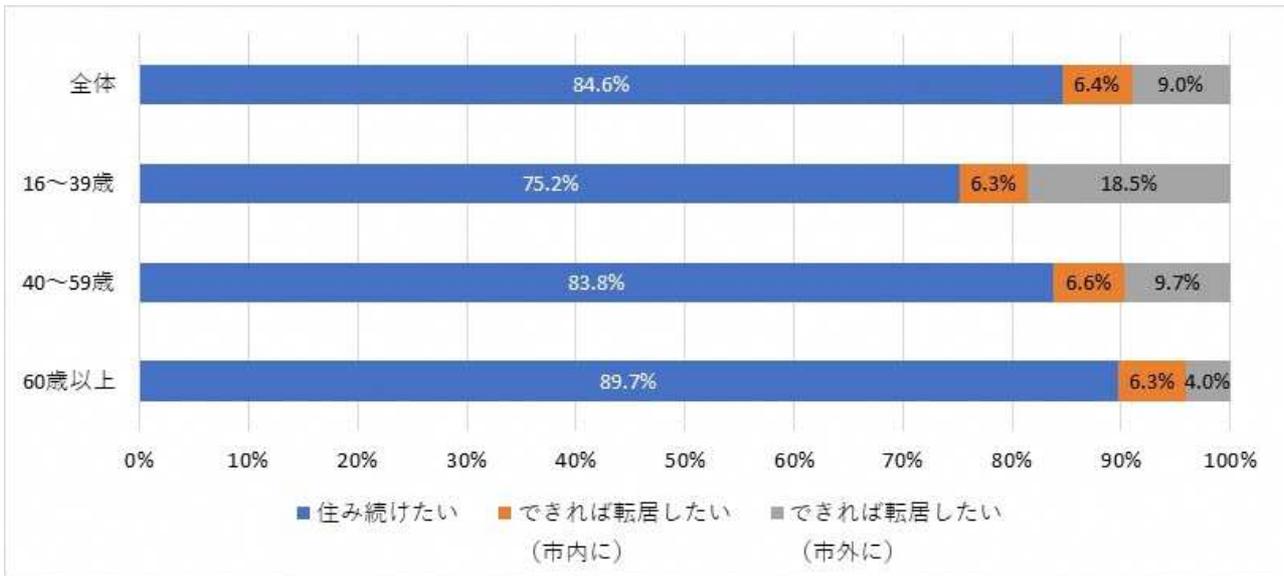
永住意向	回答数	構成比
<b>住み続けたい</b>	<b>955</b>	<b>83.3%</b>
できれば転居したい（市内に）	72	6.3%
できれば転居したい（市外に）	103	9.0%
無効票	16	1.4%
合計	1,146	100.0%



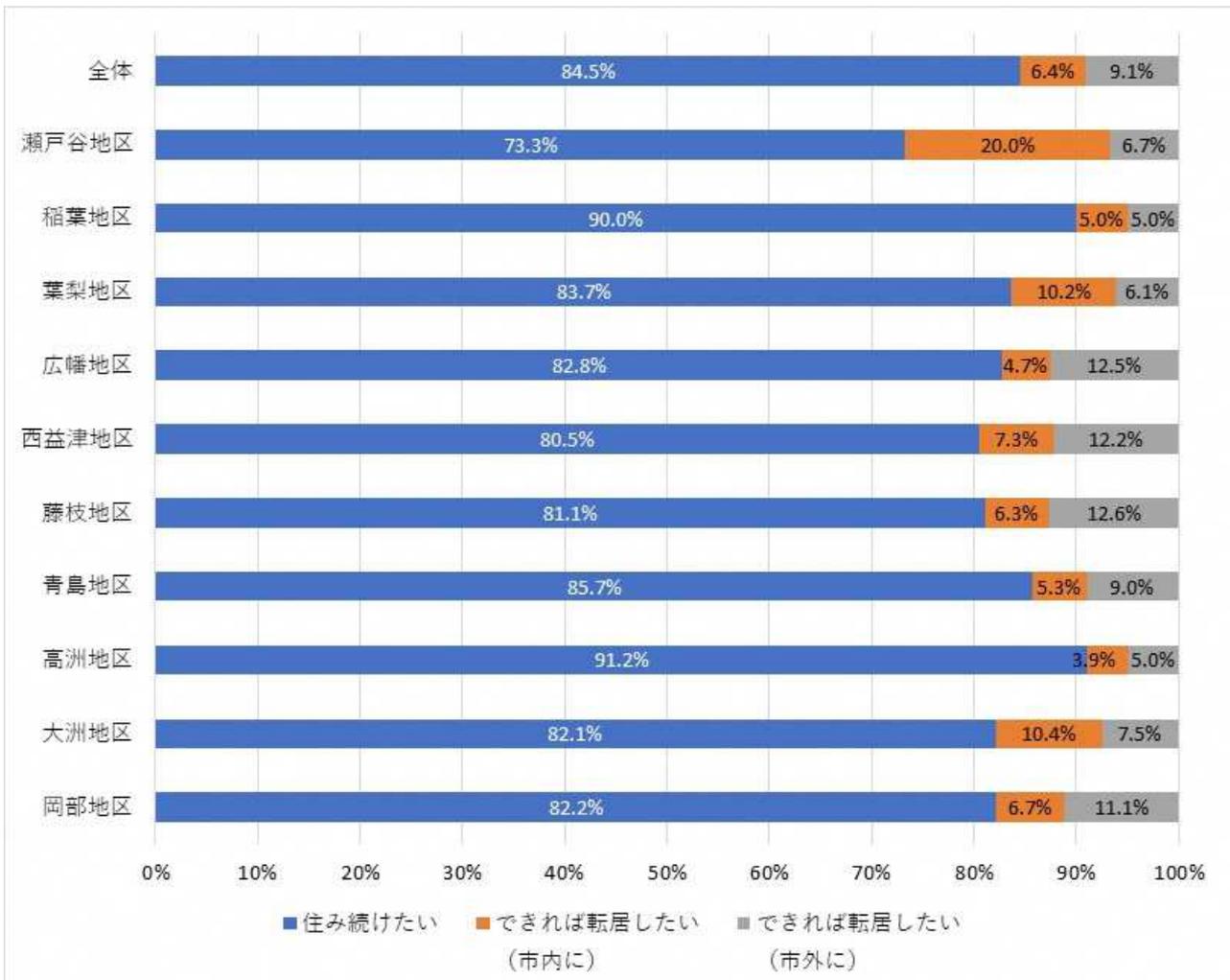
【経年変化】



【年齢別】



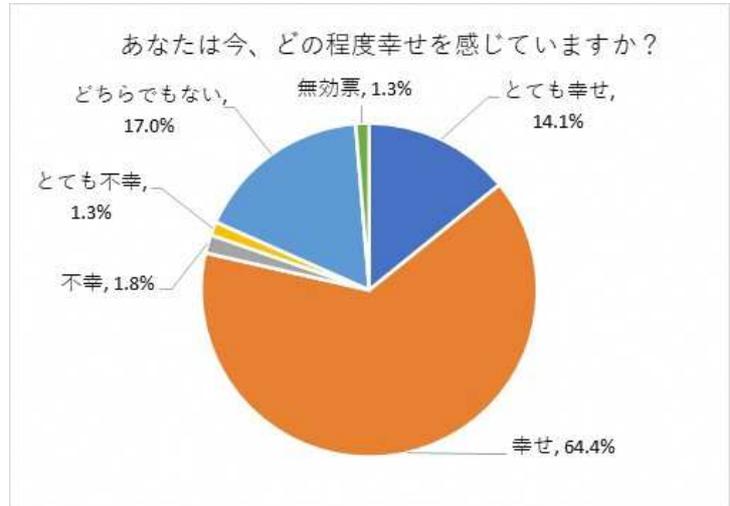
【地区別】



問8 あなたは今、どの程度幸せを感じていますか？

幸福度について、「とても幸せ」が14.1%（162人）、「幸せ」が64.4%（738人）であり、「幸せ」と感じている人が78.5%となっている。

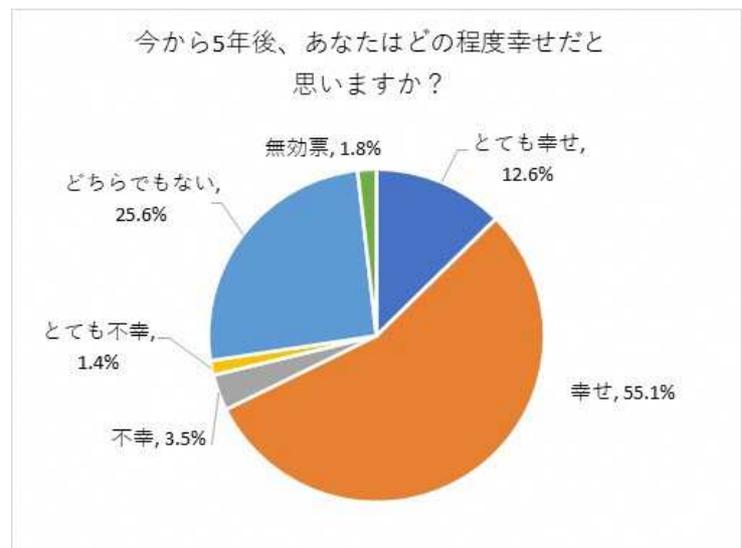
幸福度	回答数	構成比
とても幸せ	162	14.1%
幸せ	738	64.4%
不幸	21	1.8%
とても不幸	15	1.3%
どちらでもない	195	17.0%
無効票	15	1.3%
合計	1,177	100.0%



問9 今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか？

5年後の幸福度について、「とても幸せ」が12.6%（144人）、「幸せ」が55.1%（632人）であり、「幸せ」と感じている人が67.7%となっている。

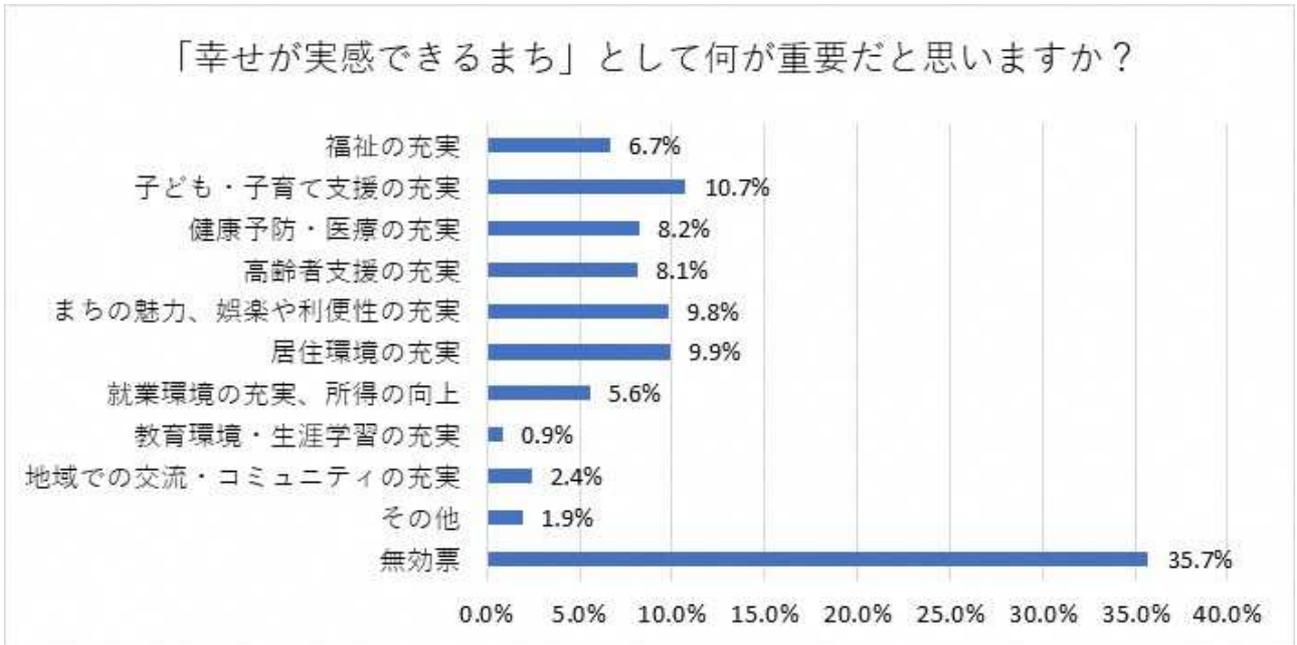
5年後幸福度	回答数	構成比
とても幸せ	144	12.6%
幸せ	632	55.1%
不幸	40	3.5%
とても不幸	16	1.4%
どちらでもない	293	25.6%
無効票	21	1.8%
合計	1177	100.0%



問10 「幸せが実感できるまち」として何が重要だと思いますか？

「子ども・子育て支援の充実」が一番多く 10.7%であり、次いで「居住環境の充実」9.9%、「まちの魅力、娯楽や利便性の充実」9.8%となっている。

「幸せが実感できるまち」として何が重要だと思いますか	回答数	構成比
福祉の充実	77	6.7%
<b>子ども・子育て支援の充実</b>	<b>123</b>	<b>10.7%</b>
健康予防・医療の充実	94	8.2%
高齢者支援の充実	93	8.1%
<b>まちの魅力、娯楽や利便性の充実</b>	<b>112</b>	<b>9.8%</b>
<b>居住環境の充実</b>	<b>114</b>	<b>9.9%</b>
就業環境の充実、所得の向上	64	5.6%
教育環境・生涯学習の充実	10	0.9%
地域での交流・コミュニティの充実	28	2.4%
その他	22	1.9%
無効票	409	35.7%



II 藤枝市でのあなたの暮らしについてお尋ねします。

問1 藤枝市での暮らしに関する質問について「はい」・「いいえ」のどちらかを○で囲んでください。

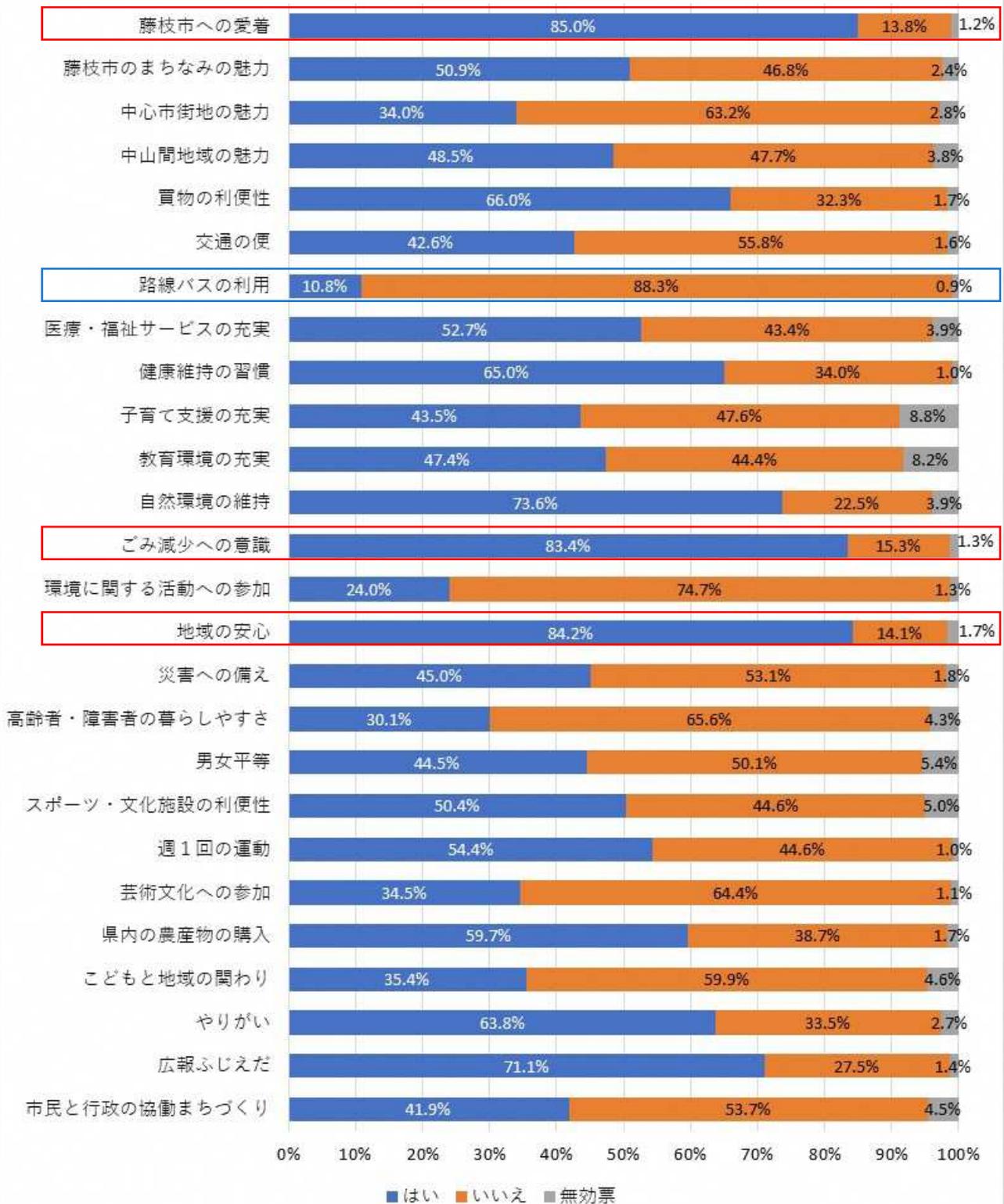
藤枝市での暮らしに関して、「藤枝市への愛着」「ごみ減少への意識」「地域の安心」で「はい」の回答が80%を超えている。一方で「路線バスの利用」で「いいえ」の回答が80%を超えている。

住みやすさ別でみると、「大変住みやすい」、「住みやすい」と回答した方で、「藤枝市に愛着を持っている」「ごみ減少の意識が高い」「お住まいの地域は安心して暮らせる」方は、約8~9割であり、「住みにくい」と回答した方で、「藤枝市に愛着を持っている」「お住まいの地域は安心して暮らせる」方は、5割程度となっている。また、「住みにくい」と回答している方は、全体的に「いいえ」の割合が多くなっている。

	はい		いいえ		無効票		統計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
藤枝市に愛着を持っていますか	974	85.0%	158	13.8%	14	1.2%	1,146	100.0%
藤枝市のまちなみを魅力的だと感じていますか	583	50.9%	536	46.8%	27	2.4%	1,146	100.0%
中心市街地（藤枝駅周辺）を魅力的だと感じていますか	390	34.0%	724	63.2%	32	2.8%	1,146	100.0%
中山間地域（市北部の田園・山間地域）を魅力的だと感じていますか	556	48.5%	547	47.7%	43	3.8%	1,146	100.0%
買い物の利便性は良いと思いますか	756	66.0%	370	32.3%	20	1.7%	1,146	100.0%
交通の便が良いと思いますか	488	42.6%	640	55.8%	18	1.6%	1,146	100.0%
日頃、路線バスを利用しますか	124	10.8%	1012	88.3%	10	0.9%	1,146	100.0%
医療・福祉サービスが充実していると思いますか	604	52.7%	497	43.4%	45	3.9%	1,146	100.0%
病気予防や健康維持のために日頃から取り組んでいることがありますか	745	65.0%	390	34.0%	11	1.0%	1,146	100.0%
子育て支援が充実していると思いますか	499	43.5%	546	47.6%	101	8.8%	1,146	100.0%
教育環境が充実していると思いますか	543	47.4%	509	44.4%	94	8.2%	1,146	100.0%
自然環境は守られていると思いますか	843	73.6%	258	22.5%	45	3.9%	1,146	100.0%
日頃からごみを減らそうと意識していますか	956	83.4%	175	15.3%	15	1.3%	1,146	100.0%
この1年間に環境に関する活動に参加したことがありますか	275	24.0%	856	74.7%	15	1.3%	1,146	100.0%
現在お住まいの地域は安心して暮らせますか	965	84.2%	162	14.1%	19	1.7%	1,146	100.0%

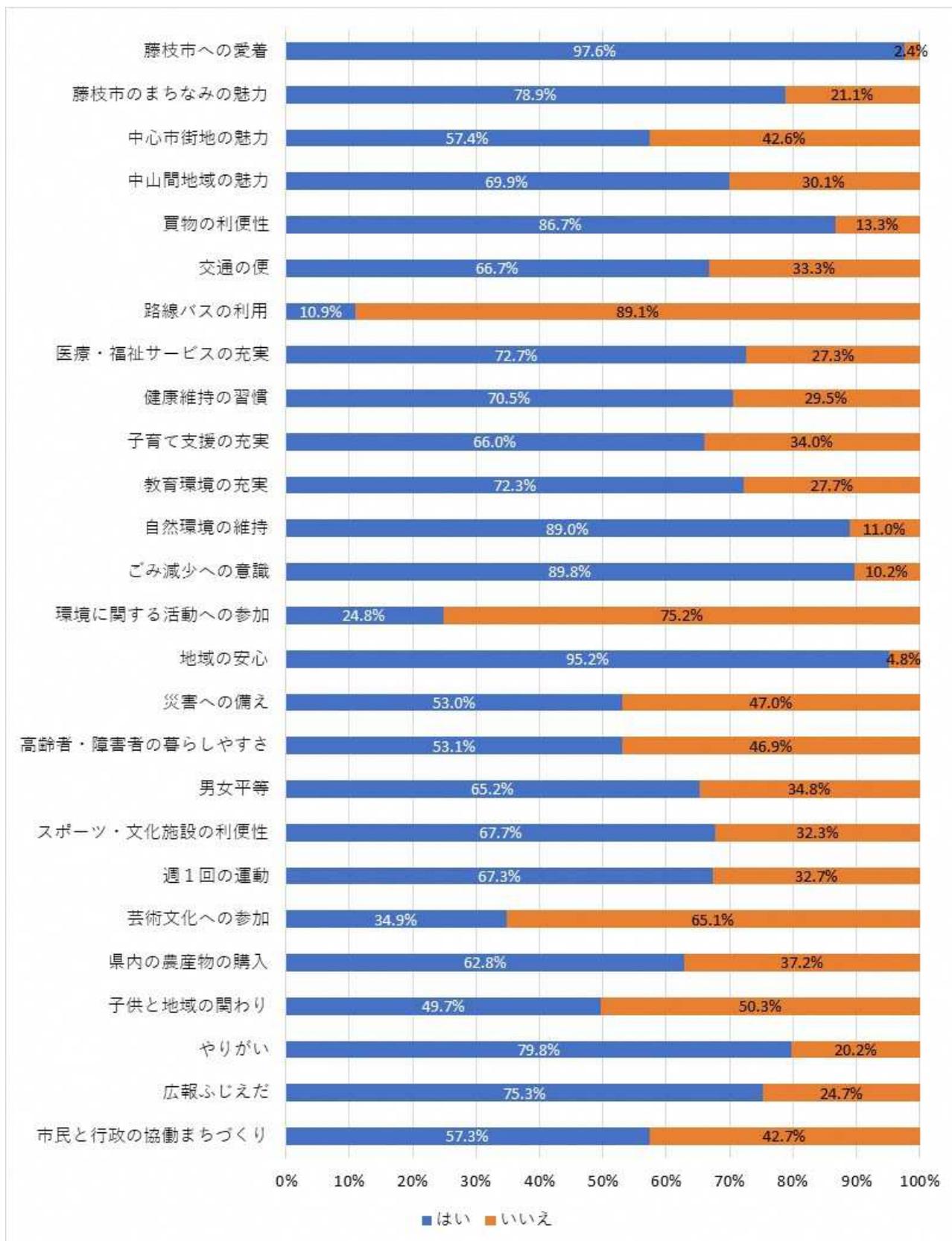
	はい		いいえ		無効票		統計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
地震・水害・火災などの災害に対して、家庭内で十分な備えをしていますか	516	45.0%	609	53.1%	21	1.8%	1,146	100.0%
高齢者・障害者が暮らしやすい環境が整っていると感じていますか	345	30.1%	752	65.6%	49	4.3%	1,146	100.0%
男女が平等に生活していく社会づくりが進んできていると感じていますか	510	44.5%	574	50.1%	62	5.4%	1,146	100.0%
スポーツ・文化施設は利用しやすいと思いますか	578	50.4%	511	44.6%	57	5.0%	1,146	100.0%
週1回以上、運動を行っていますか	623	54.4%	511	44.6%	12	1.0%	1,146	100.0%
この1年間に芸術文化の観賞もしくは活動に参加したことがありますか	395	34.5%	738	64.4%	13	1.1%	1,146	100.0%
藤枝市または静岡県内で生産された農産物を優先的に購入していますか	684	59.7%	443	38.7%	19	1.7%	1,146	100.0%
子どもたちと地域の人たちとの交流の場があると思いますか	406	35.4%	687	59.9%	53	4.6%	1,146	100.0%
日常生活の中で「やりがい」のあるものがありますか	731	63.8%	384	33.5%	31	2.7%	1,146	100.0%
毎月、広報ふじえだに目を通していますか	815	71.1%	315	27.5%	16	1.4%	1,146	100.0%
市民と行政が力をあわせてまちづくりに取り組んでいると感じていますか	480	41.9%	615	53.7%	51	4.5%	1,146	100.0%

## 藤枝市でのあなたの暮らしについて

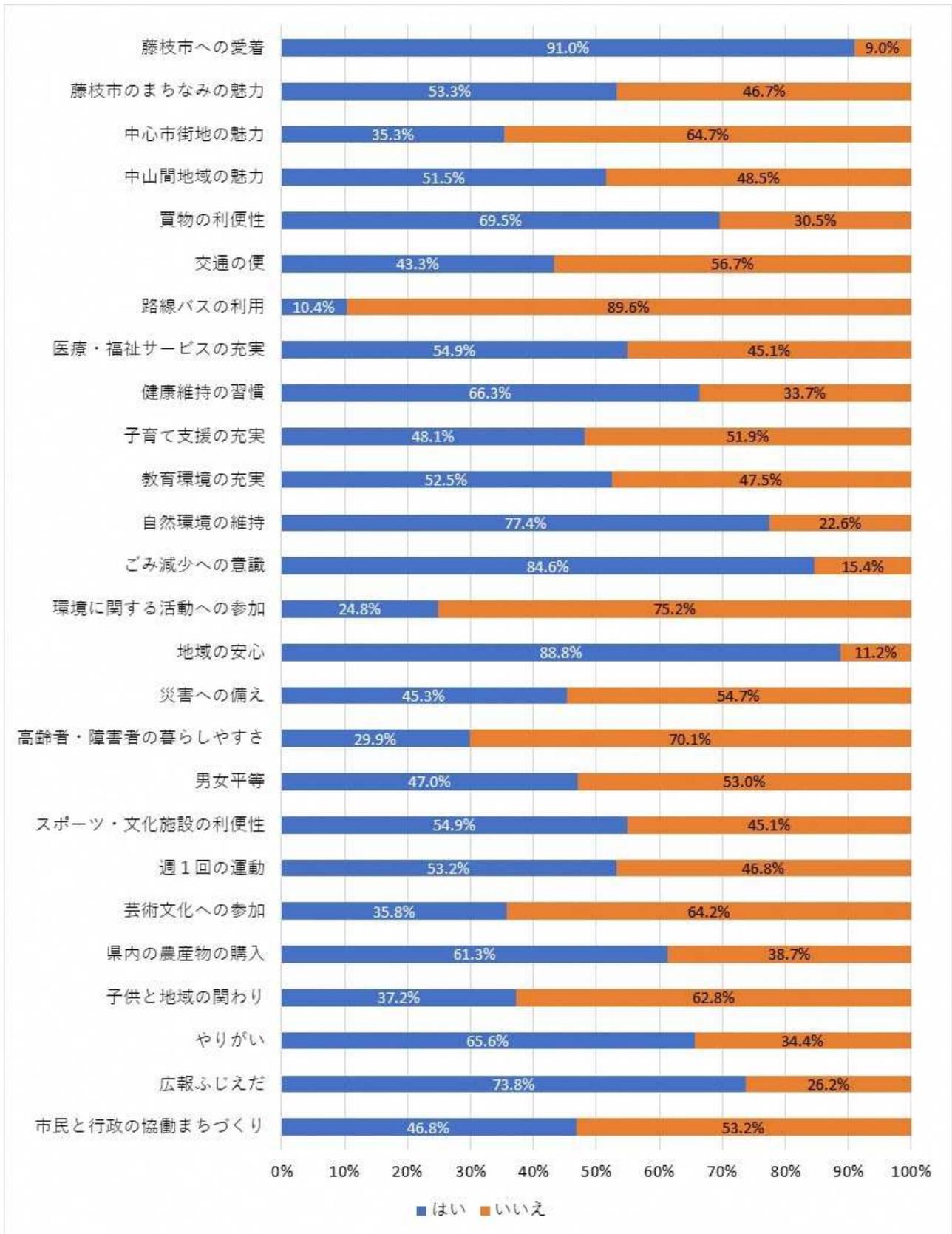


【住みやすさ別】

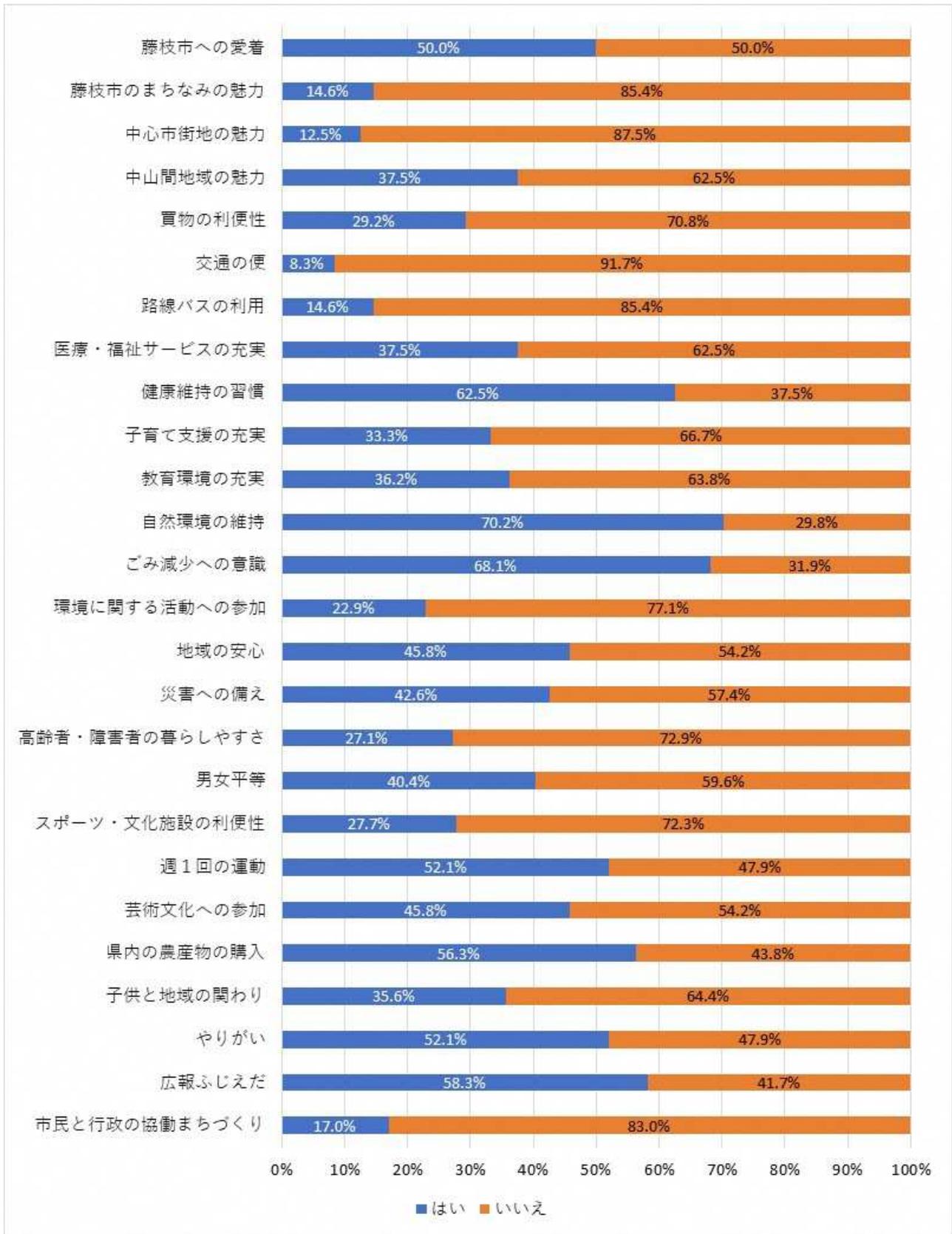
○大変住みやすい



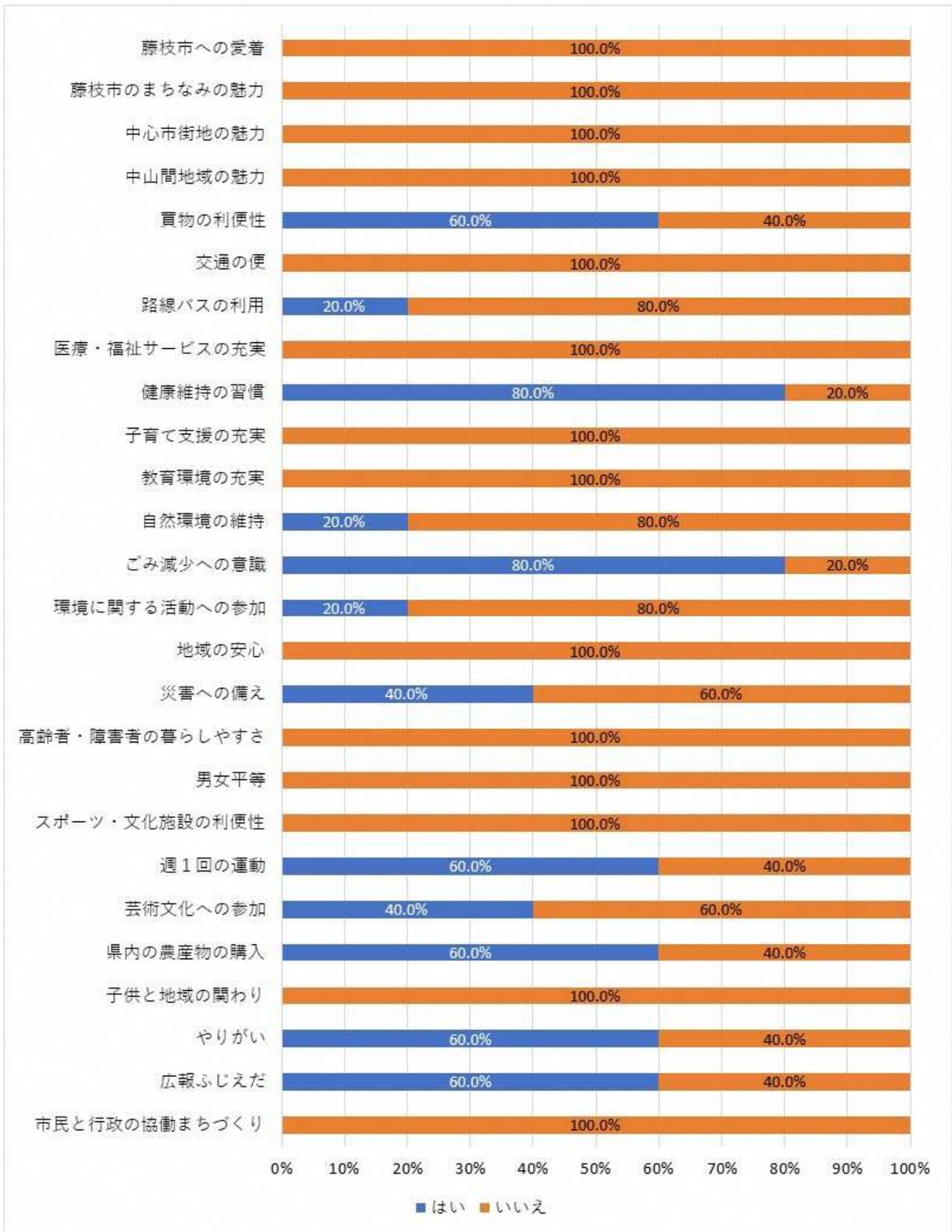
○住みやすい



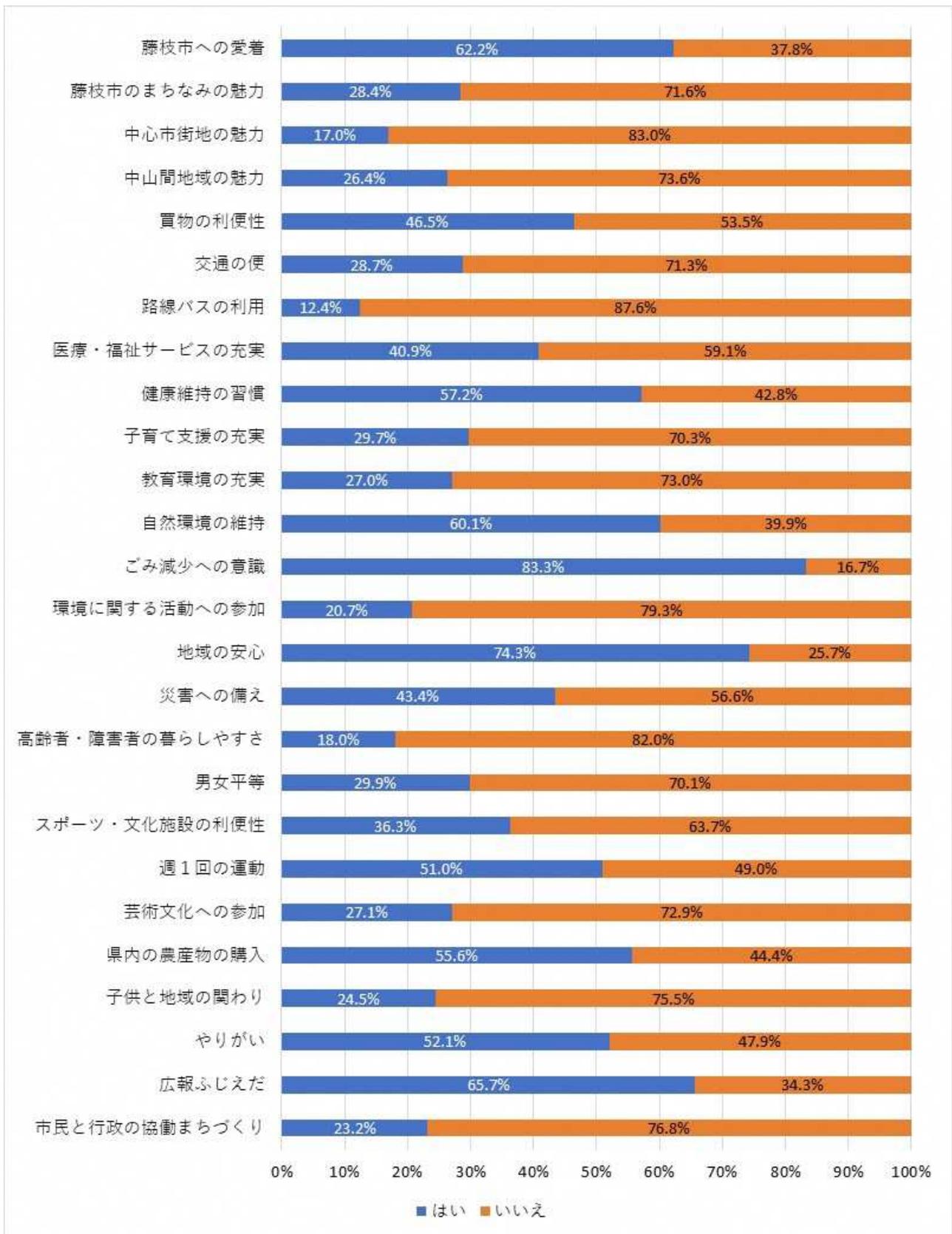
○住みにくい



○大変住みにくい



○どちらでもない



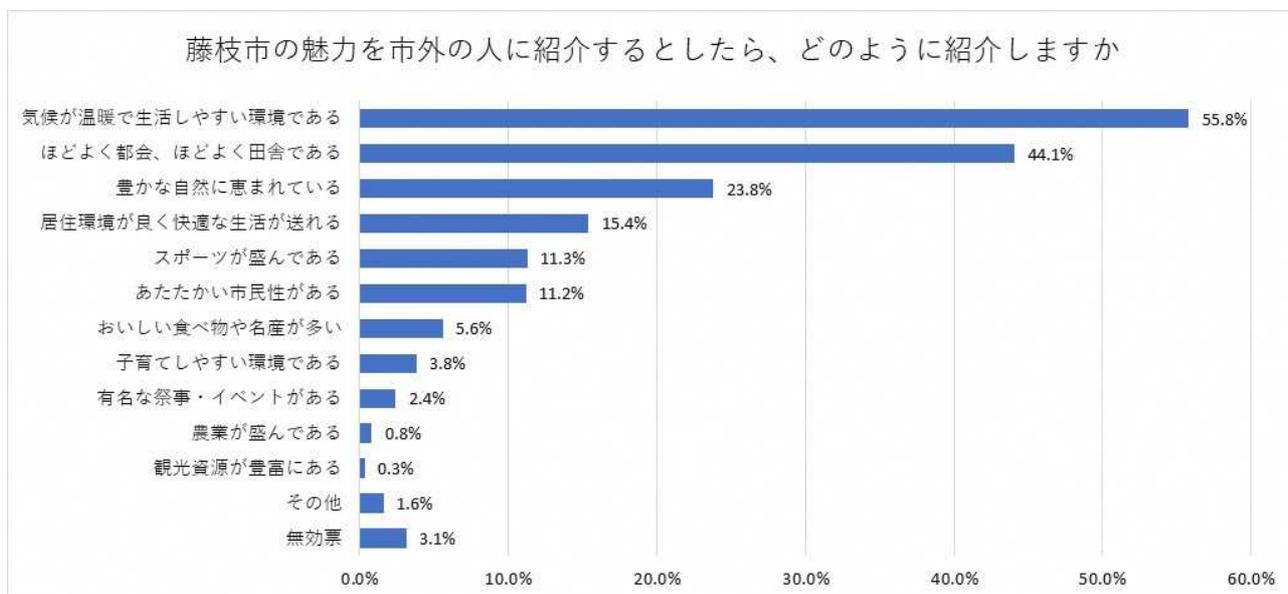
### III 藤枝市のイメージについてお尋ねします。

問 1 2 藤枝市の魅力を市外の人に紹介するとしたら、どのように紹介しますか？ (あてはまるもの2つまでに○)

「気候が温暖で生活しやすい環境である」が一番多く 55.8%であり、次いで「ほどよく都会、ほどよく田舎である」44.1%、「豊かな自然に恵まれている」23.8%となっている。

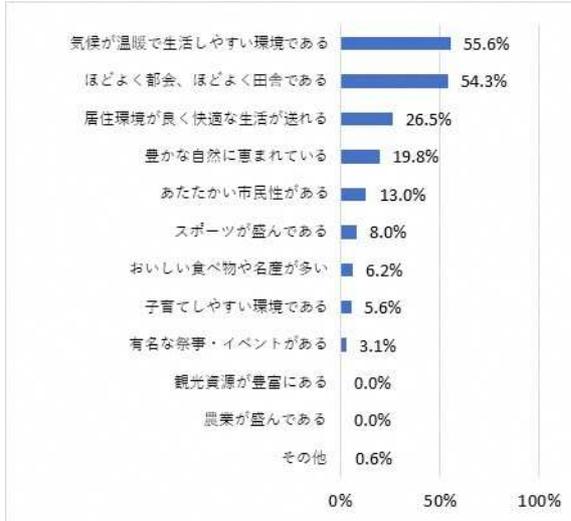
住みやすさ別でみると、どの回答も上位は「気候が温暖で生活しやすい環境である」「ほどよく都会、ほどよく田舎である」「豊かな自然に恵まれている」の3つとなっている。一方で「居住環境が良く快適な生活が送れる」は、住みやすさによって、回答数に差があることがわかる。

	回答数	構成比
ほどよく都会、ほどよく田舎である	505	44.1%
豊かな自然に恵まれている	273	23.8%
居住環境が良く快適な生活が送れる	176	15.4%
気候が温暖で生活しやすい環境である	639	55.8%
おいしい食べ物や名産が多い	64	5.6%
有名な祭事・イベントがある	28	2.4%
スポーツが盛んである	129	11.3%
観光資源が豊富にある	4	0.3%
農業が盛んである	9	0.8%
あたたかい市民性がある	128	11.2%
子育てしやすい環境である	44	3.8%
その他	18	1.6%
無効票	35	3.1%
回答者数	1,146	

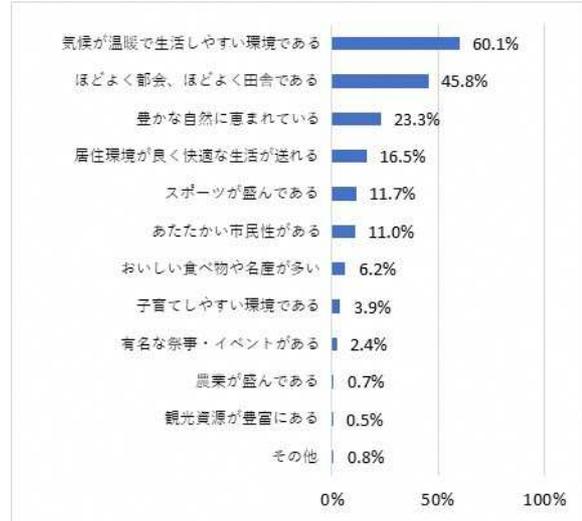


## 【住みやすさ別】

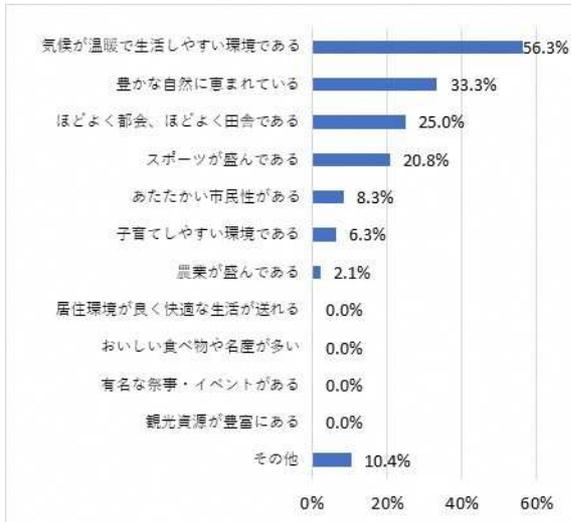
### ○大変住みやすい



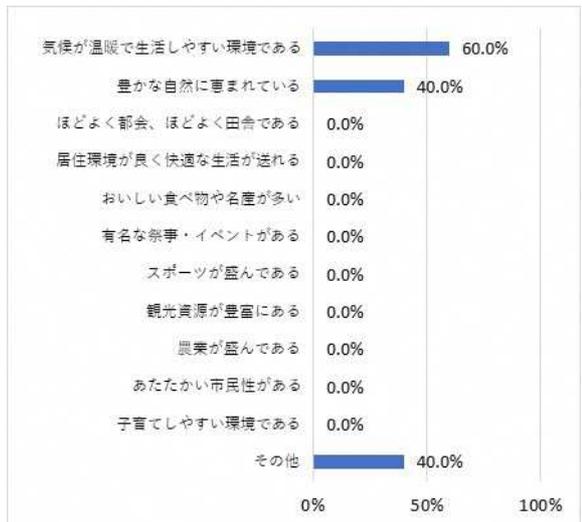
### ○住みやすい



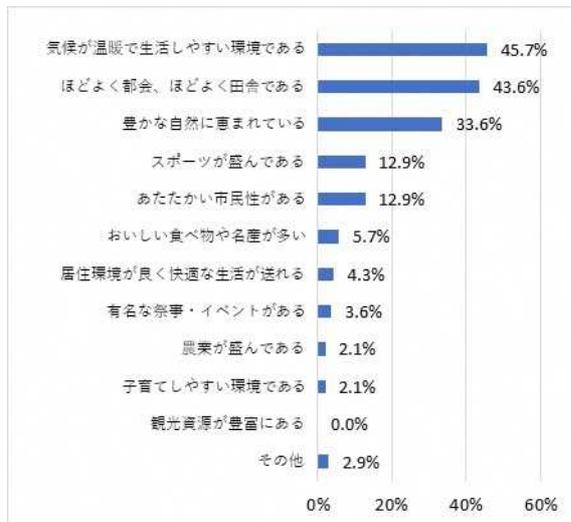
### ○住みにくい



### ○大変住みにくい



### ○どちらでもない



問13 あなたは、藤枝市が誇れるものは何だと思いますか？（あてはまるもの3つまでに○）

「蓮華寺池公園」が一番多く66.3%であり、半数以上の方があげていることがわかる。次いで「サッカー文化」31.3%、「瀬戸川の桜並木」22.5%、となっている。

	回答数	構成比
<b>蓮華寺池公園</b>	<b>760</b>	<b>66.3%</b>
総合運動公園	77	6.7%
瀬戸谷温泉ゆらく	62	5.4%
郷土博物館・文学館	22	1.9%
大久保キャンプ場・グラススキー場	15	1.3%
陶芸センター	3	0.3%
岡部宿大旅籠柏屋	59	5.1%
玉露の里	79	6.9%
B i V i キャン	15	1.3%
志太郡衙跡	10	0.9%
田中城下屋敷	19	1.7%
つたの細道	16	1.4%
朝比奈川の清流	28	2.4%
宇嶺の滝	10	0.9%
<b>瀬戸川の桜並木</b>	<b>258</b>	<b>22.5%</b>
不動峡の紅葉	15	1.3%
朝比奈大龍勢	84	7.3%
藤枝大祭り	154	13.4%
藤まつり	91	7.9%
桜まつり	45	3.9%
花火大会	129	11.3%
全国PK選手権大会	52	4.5%
ふじえだマラソン	10	0.9%
イルミネーション	59	5.1%
<b>サッカー文化</b>	<b>359</b>	<b>31.3%</b>
歴史文化	21	1.8%
藤の花	91	7.9%
朝ラーメン	229	20.0%
地酒	88	7.7%
お茶	127	11.1%
その他	20	1.7%
無効票	31	2.7%
回答者数	1,146	



Ⅳ 藤枝市の取り組みに対する「満足度」「重要度」についてお尋ねします。

問14 次のそれぞれの項目について、どの程度「満足」していますか？また、「重要」であると考えますか？項目ごとに、それぞれあてはまる評価の番号に○をつけてください。

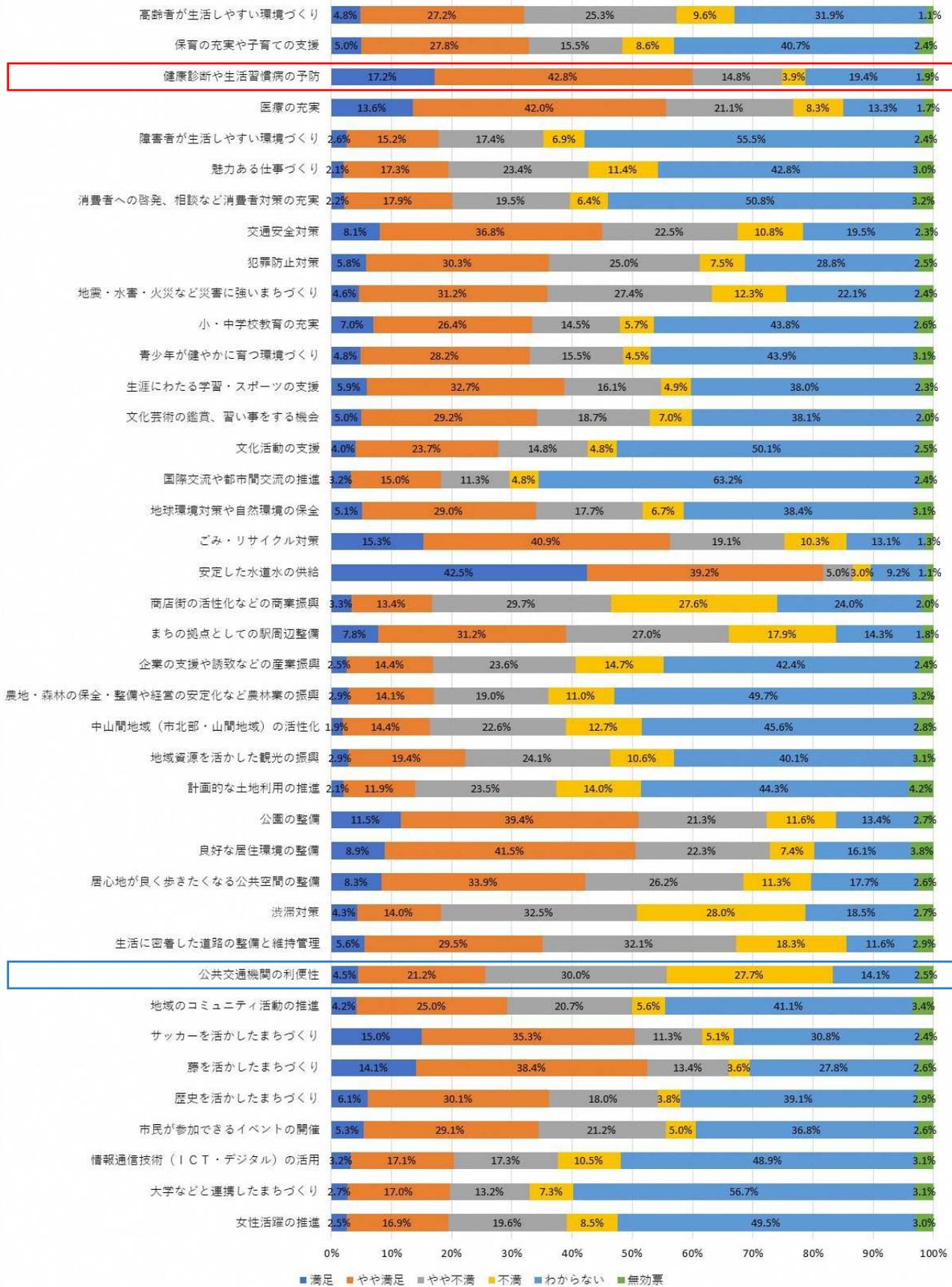
「満足」、「やや満足」を合計すると、「健康診断や生活習慣病の予防」が一番多く59.9%となっている。「不満」、「やや不満」を合計すると、「公共交通機関の利便性」が一番多く57.7%となっている。

「重要」、「やや重要」を合計すると、「安定した水道水の供給」が一番多く91.4%であり、次いで「医療の充実」90.9%、「地震・水害・火災など災害に強いまちづくり」90.7%となっている。

	満足		やや満足		やや不満		不満		わからない		無効票		総数	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
高齢者が生活しやすい環境づくり	55	4.8%	312	27.2%	290	25.3%	110	9.6%	366	31.9%	13	1.1%	1,146	100.0%
保育の充実や子育ての支援	57	5.0%	319	27.8%	178	15.5%	98	8.6%	466	40.7%	28	2.4%	1,146	100.0%
<b>健康診断や生活習慣病の予防</b>	<b>197</b>	<b>17.2%</b>	<b>490</b>	<b>42.8%</b>	170	14.8%	45	3.9%	222	19.4%	22	1.9%	1,146	100.0%
医療の充実	156	13.6%	481	42.0%	242	21.1%	95	8.3%	152	13.3%	20	1.7%	1,146	100.0%
障害者が生活しやすい環境づくり	30	2.6%	174	15.2%	199	17.4%	79	6.9%	636	55.5%	28	2.4%	1,146	100.0%
魅力ある仕事づくり	24	2.1%	198	17.3%	268	23.4%	131	11.4%	491	42.8%	34	3.0%	1,146	100.0%
消費者への啓発、相談など消費者対策の充実	25	2.2%	205	17.9%	224	19.5%	73	6.4%	582	50.8%	37	3.2%	1,146	100.0%
交通安全対策	93	8.1%	422	36.8%	258	22.5%	124	10.8%	223	19.5%	26	2.3%	1,146	100.0%
犯罪防止対策	67	5.8%	347	30.3%	287	25.0%	86	7.5%	330	28.8%	29	2.5%	1,146	100.0%
地震・水害・火災など災害に強いまちづくり	53	4.6%	358	31.2%	314	27.4%	141	12.3%	253	22.1%	27	2.4%	1,146	100.0%
小・中学校教育の充実	80	7.0%	303	26.4%	166	14.5%	65	5.7%	502	43.8%	30	2.6%	1,146	100.0%
青少年が健やかに育つ環境づくり	55	4.8%	323	28.2%	178	15.5%	52	4.5%	503	43.9%	35	3.1%	1,146	100.0%
生涯にわたる学習・スポーツの支援	68	5.9%	375	32.7%	185	16.1%	56	4.9%	436	38.0%	26	2.3%	1,146	100.0%
文化芸術の鑑賞、習い事をする機会	57	5.0%	335	29.2%	214	18.7%	80	7.0%	437	38.1%	23	2.0%	1,146	100.0%
文化活動の支援	46	4.0%	272	23.7%	170	14.8%	55	4.8%	574	50.1%	29	2.5%	1,146	100.0%
国際交流や都市間交流の推進	37	3.2%	172	15.0%	130	11.3%	55	4.8%	724	63.2%	28	2.4%	1,146	100.0%
地球環境対策や自然環境の保全	58	5.1%	332	29.0%	203	17.7%	77	6.7%	440	38.4%	36	3.1%	1,146	100.0%
ごみ・リサイクル対策	175	15.3%	469	40.9%	219	19.1%	118	10.3%	150	13.1%	15	1.3%	1,146	100.0%
安定した水道水の供給	487	42.5%	449	39.2%	57	5.0%	34	3.0%	106	9.2%	13	1.1%	1,146	100.0%

	満足		やや満足		やや不満		不満		わからない		無効票		総数	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
商店街の活性化などの商業振興	38	3.3%	154	13.4%	340	29.7%	316	27.6%	275	24.0%	23	2.0%	1,146	100.0%
まちの拠点としての駅周辺整備	89	7.8%	358	31.2%	309	27.0%	205	17.9%	164	14.3%	21	1.8%	1,146	100.0%
企業の支援や誘致などの産業振興	29	2.5%	165	14.4%	271	23.6%	168	14.7%	486	42.4%	27	2.4%	1,146	100.0%
農地・森林の保全・整備や経営の安定化など農林業の振興	33	2.9%	162	14.1%	218	19.0%	126	11.0%	570	49.7%	37	3.2%	1,146	100.0%
中山間地域(市北部・山間地域)の活性化	22	1.9%	165	14.4%	259	22.6%	145	12.7%	523	45.6%	32	2.8%	1,146	100.0%
地域資源を活かした観光の振興	33	2.9%	222	19.4%	276	24.1%	121	10.6%	459	40.1%	35	3.1%	1,146	100.0%
計画的な土地利用の推進	24	2.1%	136	11.9%	269	23.5%	161	14.0%	508	44.3%	48	4.2%	1,146	100.0%
公園の整備	132	11.5%	452	39.4%	244	21.3%	133	11.6%	154	13.4%	31	2.7%	1,146	100.0%
良好な居住環境の整備	102	8.9%	476	41.5%	256	22.3%	85	7.4%	184	16.1%	43	3.8%	1,146	100.0%
居心地が良く歩きたくなる公共空間の整備	95	8.3%	389	33.9%	300	26.2%	129	11.3%	203	17.7%	30	2.6%	1,146	100.0%
渋滞対策	49	4.3%	160	14.0%	373	32.5%	321	28.0%	212	18.5%	31	2.7%	1,146	100.0%
生活に密着した道路の整備と維持管理	64	5.6%	338	29.5%	368	32.1%	210	18.3%	133	11.6%	33	2.9%	1,146	100.0%
<b>公共交通機関の利便性</b>	51	4.5%	243	21.2%	<b>344</b>	<b>30.0%</b>	<b>317</b>	<b>27.7%</b>	162	14.1%	29	2.5%	1,146	100.0%
地域のコミュニティ活動の推進	48	4.2%	287	25.0%	237	20.7%	64	5.6%	471	41.1%	39	3.4%	1,146	100.0%
サッカーを活かしたまちづくり	172	15.0%	405	35.3%	129	11.3%	59	5.1%	353	30.8%	28	2.4%	1,146	100.0%
藤を活かしたまちづくり	162	14.1%	440	38.4%	154	13.4%	41	3.6%	319	27.8%	30	2.6%	1,146	100.0%
歴史を活かしたまちづくり	70	6.1%	345	30.1%	206	18.0%	44	3.8%	448	39.1%	33	2.9%	1,146	100.0%
市民が参加できるイベントの開催	61	5.3%	333	29.1%	243	21.2%	57	5.0%	422	36.8%	30	2.6%	1,146	100.0%
情報通信技術(ICT・デジタル)の活用	37	3.2%	196	17.1%	198	17.3%	120	10.5%	560	48.9%	35	3.1%	1,146	100.0%
大学などと連携したまちづくり	31	2.7%	195	17.0%	151	13.2%	84	7.3%	650	56.7%	35	3.1%	1,146	100.0%
女性活躍の推進	29	2.5%	194	16.9%	225	19.6%	97	8.5%	567	49.5%	34	3.0%	1,146	100.0%

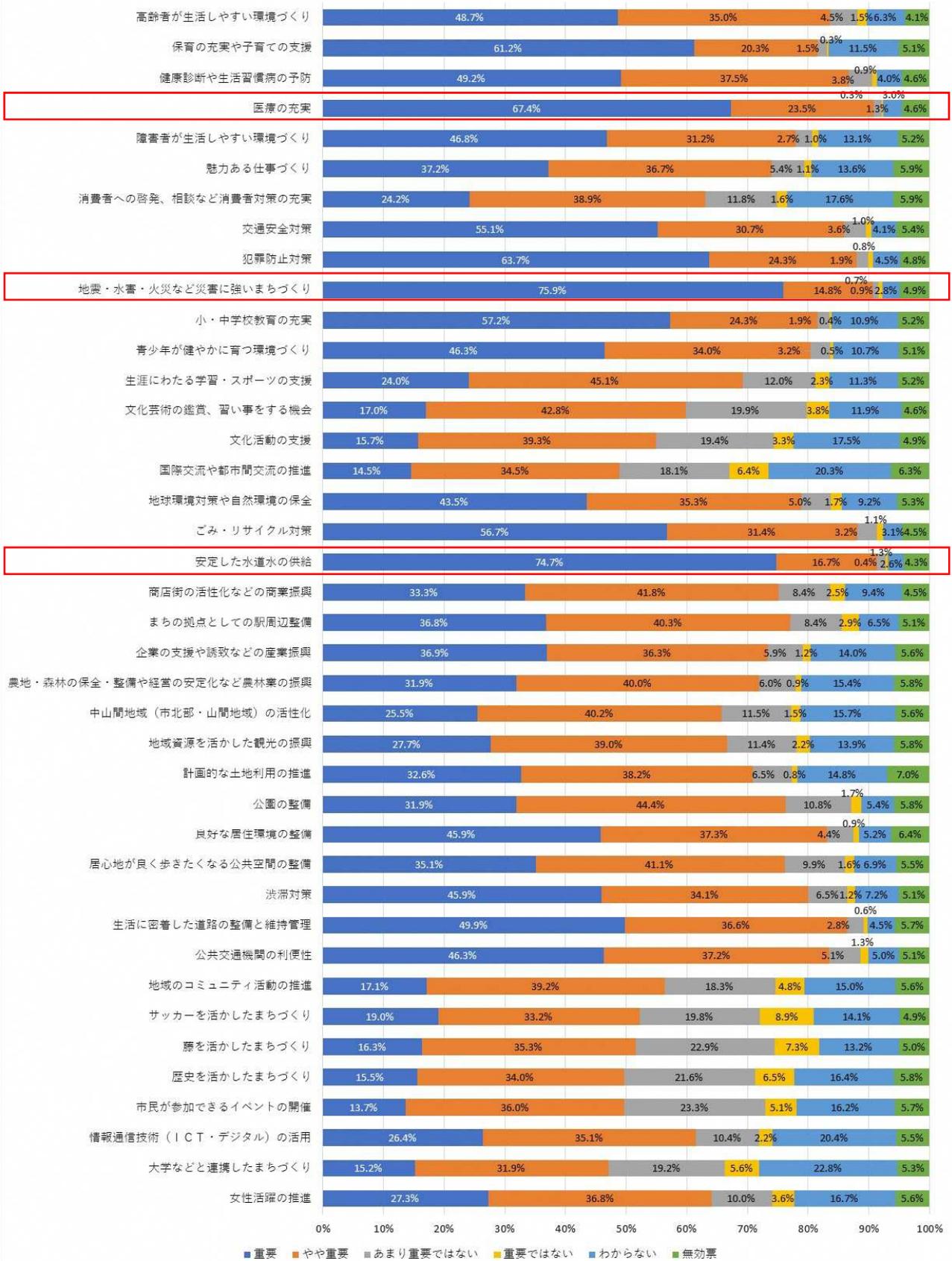
## 満足度



	重要		やや重要		あまり重要でない		重要ではない		わからない		無効票		総数	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
高齢者が生活しやすい環境づくり	558	48.7%	401	35.0%	51	4.5%	17	1.5%	72	6.3%	47	4.1%	1,146	100.0%
保育の充実や子育ての支援	701	61.2%	233	20.3%	17	1.5%	4	0.3%	132	11.5%	59	5.1%	1,146	100.0%
健康診断や生活習慣病の予防	564	49.2%	430	37.5%	43	3.8%	10	0.9%	46	4.0%	53	4.6%	1,146	100.0%
<b>医療の充実</b>	<b>772</b>	<b>67.4%</b>	<b>269</b>	<b>23.5%</b>	15	1.3%	3	0.3%	34	3.0%	53	4.6%	1,146	100.0%
障害者が生活しやすい環境づくり	536	46.8%	358	31.2%	31	2.7%	11	1.0%	150	13.1%	60	5.2%	1,146	100.0%
魅力ある仕事づくり	426	37.2%	421	36.7%	62	5.4%	13	1.1%	156	13.6%	68	5.9%	1,146	100.0%
消費者への啓発、相談など消費者対策の充実	277	24.2%	446	38.9%	135	11.8%	18	1.6%	202	17.6%	68	5.9%	1,146	100.0%
交通安全対策	632	55.1%	352	30.7%	41	3.6%	12	1.0%	47	4.1%	62	5.4%	1,146	100.0%
犯罪防止対策	730	63.7%	278	24.3%	22	1.9%	9	0.8%	52	4.5%	55	4.8%	1,146	100.0%
<b>地震・水害・火災など災害に強いまちづくり</b>	<b>870</b>	<b>75.9%</b>	<b>170</b>	<b>14.8%</b>	10	0.9%	8	0.7%	32	2.8%	56	4.9%	1,146	100.0%
小・中学校教育の充実	656	57.2%	278	24.3%	22	1.9%	5	0.4%	125	10.9%	60	5.2%	1,146	100.0%
青少年が健やかに育つ環境づくり	531	46.3%	390	34.0%	37	3.2%	6	0.5%	123	10.7%	59	5.1%	1,146	100.0%
生涯にわたる学習・スポーツの支援	275	24.0%	517	45.1%	138	12.0%	26	2.3%	130	11.3%	60	5.2%	1,146	100.0%
文化芸術の鑑賞、習い事をする機会	195	17.0%	491	42.8%	228	19.9%	43	3.8%	136	11.9%	53	4.6%	1,146	100.0%
文化活動の支援	180	15.7%	450	39.3%	222	19.4%	38	3.3%	200	17.5%	56	4.9%	1,146	100.0%
国際交流や都市間交流の推進	166	14.5%	395	34.5%	207	18.1%	73	6.4%	233	20.3%	72	6.3%	1,146	100.0%
地球環境対策や自然環境の保全	499	43.5%	404	35.3%	57	5.0%	19	1.7%	106	9.2%	61	5.3%	1,146	100.0%
ごみ・リサイクル対策	650	56.7%	360	31.4%	37	3.2%	13	1.1%	35	3.1%	51	4.5%	1,146	100.0%
<b>安定した水道水の供給</b>	<b>856</b>	<b>74.7%</b>	<b>191</b>	<b>16.7%</b>	15	1.3%	5	0.4%	30	2.6%	49	4.3%	1,146	100.0%
商店街の活性化などの商業振興	382	33.3%	479	41.8%	96	8.4%	29	2.5%	108	9.4%	52	4.5%	1,146	100.0%
まちの拠点としての駅周辺整備	422	36.8%	462	40.3%	96	8.4%	33	2.9%	74	6.5%	59	5.1%	1,146	100.0%
企業の支援や誘致などの産業振興	423	36.9%	416	36.3%	68	5.9%	14	1.2%	161	14.0%	64	5.6%	1,146	100.0%
農地・森林の保全・整備や経営の安定化など農林業の振興	366	31.9%	458	40.0%	69	6.0%	10	0.9%	177	15.4%	66	5.8%	1,146	100.0%
中山間地域(市北部・山間地域)の活性化	292	25.5%	461	40.2%	132	11.5%	17	1.5%	180	15.7%	64	5.6%	1,146	100.0%

	重要		やや重要		あまり重要でない		重要ではない		わからない		無効票		総数	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
地域資源を活かした観光の振興	318	27.7%	447	39.0%	131	11.4%	25	2.2%	159	13.9%	66	5.8%	1,146	100.0%
計画的な土地利用の推進	374	32.6%	438	38.2%	75	6.5%	9	0.8%	170	14.8%	80	7.0%	1,146	100.0%
公園の整備	366	31.9%	509	44.4%	124	10.8%	19	1.7%	62	5.4%	66	5.8%	1,146	100.0%
良好な居住環境の整備	526	45.9%	427	37.3%	50	4.4%	10	0.9%	60	5.2%	73	6.4%	1,146	100.0%
居心地が良く歩きたくなる公共空間の整備	402	35.1%	471	41.1%	113	9.9%	18	1.6%	79	6.9%	63	5.5%	1,146	100.0%
渋滞対策	526	45.9%	391	34.1%	75	6.5%	14	1.2%	82	7.2%	58	5.1%	1,146	100.0%
生活に密着した道路の整備と維持管理	572	49.9%	419	36.6%	32	2.8%	7	0.6%	51	4.5%	65	5.7%	1,146	100.0%
公共交通機関の利便性	531	46.3%	426	37.2%	59	5.1%	15	1.3%	57	5.0%	58	5.1%	1,146	100.0%
地域のコミュニティ活動の推進	196	17.1%	449	39.2%	210	18.3%	55	4.8%	172	15.0%	64	5.6%	1,146	100.0%
サッカーを活かしたまちづくり	218	19.0%	381	33.2%	227	19.8%	102	8.9%	162	14.1%	56	4.9%	1,146	100.0%
藤を活かしたまちづくり	187	16.3%	404	35.3%	263	22.9%	84	7.3%	151	13.2%	57	5.0%	1,146	100.0%
歴史を活かしたまちづくり	178	15.5%	390	34.0%	248	21.6%	75	6.5%	188	16.4%	67	5.8%	1,146	100.0%
市民が参加できるイベントの開催	157	13.7%	412	36.0%	267	23.3%	59	5.1%	186	16.2%	65	5.7%	1,146	100.0%
情報通信技術（ICT・デジタル）の活用	303	26.4%	402	35.1%	119	10.4%	25	2.2%	234	20.4%	63	5.5%	1,146	100.0%
大学などと連携したまちづくり	174	15.2%	366	31.9%	220	19.2%	64	5.6%	261	22.8%	61	5.3%	1,146	100.0%
女性活躍の推進	313	27.3%	422	36.8%	115	10.0%	41	3.6%	191	16.7%	64	5.6%	1,146	100.0%

### 重要度



問15 問14の項目の(1)から(40)までのなかで、特に満足しているもの、重要としているものを各3つ選び、満足度の高いものから順に番号を記入してください。

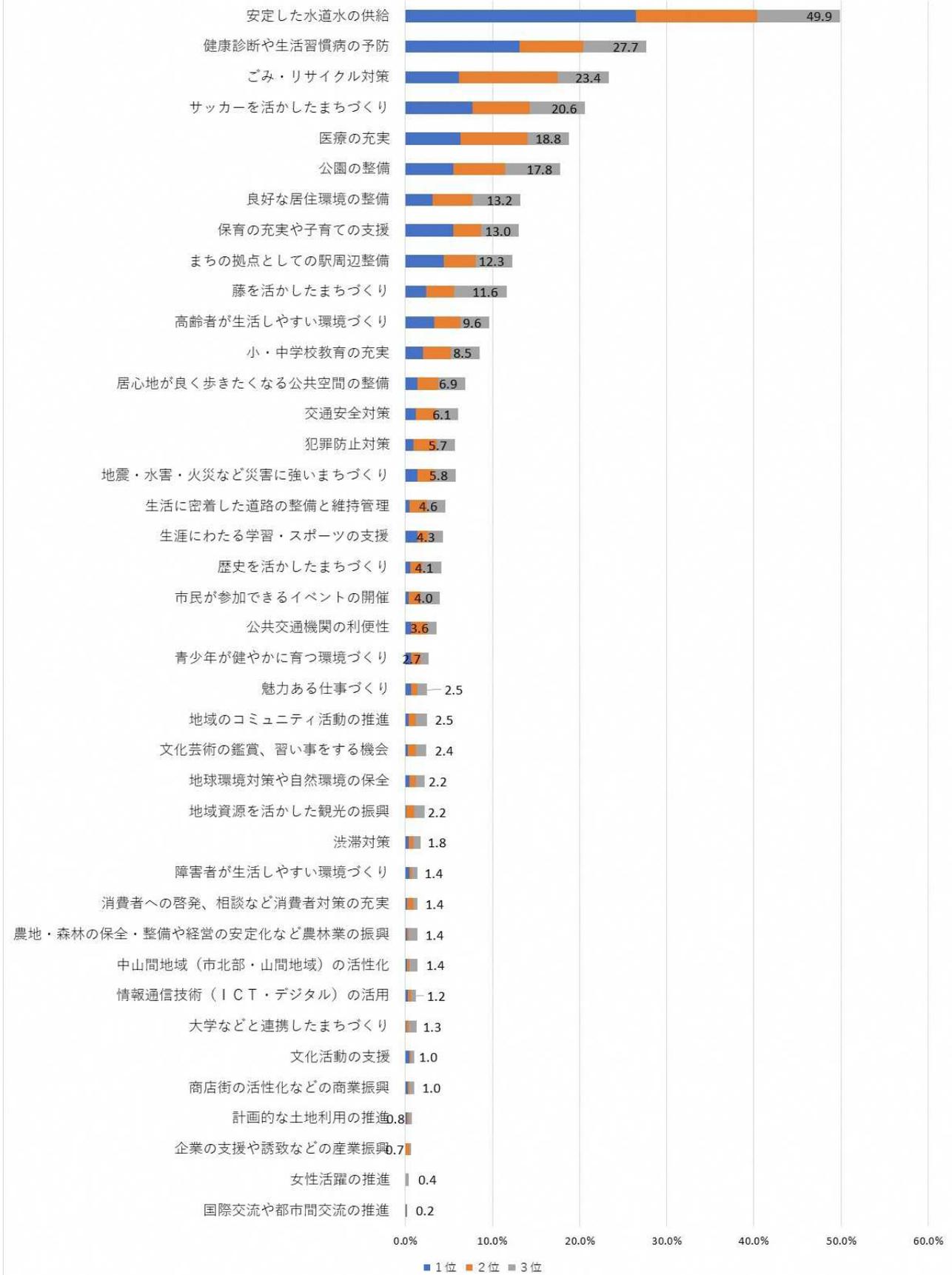
満足度は、「安定した水道水の供給」が一番多く49.9ポイントであり、次いで「健康診断や生活習慣病の予防」27.7ポイント、「ごみ・リサイクル対策」23.4ポイントとなっている。

重要度は、「医療の充実」が一番多く28.0ポイントであり、次いで「地震・水害・火災など災害に強いまちづくり」27.4ポイント、「保育の充実や子育ての支援」24.4ポイントとなっている。

	計		1位		2位		3位	
	回答数	ポイント	回答数	ポイント	回答数	ポイント	回答数	ポイント
<b>安定した水道水の供給</b>	<b>495</b>	<b>49.9</b>	269	26.5	137	13.9	89	9.5
<b>健康診断や生活習慣病の予防</b>	<b>273</b>	<b>27.7</b>	133	13.1	72	7.3	68	7.3
<b>ごみ・リサイクル対策</b>	<b>229</b>	<b>23.4</b>	63	6.2	111	11.3	55	5.9
サッカーを活かしたまちづくり	202	20.6	78	7.7	65	6.6	59	6.3
医療の充実	185	18.8	64	6.3	76	7.7	45	4.8
公園の整備	174	17.8	56	5.5	59	6.0	59	6.3
良好な居住環境の整備	128	13.2	32	3.1	45	4.6	51	5.5
保育の充実や子育ての支援	127	13.0	56	5.5	31	3.2	40	4.3
まちの拠点としての駅周辺整備	120	12.3	45	4.4	36	3.7	39	4.2
藤を活かしたまちづくり	111	11.6	24	2.4	31	3.2	56	6.0
高齢者が生活しやすい環境づくり	94	9.6	34	3.3	29	3.0	31	3.3
小・中学校教育の充実	82	8.5	20	2.0	31	3.2	31	3.3
居心地が良く歩きたくなる 公共空間の整備	67	6.9	14	1.4	24	2.4	29	3.1
交通安全対策	59	6.1	12	1.2	23	2.3	24	2.6
犯罪防止対策	56	5.7	9	0.9	27	2.7	20	2.1
地震・水害・火災など災害に 強いまちづくり	56	5.8	14	1.4	19	1.9	23	2.5
生活に密着した道路の整備と 維持管理	45	4.6	5	0.5	20	2.0	20	2.1
生涯にわたる学習・スポーツの 支援	42	4.3	14	1.4	12	1.2	16	1.7
歴史を活かしたまちづくり	40	4.1	6	0.6	13	1.3	21	2.2
市民が参加できるイベントの開催	39	4.0	4	0.4	14	1.4	21	2.2
公共交通機関の利便性	35	3.6	7	0.7	18	1.8	10	1.1
青少年が健やかに育つ環境づくり	26	2.7	7	0.7	11	1.1	8	0.9
魅力ある仕事づくり	24	2.5	7	0.7	7	0.7	10	1.1
地域のコミュニティ活動の推進	24	2.5	4	0.4	8	0.8	12	1.3
文化芸術の鑑賞、習い事をする 機会	23	2.4	3	0.3	9	0.9	11	1.2

	計		1位		2位		3位	
	回答数	ポイント	回答数	ポイント	回答数	ポイント	回答数	ポイント
地球環境対策や自然環境の保全	21	2.2	5	0.5	7	0.7	9	1.0
地域資源を活かした観光の振興	21	2.2	1	0.1	9	0.9	11	1.2
渋滞対策	17	1.8	4	0.4	5	0.5	8	0.9
障害者が生活しやすい環境づくり	14	1.4	5	0.5	3	0.3	6	0.6
消費者への啓発、相談など 消費者対策の充実	14	1.4	2	0.2	7	0.7	5	0.5
農地・森林の保全・整備や 経営の安定化など農林業の振興	13	1.4	2	0.2	2	0.2	9	1.0
中山間地域（市北部・山間地域） の活性化	13	1.4	2	0.2	3	0.3	8	0.9
情報通信技術 （ICT・デジタル）の活用	12	1.2	3	0.3	4	0.4	5	0.5
大学などと連携したまちづくり	12	1.3	1	0.1	3	0.3	8	0.9
文化活動の支援	10	1.0	5	0.5	2	0.2	3	0.3
商店街の活性化などの商業振興	10	1.0	3	0.3	2	0.2	5	0.5
計画的な土地利用の推進	8	0.8	2	0.2	2	0.2	4	0.4
企業の支援や誘致などの産業振興	7	0.7	0	0.0	5	0.5	2	0.2
女性活躍の推進	4	0.4	0	0.0	0	0.0	4	0.4
国際交流や都市間交流の推進	2	0.2	1	0.1	1	0.1	0	0.0

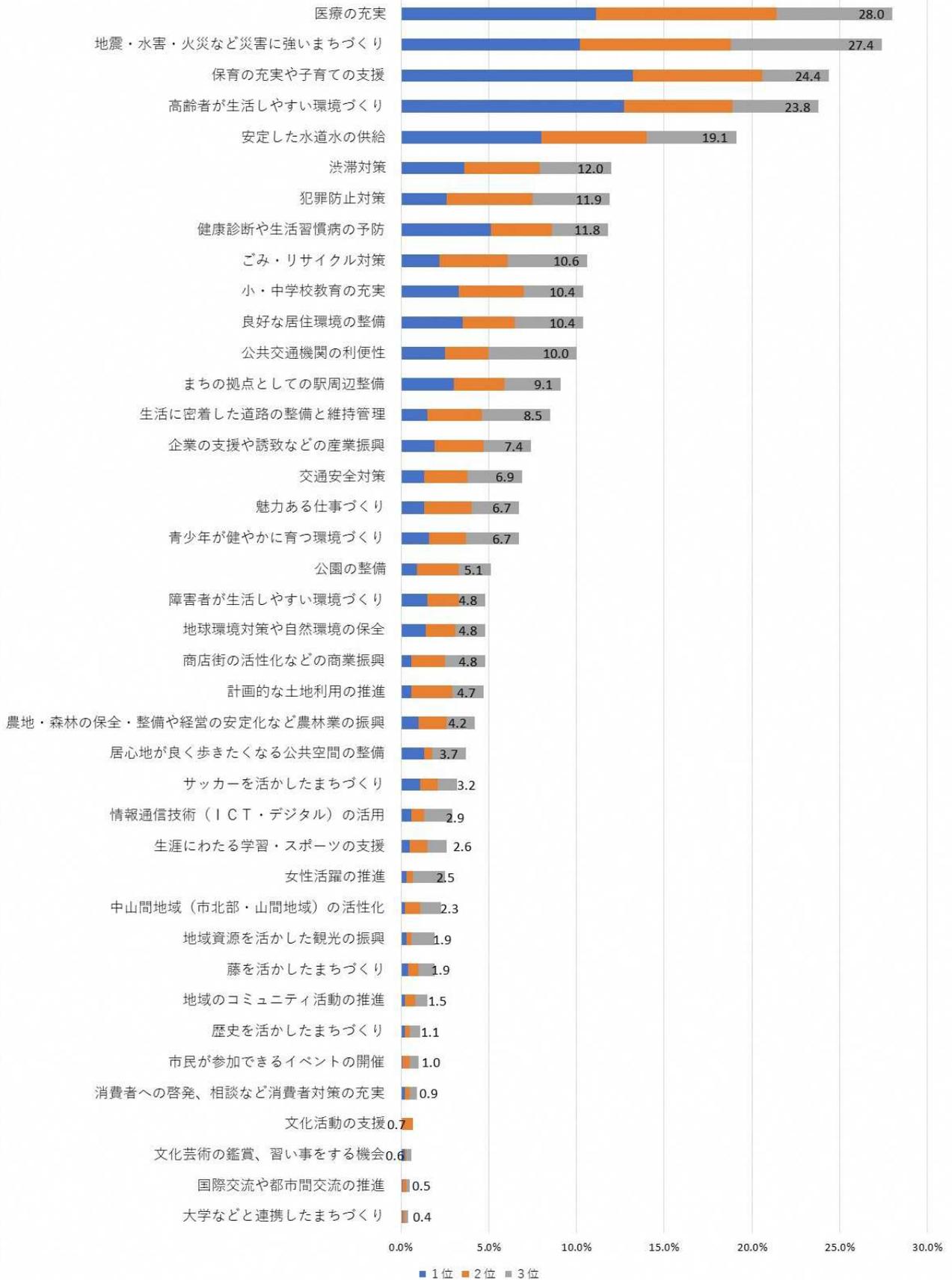
満足度（順位）



	計		1位		2位		3位	
	回答数	ポイント	回答数	ポイント	回答数	ポイント	回答数	ポイント
医療の充実	286	28.0	114	11.1	105	10.3	67	6.6
地震・水害・火災など災害に強いまちづくり	280	27.4	105	10.2	88	8.6	87	8.6
保育の充実や子育ての支援	249	24.4	136	13.2	75	7.4	38	3.8
高齢者が生活しやすい環境づくり	243	23.8	131	12.7	63	6.2	49	4.9
安定した水道水の供給	195	19.1	82	8.0	61	6.0	52	5.1
渋滞対策	122	12.0	37	3.6	44	4.3	41	4.1
犯罪防止対策	121	11.9	27	2.6	50	4.9	44	4.4
健康診断や生活習慣病の予防	121	11.8	53	5.1	36	3.5	32	3.2
ごみ・リサイクル対策	108	10.6	23	2.2	40	3.9	45	4.5
小・中学校教育の充実	106	10.4	34	3.3	38	3.7	34	3.4
良好な居住環境の整備	106	10.4	36	3.5	31	3.0	39	3.9
公共交通機関の利便性	102	10.0	26	2.5	25	2.5	51	5.0
まちの拠点としての駅周辺整備	93	9.1	31	3.0	30	2.9	32	3.2
生活に密着した道路の整備と維持管理	86	8.5	15	1.5	32	3.1	39	3.9
企業の支援や誘致などの産業振興	76	7.4	20	1.9	29	2.8	27	2.7
交通安全対策	69	6.9	13	1.3	25	2.5	31	3.1
魅力ある仕事づくり	68	6.7	13	1.3	28	2.7	27	2.7
青少年が健やかに育つ環境づくり	67	6.7	16	1.6	21	2.1	30	3.0
公園の整備	51	5.1	9	0.9	24	2.4	18	1.8
障害者が生活しやすい環境づくり	48	4.8	15	1.5	18	1.8	15	1.5
地球環境対策や自然環境の保全	48	4.8	14	1.4	17	1.7	17	1.7
商店街の活性化などの商業振興	48	4.8	6	0.6	19	1.9	23	2.3
計画的な土地利用の推進	47	4.7	6	0.6	23	2.3	18	1.8
農地・森林の保全・整備や経営の安定化など農林業の振興	42	4.2	10	1.0	16	1.6	16	1.6
居心地が良く歩きたくなる公共空間の整備	37	3.7	13	1.3	5	0.5	19	1.9
サッカーを活かしたまちづくり	32	3.2	11	1.1	10	1.0	11	1.1
情報通信技術（ICT・デジタル）の活用	29	2.9	6	0.6	7	0.7	16	1.6
生涯にわたる学習・スポーツの支援	26	2.6	5	0.5	10	1.0	11	1.1
女性活躍の推進	25	2.5	3	0.3	4	0.4	18	1.8
中山間地域（市北部・山間地域）の活性化	23	2.3	2	0.2	9	0.9	12	1.2
地域資源を活かした観光の振興	19	1.9	3	0.3	3	0.3	13	1.3
藤を活かしたまちづくり	19	1.9	4	0.4	6	0.6	9	0.9
地域のコミュニティ活動の推進	15	1.5	2	0.2	6	0.6	7	0.7

	計		1位		2位		3位	
	回答数	ポイント	回答数	ポイント	回答数	ポイント	回答数	ポイント
歴史を活かしたまちづくり	11	1.1	2	0.2	3	0.3	6	0.6
市民が参加できるイベントの開催	10	1.0	1	0.1	4	0.4	5	0.5
消費者への啓発、相談など消費者対策の充実	9	0.9	2	0.2	3	0.3	4	0.4
文化活動の支援	7	0.7	0	0.0	7	0.7	0	0.0
文化芸術の鑑賞、習い事をする機会	6	0.6	2	0.2	1	0.1	3	0.3
国際交流や都市間交流の推進	5	0.5	1	0.1	2	0.2	2	0.2
大学などと連携したまちづくり	4	0.4	1	0.1	1	0.1	2	0.2

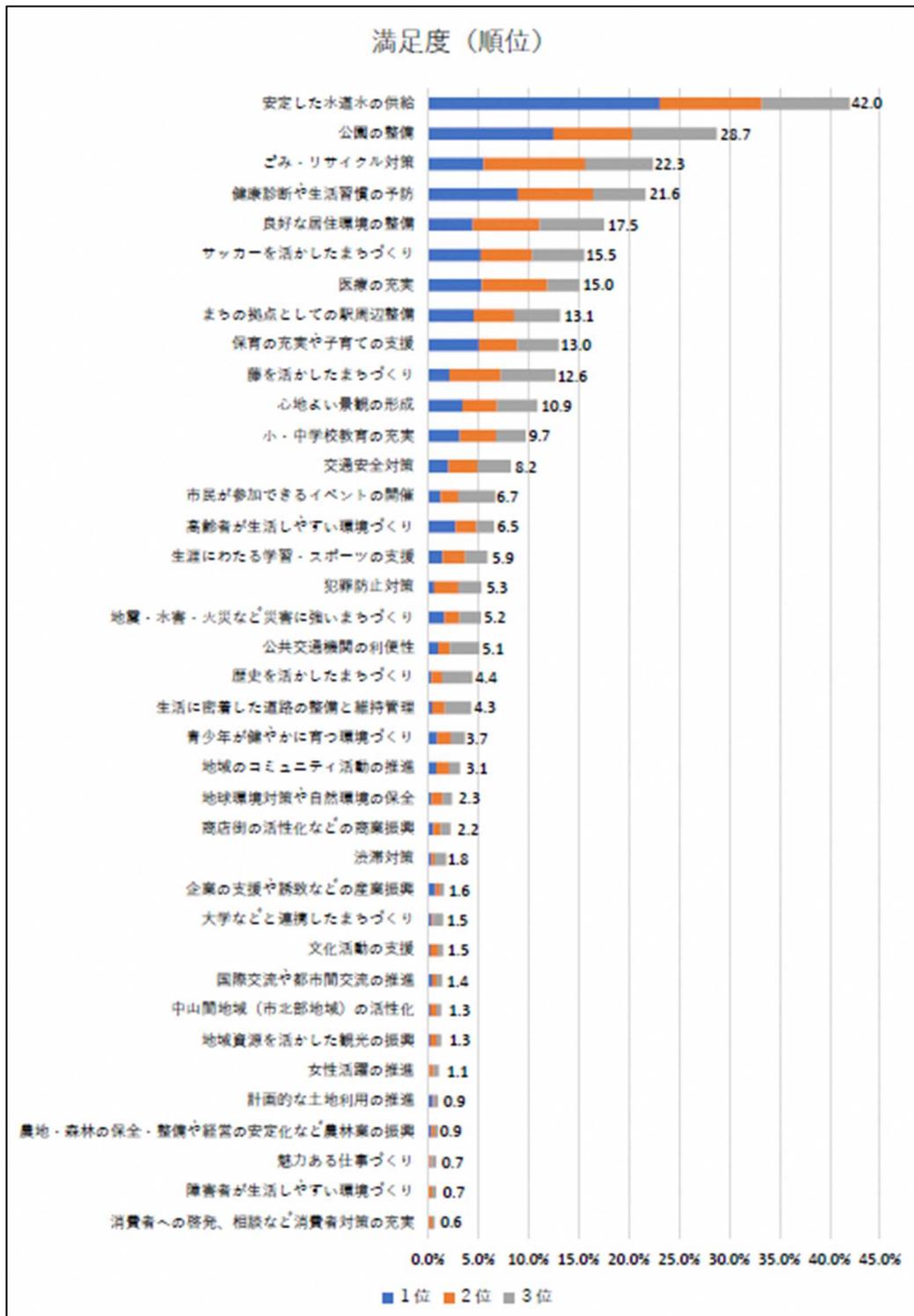
重要度（順位）



【令和元年度の満足度・重要度】

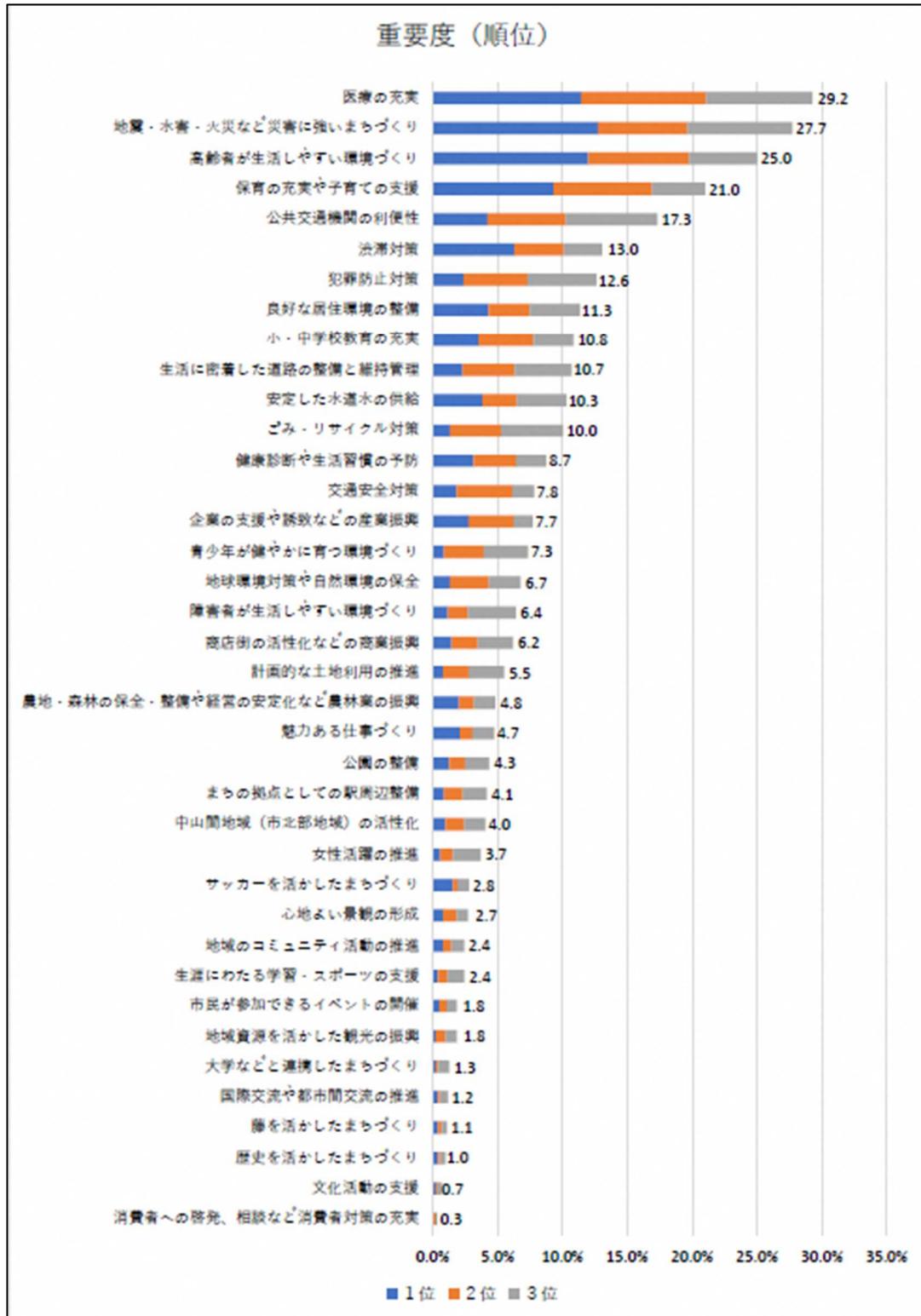
○満足度

令和元年度は、上位3位になっているポイントが「安定した水道水の供給」が42.0ポイント、次いで「公園の整備」28.7ポイント、「ごみ・リサイクル対策」22.3ポイントであり、「公園の整備」が上位に入っている。



○重要度

令和元年度と令和6年度を比較すると、令和元年度については医療や福祉に関連する項目が上位にきているが、令和6年度はそれに加え、子育てについての項目が上位に入っている。



## ■満足度指数、重要度指数からみた各項目の評価

先に評価された各項目の満足度と重要度を基に、「加重平均値」として数値化して比較評価する。さらに、加重平均化した満足度と重要度の数値の差分による「重点度」についても示す。

### ●算出方法

※満足度は、「満足」2点、「やや満足」1点、「わからない」0点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として各回答数を掛け、総数に対する割合として算出

※重要度は、「重要」2点、「やや重要」1点、「わからない」0点、「あまり重要ではない」-1点、「重要ではない」-2点として各回答数を掛け、総数に対する割合として算出

この算出方法により、評価点は2点～-2点に分布し、中間点の0点を境に、2点に近くなるほど満足度、重要度が高くなり、-2点に近くなるほど満足度、重要度が低くなる。

算出結果を基に、評価マトリクス図を作成し、各項目の評価を行う。

### ●重点度の算出方法

重要度の高いものほど優先性が高く、満足度が低いものほど改善性が高いという観点から、「重点度」を算出し、各施策のランクを設定する。

さらに、「評価マトリクス」と合わせ、重点施策をより明確化する。

重要度指数 - 満足度指数

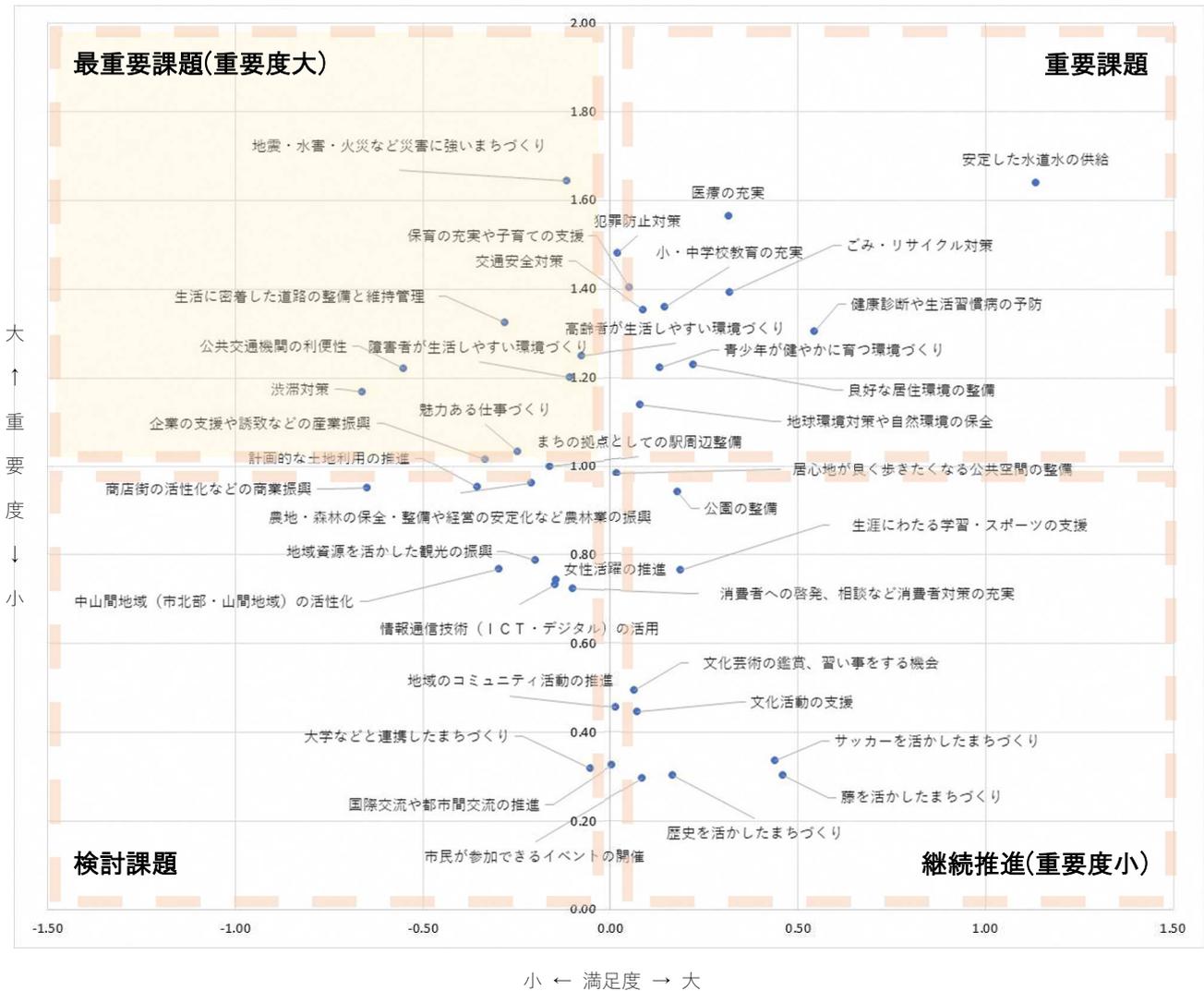
(重要度の高いものほど優先性が高い) - (満足度の低いものほど改善性が高い)

= **重要度が高い**

○重要度

満足度の評価点加重平均が-1.5~0（満足度が低い）で重要度の評価点加重平均が1.0~2.0（重要度が高い）である最重要課題は8項目あることがわかる。

重点度ランクの上位5位は「渋滞対策」、「公共交通機関の利便性」、「地震・水害・火災など災害に強いまちづくり」、「生活に密着した道路の整備と維持管理」、「商店街の活性化などの商業振興」となっている。



ランク	項目	満足度	重要度	重点度
1	渋滞対策	-0.66	1.17	1.83
2	公共交通機関の利便性	-0.55	1.22	1.77
3	地震・水害・火災など災害に強いまちづくり	-0.12	1.64	1.76
4	生活に密着した道路の整備と維持管理	-0.28	1.32	1.60
5	商店街の活性化などの商業振興	-0.65	0.95	1.60
6	犯罪防止対策	0.02	1.48	1.46
7	保育の充実や子育ての支援	0.05	1.40	1.35
8	企業の支援や誘致などの産業振興	-0.34	1.02	1.35
9	高齢者が生活しやすい環境づくり	-0.08	1.25	1.33
10	障害者が生活しやすい環境づくり	-0.11	1.20	1.31
11	計画的な土地利用の推進	-0.36	0.95	1.31
12	魅力ある仕事づくり	-0.25	1.03	1.28
13	交通安全対策	0.09	1.35	1.26
14	医療の充実	0.32	1.56	1.25
15	小・中学校教育の充実	0.15	1.36	1.21
16	農地・森林の保全・整備や経営の安定化など農林業の振興	-0.21	0.96	1.17
17	まちの拠点としての駅周辺整備	-0.16	1.00	1.16
18	青少年が健やかに育つ環境づくり	0.13	1.22	1.09
19	ごみ・リサイクル対策	0.32	1.39	1.08
20	中山間地域（市北部・山間地域）の活性化	-0.30	0.77	1.06
21	地球環境対策や自然環境の保全	0.08	1.14	1.06
22	良好な居住環境の整備	0.22	1.23	1.01
23	地域資源を活かした観光の振興	-0.20	0.79	0.99
24	居心地が良く歩きたくなる公共空間の整備	0.02	0.98	0.96
25	女性活躍の推進	-0.15	0.74	0.89
26	情報通信技術（ICT・デジタル）の活用	-0.15	0.73	0.88
27	消費者への啓発、相談など消費者対策の充実	-0.10	0.72	0.82
28	公園の整備	0.18	0.94	0.76
29	健康診断や生活習慣病の予防	0.54	1.30	0.76
30	生涯にわたる学習・スポーツの支援	0.19	0.77	0.58
31	安定した水道水の供給	1.13	1.64	0.51
32	地域のコミュニティ活動の推進	0.02	0.45	0.44
33	文化芸術の鑑賞、習い事をする機会	0.07	0.49	0.43
34	文化活動の支援	0.07	0.45	0.37
35	大学などと連携したまちづくり	-0.05	0.32	0.37
36	国際交流や都市間交流の推進	0.01	0.33	0.32
37	市民が参加できるイベントの開催	0.09	0.30	0.21
38	歴史を活かしたまちづくり	0.17	0.30	0.14
39	サッカーを活かしたまちづくり	0.44	0.34	-0.10

【経年変化】

○重点度指数の上位 10 位

令和元年度で 2 位であった「渋滞対策」が令和 6 年度では 1 位となっている。また、「犯罪防止対策」や「保育の充実や子育ての支援」、「企業の支援や誘致などの産業振興」が上位に上がってきており子育てや産業についての重点度が上がってきていることがわかる。また、平成 26 年度に引き続き「公共交通機関の利便性」や「災害に強いまちづくり」に対する重点度は高い水準にある。

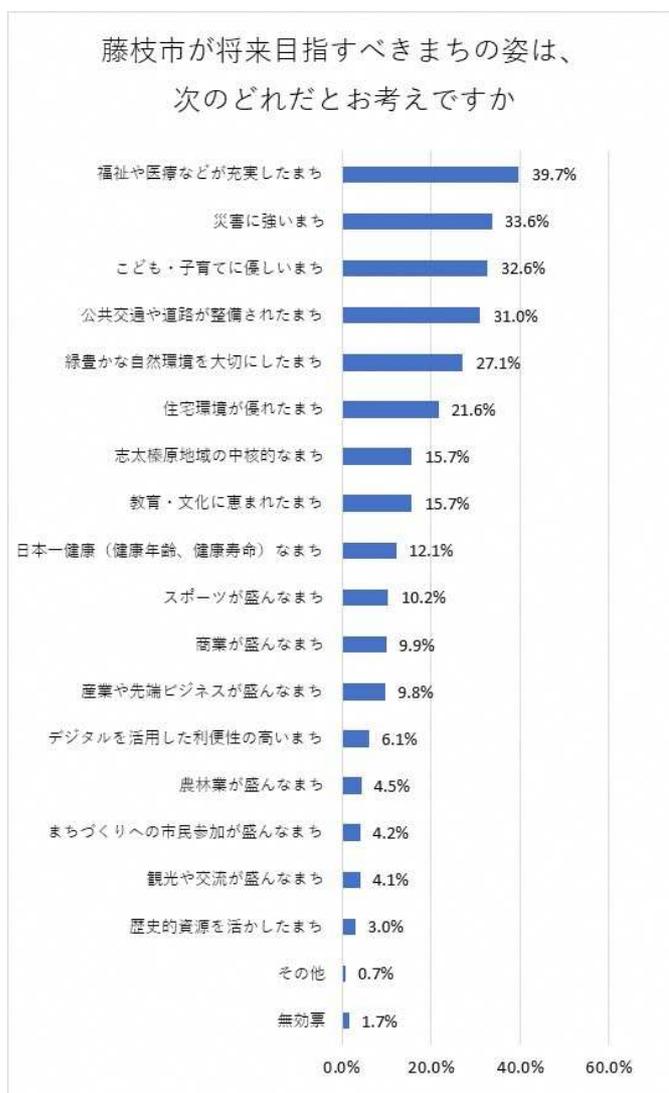
	平成 26 年度	令和元年度	令和 6 年度
1	災害に強いまちづくり	公共交通機関の利便性	渋滞対策 ↑
2	雇用の確保・勤労者福祉の充実	渋滞対策	公共交通機関の利便性 ↓
3	魅力ある商店街づくり等の 商業振興	災害に強いまちづくり	地震・水害・火災など災害に強い まちづくり →
4	公共交通機関の利便性	生活道路の整備と維持管理	生活に密着した道路の整備と維持管理 →
5	医療の充実	高齢者が生活しやすい環境づくり	商店街の活性化などの商業振興 ↑
6	犯罪防止対策	商店街の活性化などの商業振興	犯罪防止対策 ↑
7	保育の充実や子育て支援の充実	医療の充実	保育の充実や子育ての支援 ↑
8	障害者が生活しやすい環境づくり	犯罪防止対策	企業の支援や誘致などの産業振興 ↑
9	生活に密着した道路の整備・管理	障害者が生活しやすい環境づくり	高齢者が生活しやすい環境づくり ↓
10	高齢者の医療・介護・福祉の充実	保育の充実や子育ての支援	障害者が生活しやすい環境づくり ↓

V これからのまちづくりについてお尋ねします。

問16 藤枝市が将来目指すべきまちの姿は、次のどれだとお考えですか？ (あてはまるもの3つまでに○)

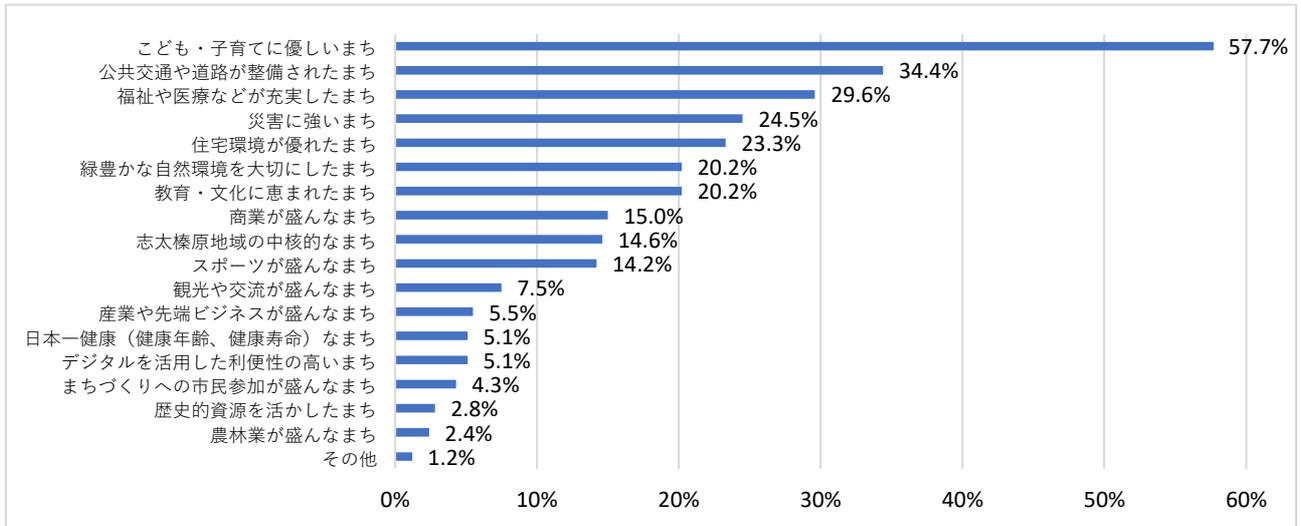
「福祉や医療などが充実したまち」が一番多く 39.7%であり、次いで「災害に強いまち」33.6%、「子ども・子育てに優しいまち」32.6%、「公共交通や道路が整備されたまち」31.0%となっている。年齢別にみると、16～39歳では、「子ども・子育てに優しいまち」が57.7%と一番多くなっている。一方で60歳以上では、「福祉や医療などが充実したまち」が51.0%と一番多くなっていることから、年代によって目指すべき姿が異なる。

	回答数	構成比
福祉や医療などが充実したまち	455	39.7%
災害に強いまち	385	33.6%
子ども・子育てに優しいまち	374	32.6%
公共交通や道路が整備されたまち	355	31.0%
緑豊かな自然環境を大切にしたいまち	311	27.1%
住宅環境が優れたまち	248	21.6%
志太榛原地域の中核的なまち	180	15.7%
教育・文化に恵まれたまち	180	15.7%
日本一健康（健康年齢、健康寿命）なまち	139	12.1%
スポーツが盛んなまち	117	10.2%
商業が盛んなまち	113	9.9%
産業や先端ビジネスが盛んなまち	112	9.8%
デジタルを活用した利便性の高いまち	70	6.1%
農林業が盛んなまち	51	4.5%
まちづくりへの市民参加が盛んなまち	48	4.2%
観光や交流が盛んなまち	47	4.1%
歴史的資源を活かしたまち	34	3.0%
その他	8	0.7%
無効票	19	1.7%
回答者数	1,146	

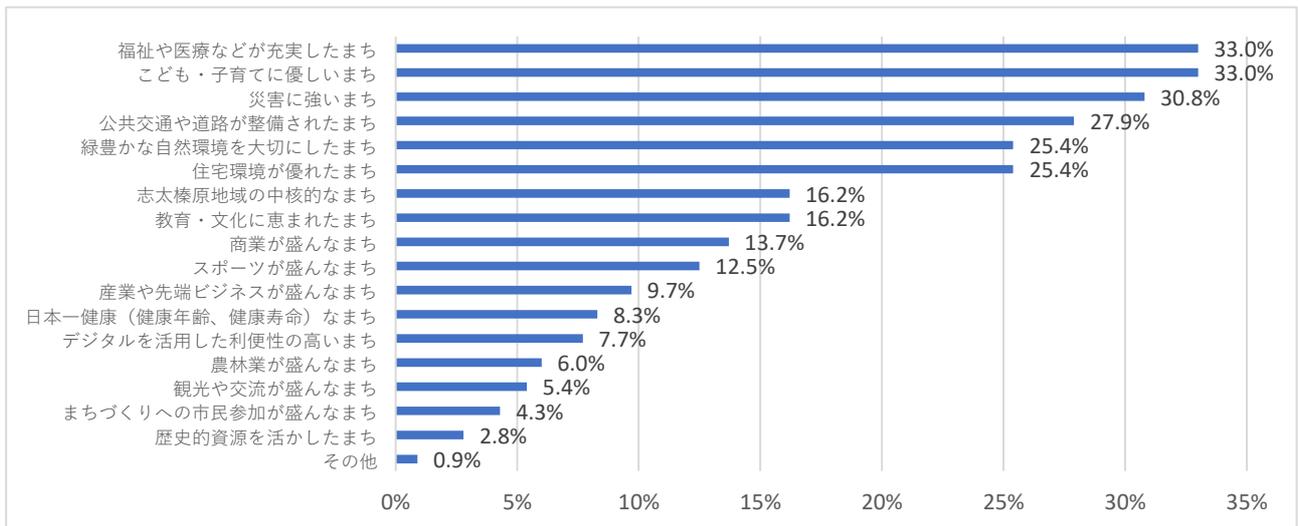


【年齢別】

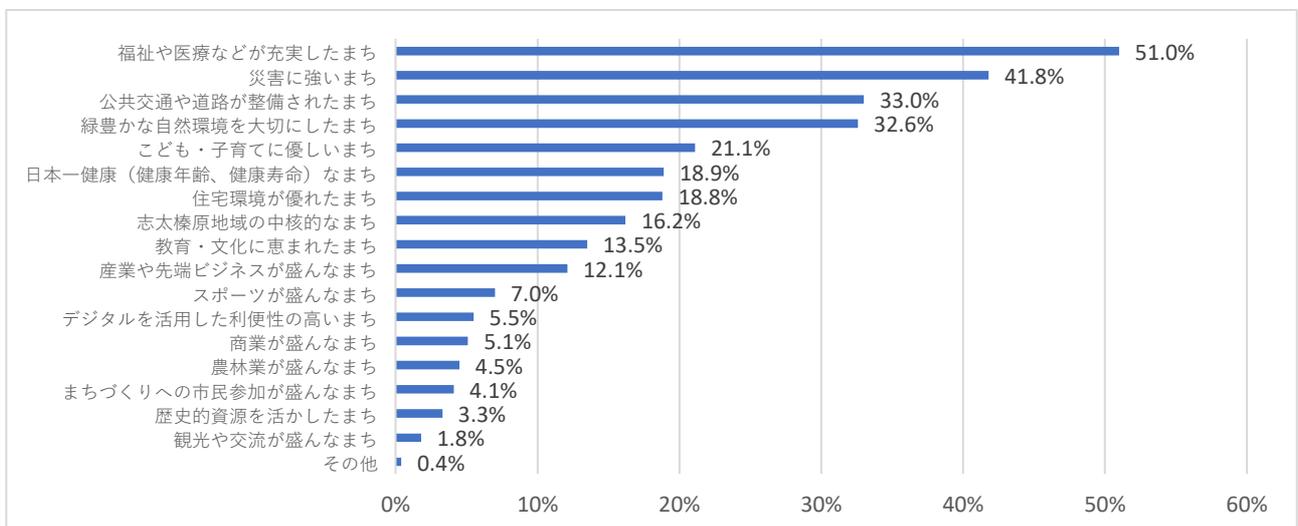
○16～39 歳



○40～59 歳



○60 歳以上



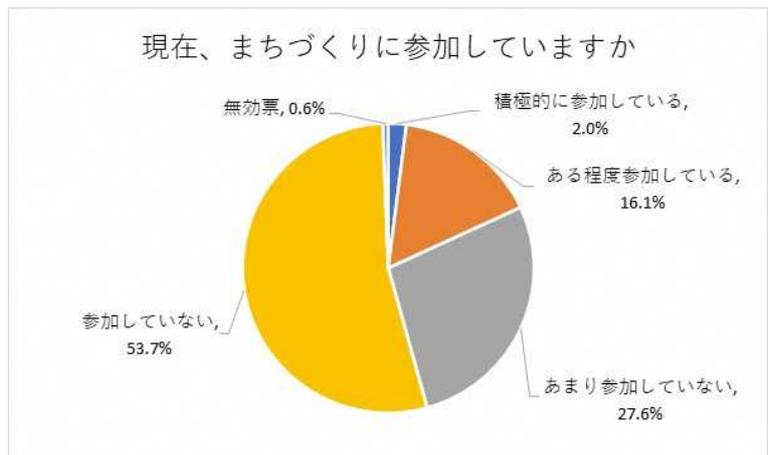
問17-1 現在、まちづくり活動に参加していますか？（あてはまるもの1つに○）

現在まちづくり活動に「積極的に参加している」「ある程度参加している」が合わせて18.1%であり「あまり参加していない」「参加していない」が合わせて81.3%となっている。

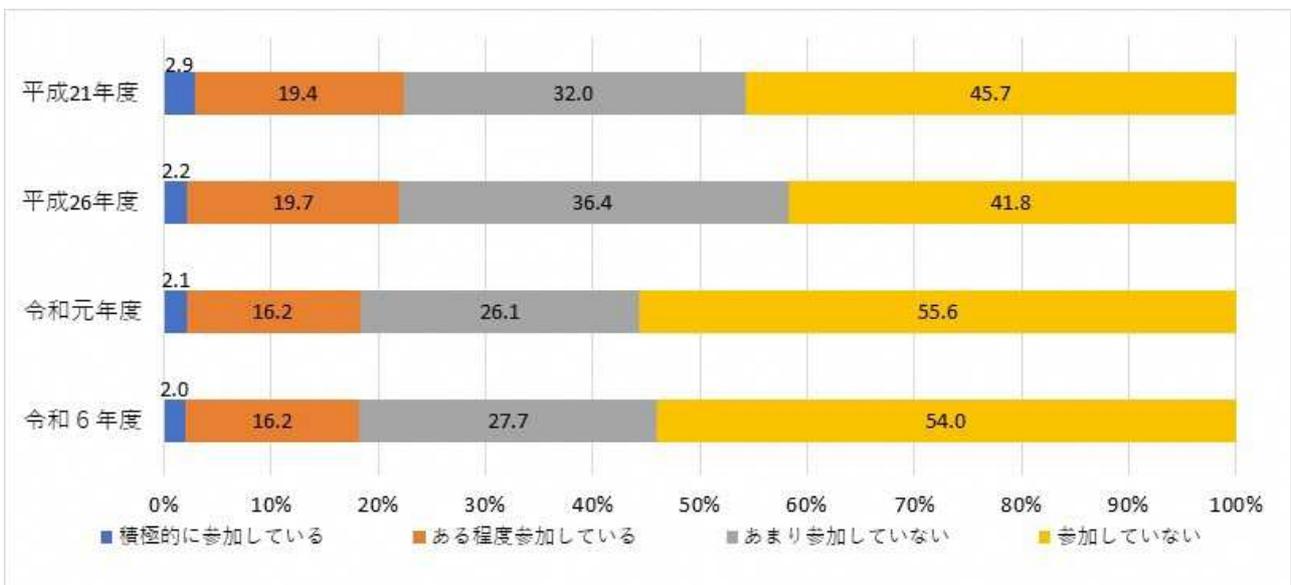
経年変化でみると、令和6年度は「あまり参加していない」「参加していない」が合わせて81.7%であり、まちづくり活動に参加していない方が微増している。

年齢別にみると、若いほど参加していない割合が多く、16～39歳で「あまり参加していない」「参加していない」が合わせて85.8%となっている。

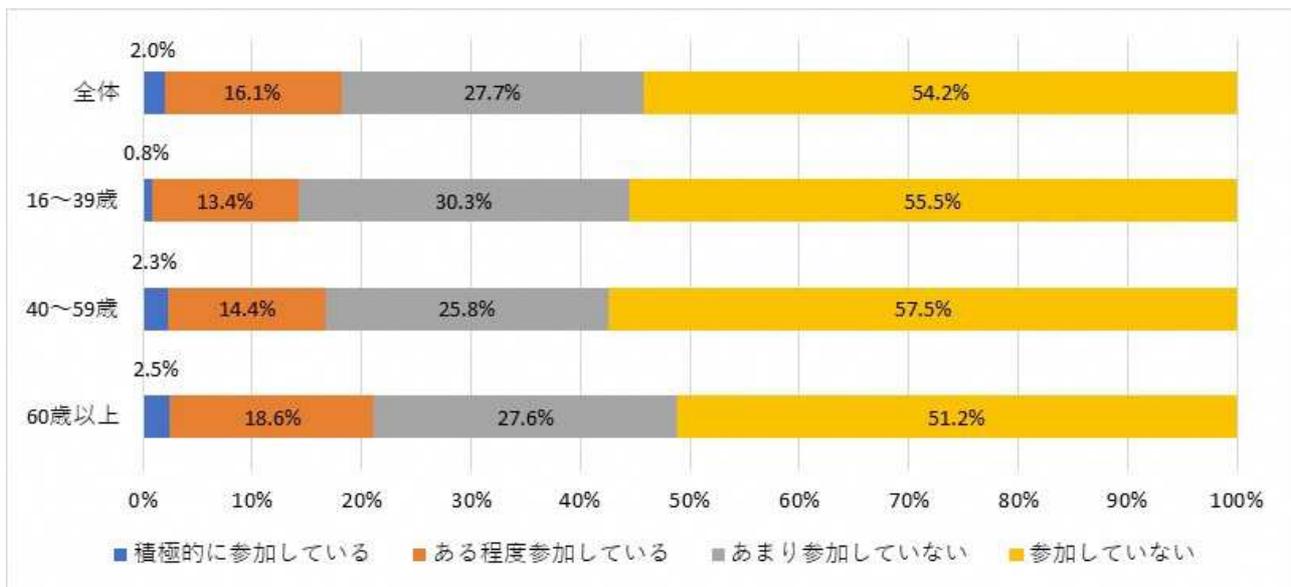
	回答数	構成比
積極的に参加している	23	2.0%
ある程度参加している	185	16.1%
あまり参加していない	316	27.6%
参加していない	615	53.7%
無効票	7	0.6%
合計	1,146	100.0%



【経年変化】



【年齢別】

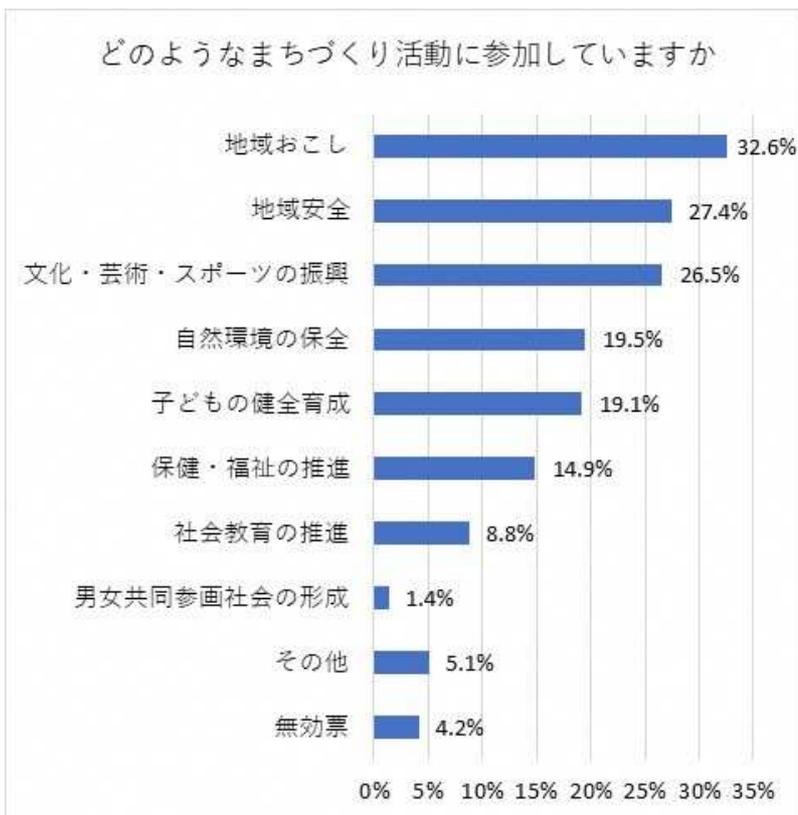


問17-2 問17-1で1か2とお答えいただいた方におたずねします。 具体的にはどのようなまちづくり活動に参加していますか？（あてはまるもの全てに○）

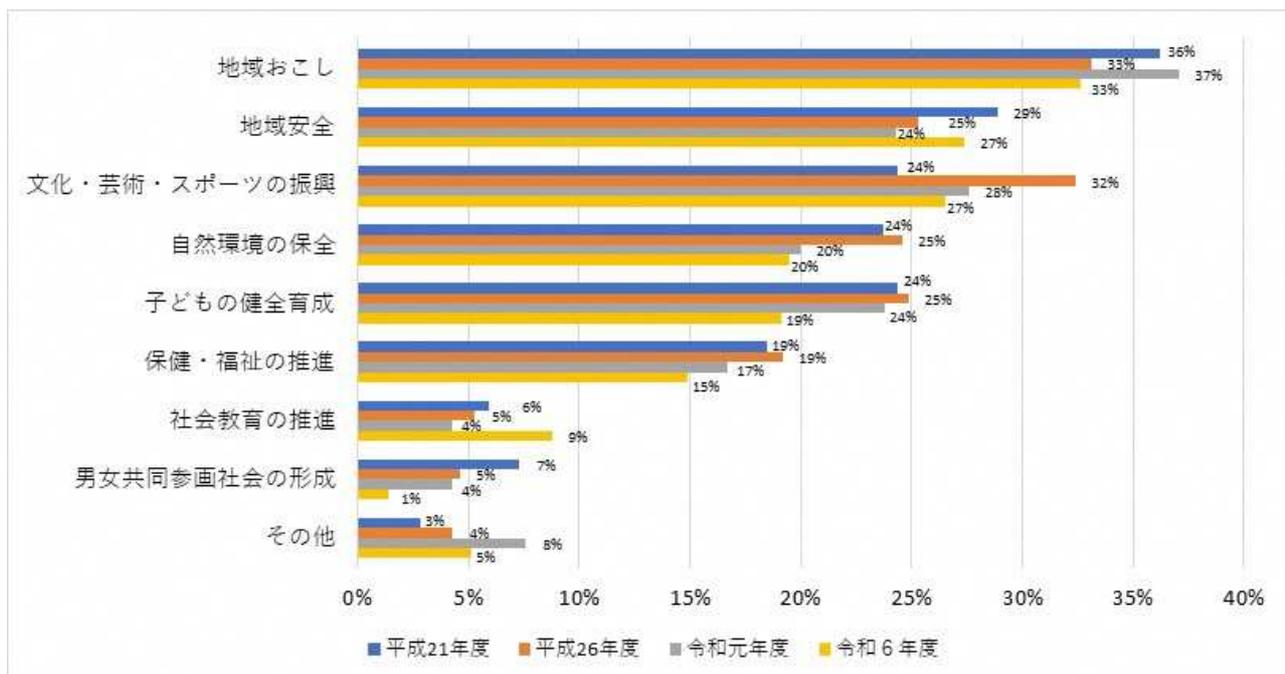
まちづくり活動に参加している方の活動内容としては、「地域おこし」が一番多く 32.6%であり、次いで「地域安全」27.4%、「文化・芸術・スポーツの振興」26.5%となっている。

経年変化でみると、令和6年度では、「社会教育の推進」が増えており過去最大となっている。その他の項目については、令和元年度からほぼ比率が下がっていることがわかる。

	回答数	構成比
地域おこし	70	32.6%
地域安全	59	27.4%
文化・芸術・スポーツの振興	57	26.5%
自然環境の保全	42	19.5%
子どもの健全育成	41	19.1%
保健・福祉の推進	32	14.9%
社会教育の推進	19	8.8%
男女共同参画社会の形成	3	1.4%
その他	11	5.1%
無効票	9	4.2%



【経年変化】

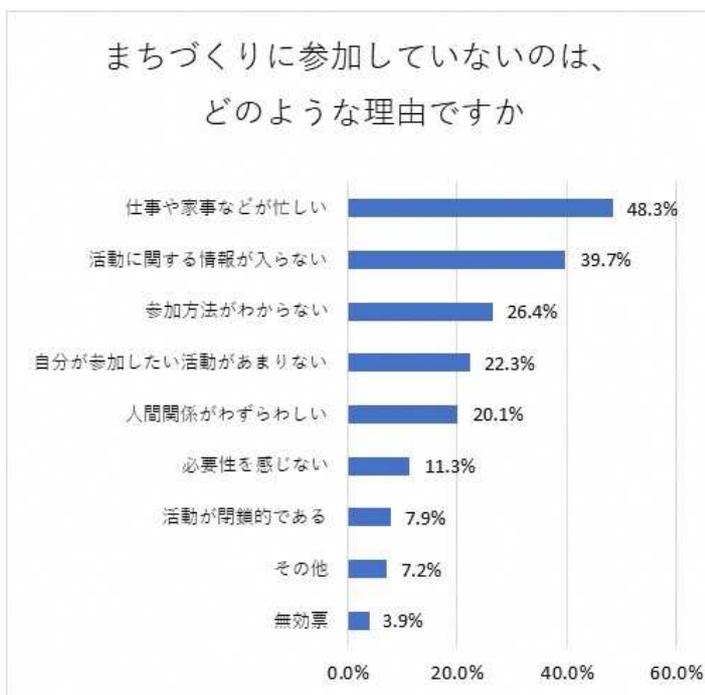


問17-3 問17-1で3か4とお答えいただいた方におたずねします。あなたがまちづくり活動に参加していないのは、どのような理由ですか？（あてはまるもの全てに○）

まちづくり活動に参加していない理由として、「仕事や家事などが忙しい」が一番多く48.3%であり、次いで「活動に関する情報が入らない」39.7%、「参加方法がわからない」26.4%となっている。

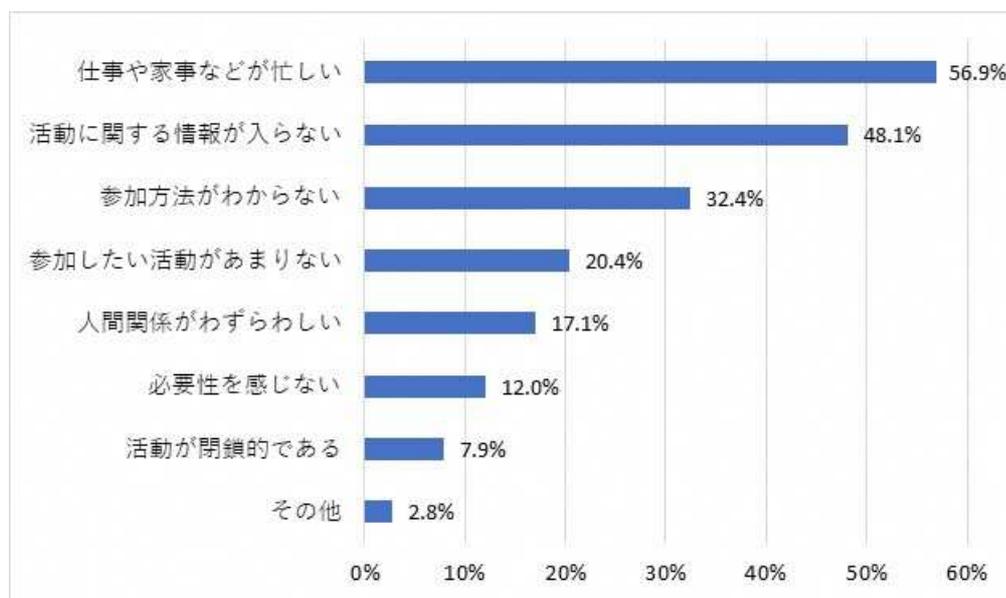
年齢別にみても、上位2位は「仕事や家事などが忙しい」、「活動に関する情報が入らない」となっている。特に16～39歳、40～59歳では、「仕事や家事などが忙しい」が多くなっている。

	回答数	構成比
仕事や家事などが忙しい	453	48.3%
活動に関する情報が入らない	372	39.7%
参加方法がわからない	248	26.4%
自分が参加したい活動があまりない	209	22.3%
人間関係がわずらわしい	189	20.1%
必要性を感じない	106	11.3%
活動が閉鎖的である	74	7.9%
その他	68	7.2%
無効票	37	3.9%
回答者数	938	

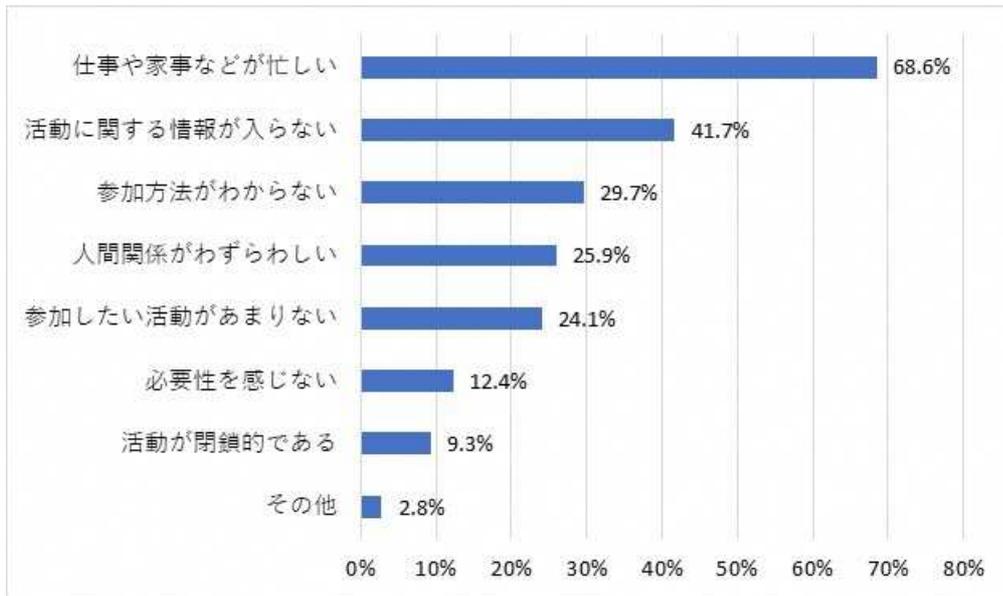


【年齢別】

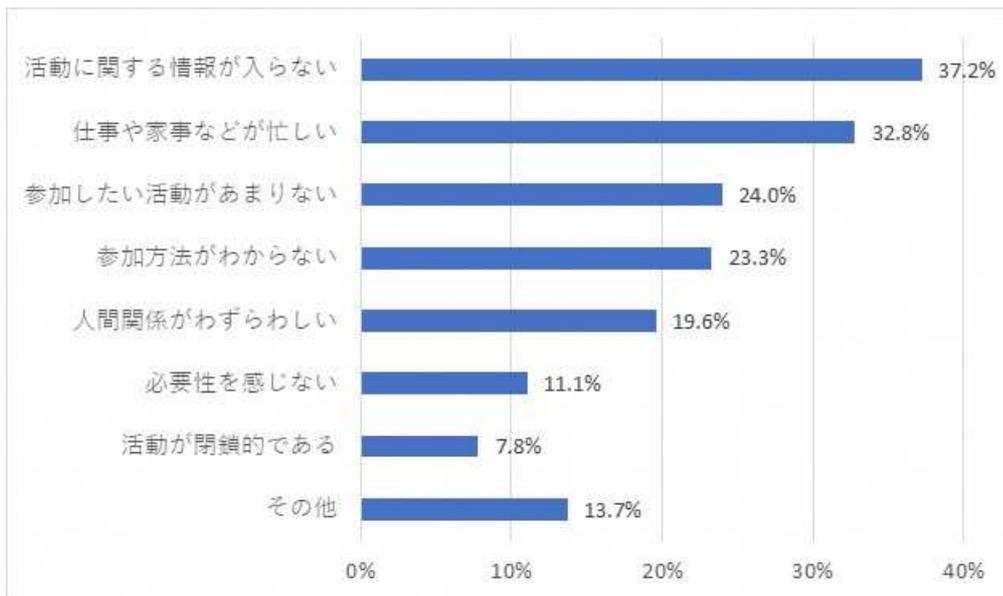
○16～39歳



### ○40～59 歳



### ○60 歳以上

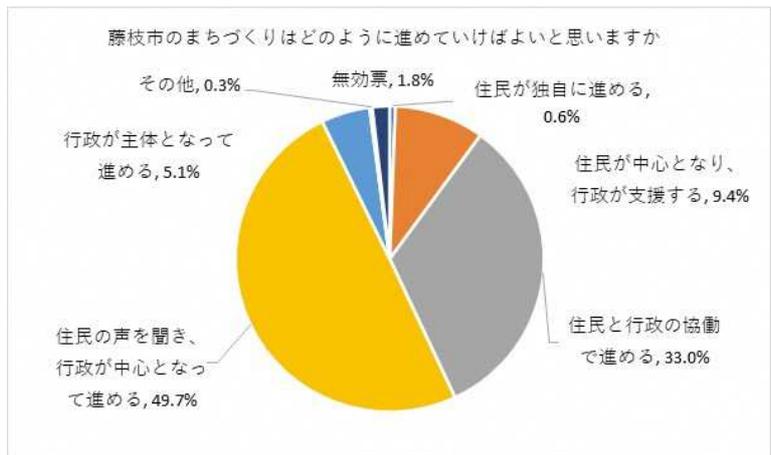


問18 藤枝市のまちづくりはどのように進めていけばよいと思いますか？（あてはまるもの1つに○）

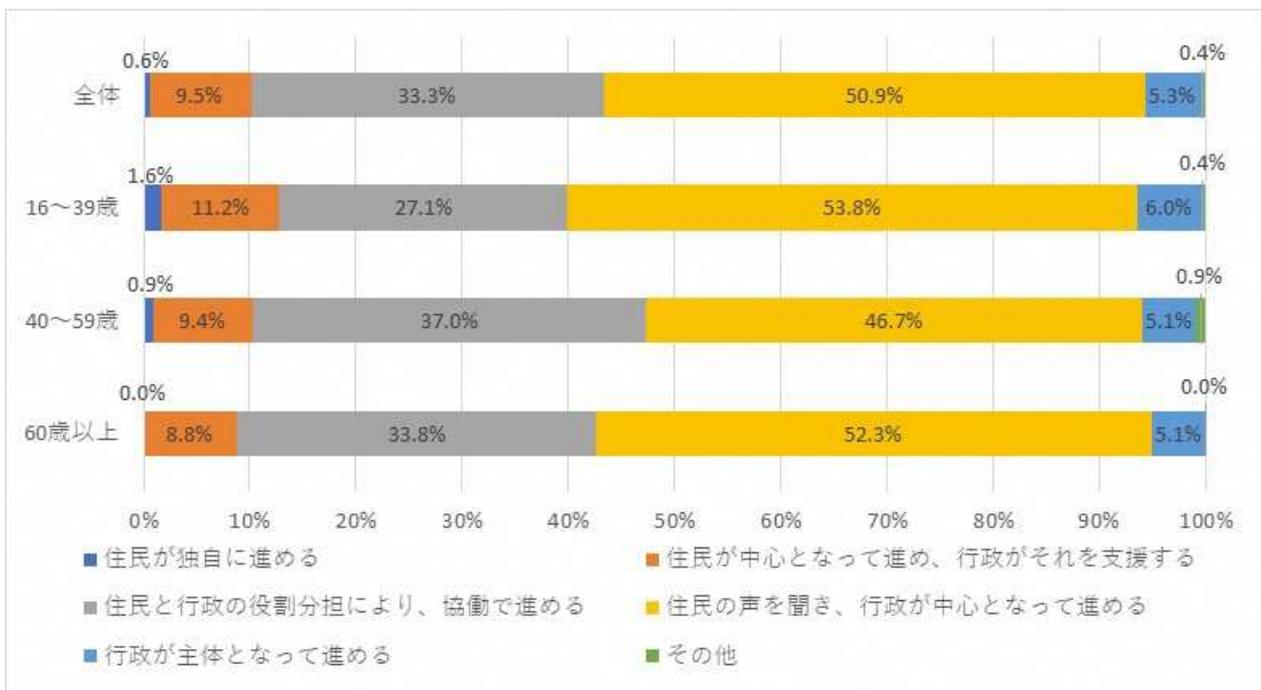
藤枝市のまちづくりの進め方として「住民の声を聞き、行政が中心となって進める」が一番多く49.7%となっている。次いで「住民と行政の協働で進める」が33.0%となっている。

年齢別にみても、「住民の声を聞き、行政が中心となって進める」がどの世代でも一番多くなっていることがわかる。

	回答数	構成比
住民が独自に進める	7	0.6%
住民が中心となり、行政が支援する	108	9.4%
住民と行政の協働で進める	378	33.0%
住民の声を聞き、行政が中心となって進める	569	49.7%
行政が主体となって進める	59	5.1%
その他	4	0.3%
無効票	21	1.8%
合計	1,146	100.0%



【年齢別】

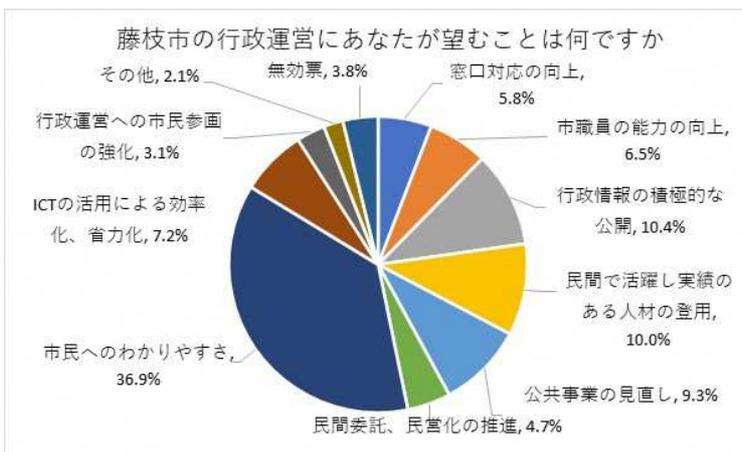


問19 藤枝市の行政運営にあなたが望むことは何ですか？（あてはまるもの1つに○）

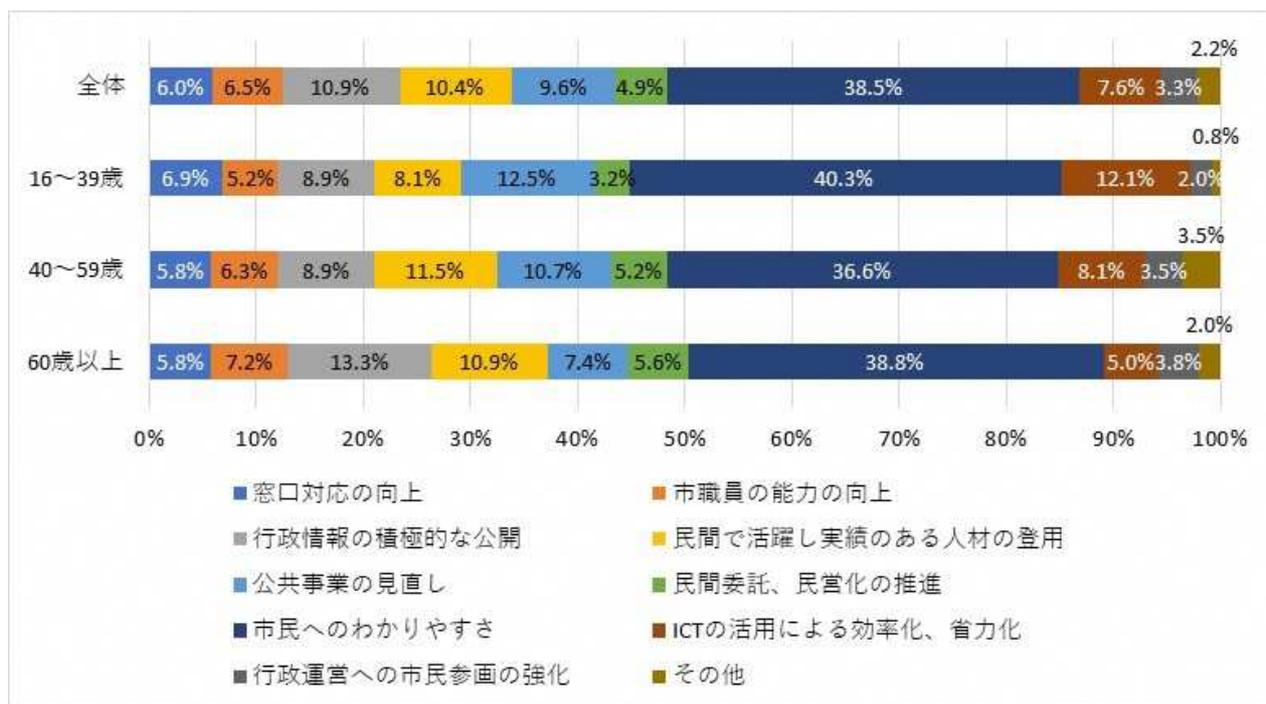
行政運営に望むこととして「市民へのわかりやすさ」が一番多く36.9%であり、次いで「行政情報の積極的な公開」10.4%、「民間で活躍し実績のある人材の登用」10.0%となっている。

年齢別にみると、どの世代でも「市民へのわかりやすさ」が一番多くなっている。16～39歳では「公共事業の見直し」が次いで多くなっている。

	回答数	構成比
窓口対応の向上	67	5.8%
市職員の能力の向上	75	6.5%
行政情報の積極的な公開	119	10.4%
民間で活躍し実績のある人材の登用	115	10.0%
公共事業の見直し	107	9.3%
民間委託、民営化の推進	54	4.7%
市民へのわかりやすさ	423	36.9%
ICTの活用による効率化、省力化	83	7.2%
行政運営への市民参画の強化	36	3.1%
その他	24	2.1%
無効票	43	3.8%
合計	1,146	100.0%



【年齢別】

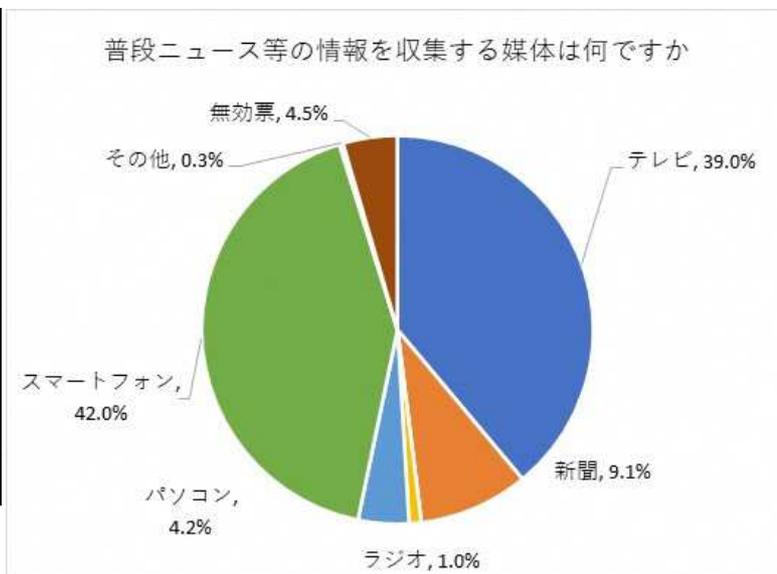


VI 情報収集手段についてお尋ねします。

問20 あなたが普段ニュース等の情報を収集する媒体は何ですか？（一番よく使うもの一つに○）

「スマートフォン」が一番多く42.0%であり、次いで「テレビ」39.0%、「新聞」9.1%となっている。

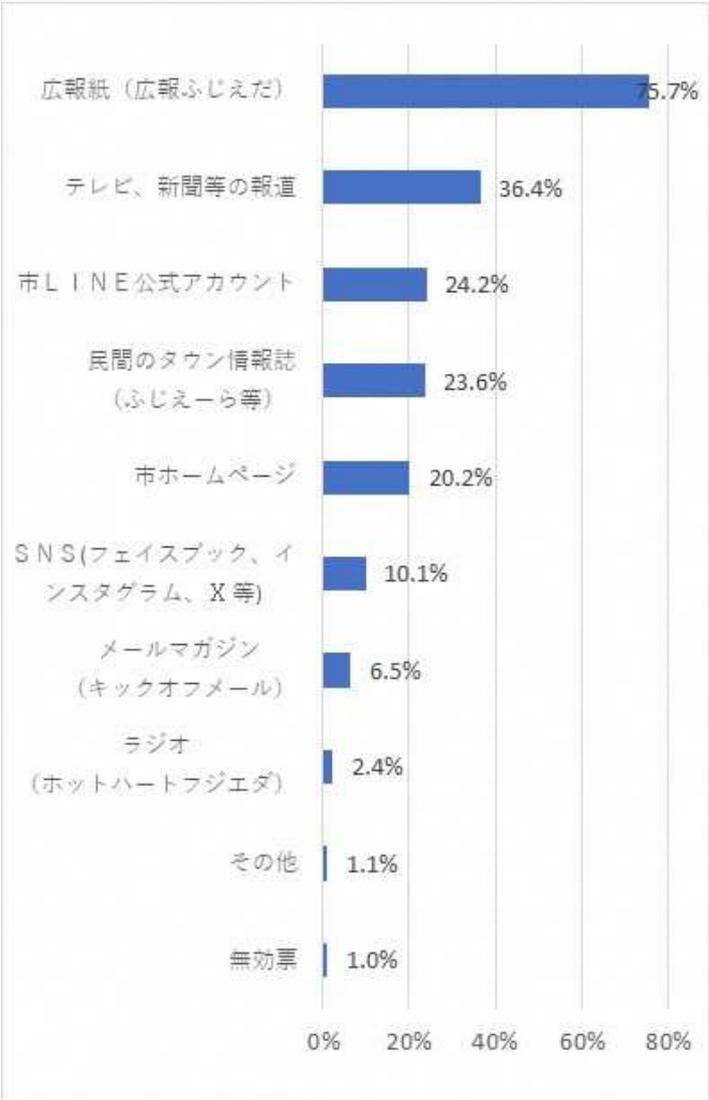
	回答数	構成比
テレビ	447	39.0%
新聞	104	9.1%
雑誌	0	0.0%
ラジオ	11	1.0%
パソコン	48	4.2%
スマートフォン	481	42.0%
その他	3	0.3%
無効票	52	4.5%
合計	1146	100.0%



問 2 1 藤枝市では、情報収集手段の変化に対応し様々な手段で情報発信を行っています。あなたが普段市の情報を収集する媒体は何ですか？（あてはまるもの全てに○）

「広報誌（広報ふじえだ）」が一番多く 75.7%であり、次いで「テレビ、新聞などの報道」36.4%、「市LINE公式アカウント」24.2%となっている。

	回答数	構成比
広報紙 （広報ふじえだ）	867	75.7%
テレビ、新聞等の 報道	417	36.4%
市LINE公式 アカウント	277	24.2%
民間のタウン情報誌 （ふじえーら等）	271	23.6%
市ホームページ	232	20.2%
SNS（フェイスブ ック、インスタグラ ム、X等）	116	10.1%
メールマガジン（キ ックオフメール）	74	6.5%
ラジオ（ホットハ ートフジエダ）	27	2.4%
その他	13	1.1%
無効票	12	1.0%
回答者数	1,146	100.0%

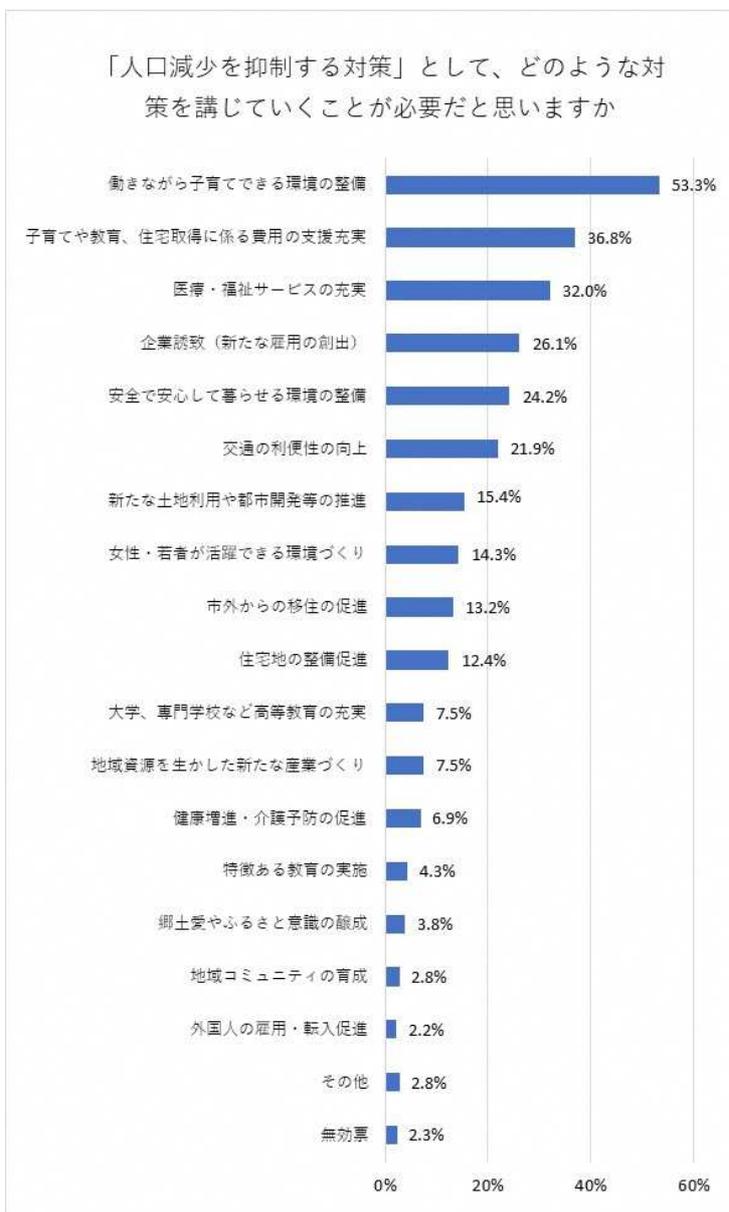


VII 人口減少対策についてお尋ねします。

問2 2 人口減少を抑制する対策として、どのような取組を講じていくことが必要だと思いますか？  
 (あてはまるもの3つに○)

「働きながら子育てできる環境の整備」が一番多く 53.3%であり、次いで「子育てや教育、住宅取得に係る費用の支援充実」36.8%、「医療・福祉サービスの充実」32.0%となっている。

	回答数	構成比
働きながら子育てできる環境の整備	611	53.3%
子育てや教育、住宅取得に係る費用の支援充実	422	36.8%
医療・福祉サービスの充実	367	32.0%
企業誘致（新たな雇用の創出）	299	26.1%
安全で安心して暮らせる環境の整備	277	24.2%
交通の利便性の向上	251	21.9%
新たな土地利用や都市開発等の推進	177	15.4%
女性・若者が活躍できる環境づくり	164	14.3%
市外からの移住の促進	151	13.2%
住宅地の整備促進	142	12.4%
大学、専門学校など高等教育の充実	86	7.5%
地域資源を生かした新たな産業づくり	86	7.5%
健康増進・介護予防の促進	79	6.9%
特徴ある教育の実施	49	4.3%
郷土愛やふるさと意識の醸成	43	3.8%
地域コミュニティの育成	32	2.8%
外国人の雇用・転入促進	25	2.2%
その他	32	2.8%
無効票	26	2.3%
回答者数	1146	



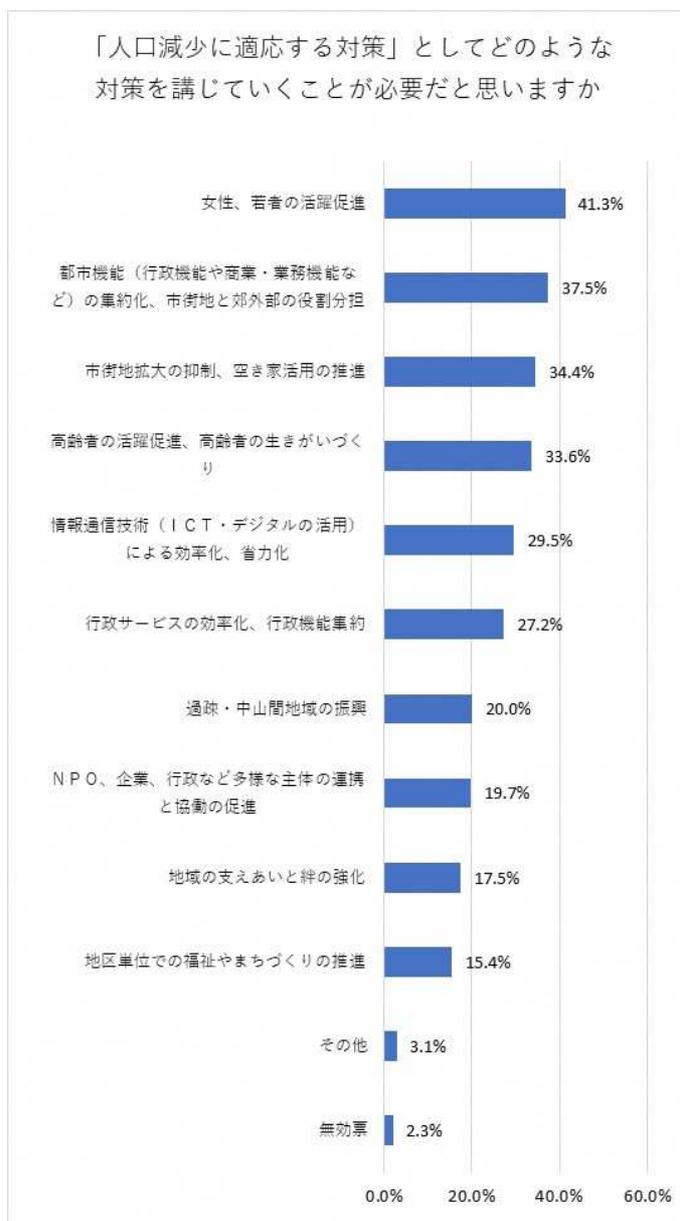
問23 人口が減少する社会にも対応した効率的で最適なまちづくりとして、どのような対策を講じていくことが必要だと思いますか？（あてはまるもの3つに○）

「女性、若者の活躍促進」が一番多く41.3%であり、次いで「都市機能（行政機能や商業・業務機能など）の集約化、市街地と郊外部の役割分担」37.5%、「市街地拡大の抑制、空き家活用の推進」34.4%となっている。

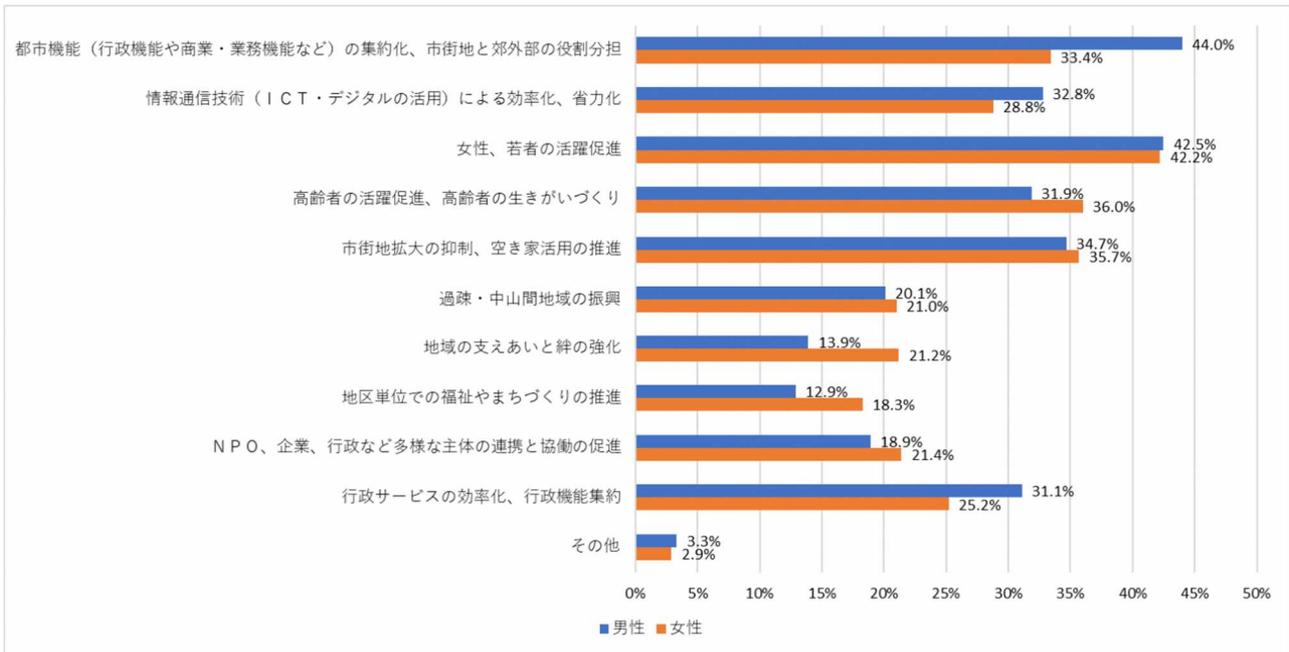
男女別にみると、「都市機能の集約化、市街地と郊外部の役割分担」について男性の方が約10%多く、「地域の支えあいと絆の強化」について女性の方が10%以上多くなっている。

年齢別にみると、16～39歳、40～59歳では、「高齢者の活躍促進、高齢者の生きがいがづくり」が一番多くなっている。60歳以上では、「女性、若者の活躍促進」が多くなっている。

	回答数	構成比
女性、若者の活躍促進	473	41.3%
都市機能（行政機能や商業・業務機能など）の集約化、市街地と郊外部の役割分担	430	37.5%
市街地拡大の抑制、空き家活用の推進	394	34.4%
高齢者の活躍促進、高齢者の生きがいがづくり	385	33.6%
情報通信技術（ICT・デジタルの活用）による効率化、省力化	338	29.5%
行政サービスの効率化、行政機能集約	312	27.2%
過疎・中山間地域の振興	229	20.0%
NPO、企業、行政など多様な主体の連携と協働の促進	226	19.7%
地域の支えあいと絆の強化	201	17.5%
地区単位での福祉やまちづくりの推進	177	15.4%
その他	36	3.1%
無効票	26	2.3%
回答者数	1,146	

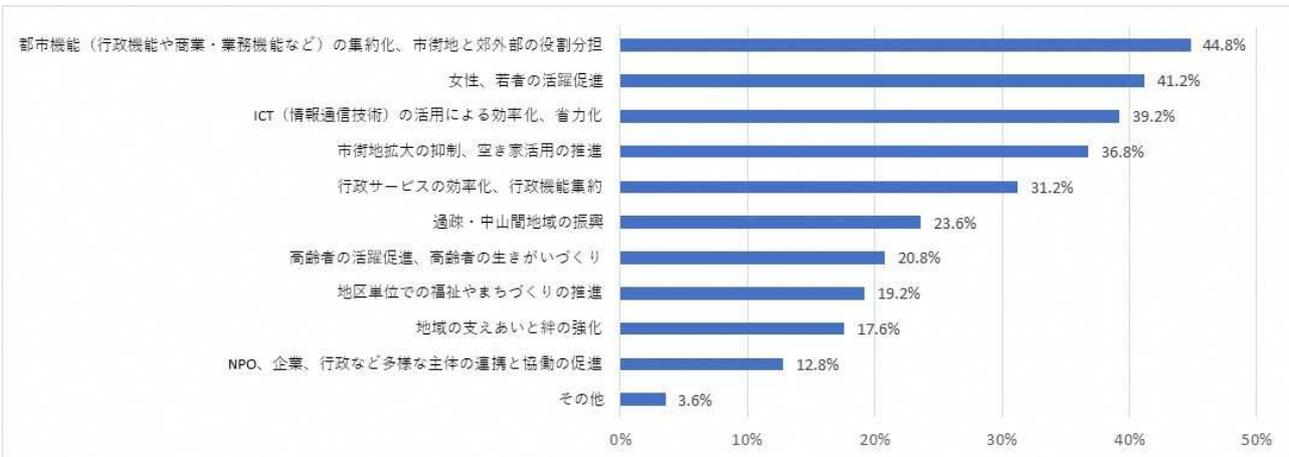


## 【男女別】

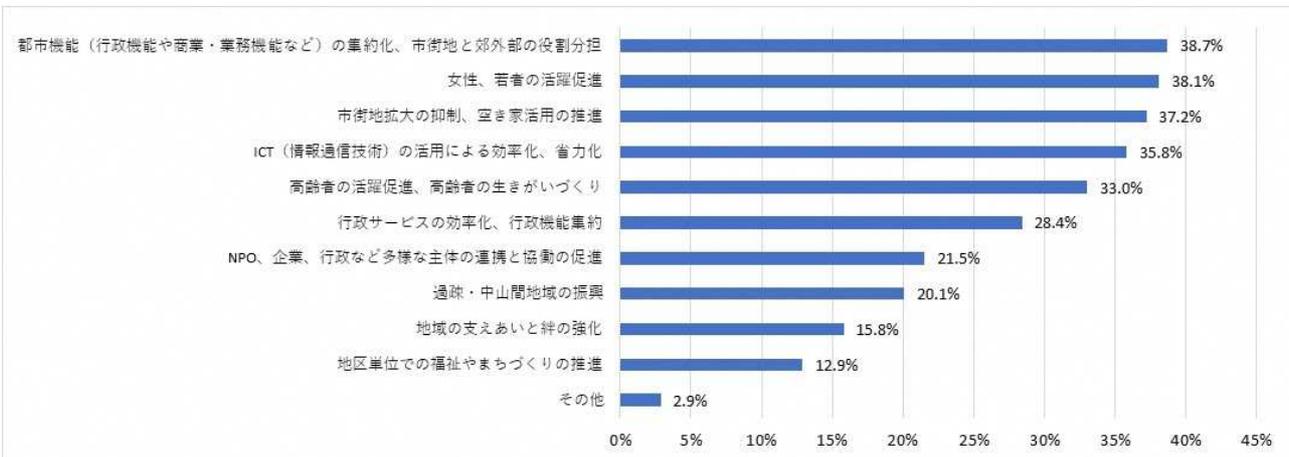


## 【年齢別】

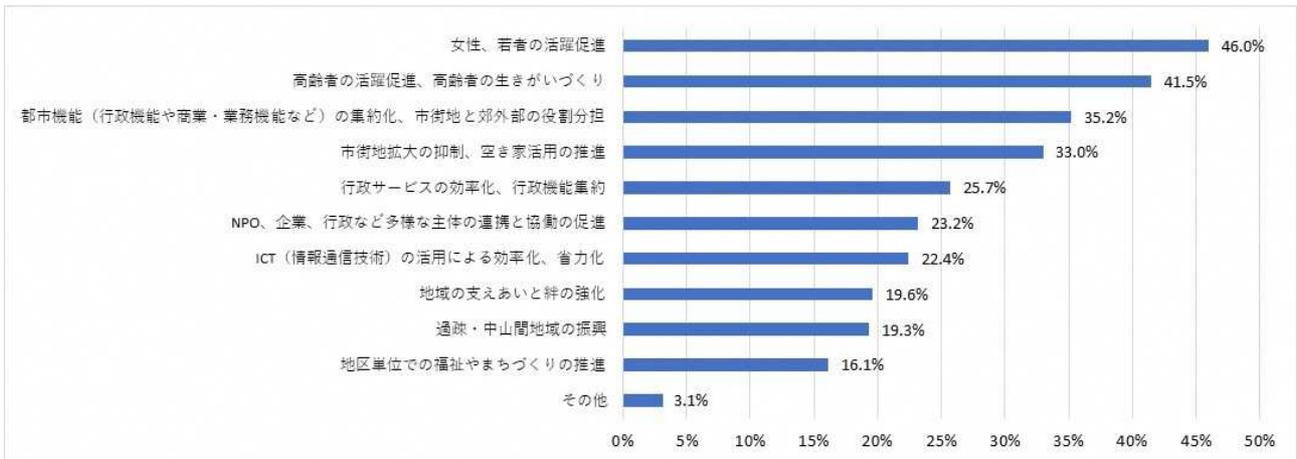
### ○16～39 歳



### ○40～59 歳



## ○60 歳以上

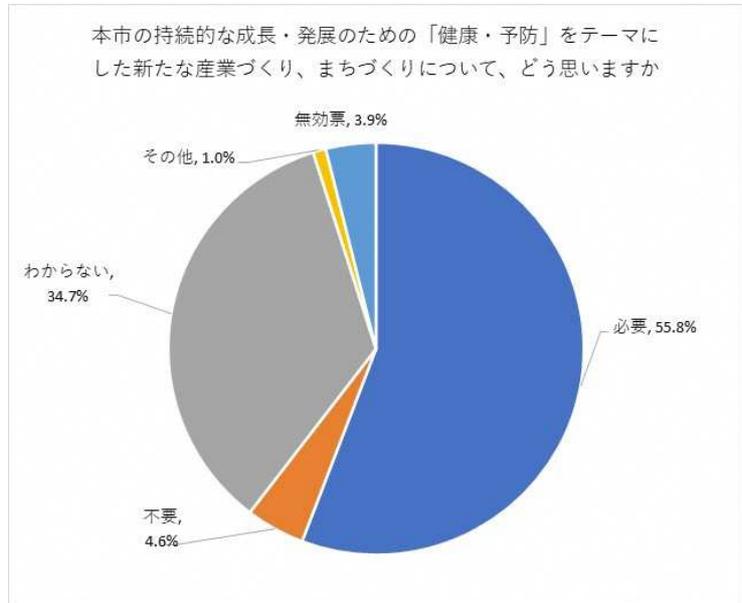


VIII 「健康・予防のまちづくり」についてお尋ねします。

問24-1 本市の持続的な成長・発展のため「健康・予防」をテーマにした新たな産業づくり、まちづくりについて、どう思いますか？（あてはまるもの全てに○）

「必要」と思っている人が55.8%で過半数であり、「不要」と思っている人は4.6%となっている。

	回答数	構成比
必要	639	55.8%
不要	53	4.6%
わからない	398	34.7%
その他	11	1.0%
無効票	45	3.9%
合計	1,146	100.0%

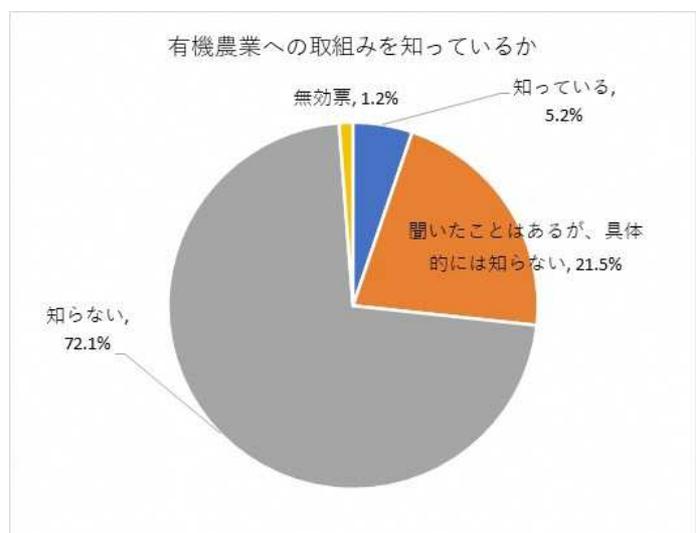


問25-1 本市が50年以上続く有機農業※の産地であり、一昨年に全国に先駆けて「オーガニックビレッジ宣言」を行い、生産や流通、消費の拡大を進めていることを知っていますか？

※化学肥料や農薬を原則使用せず、また遺伝子組換え技術を利用せずに農業生産による環境への負荷を低減することを目的とした農業。藤枝市では茶や米など浜松市に次ぐ県内2位の生産面積を有する。

「知っている」と回答した方は、5.2%であり、「聞いたことはあるが、具体的には知らない」、「知らない」を合計すると93.6%であり、ほとんどの方が知らない。

	回答数	構成比
知っている	60	5.2%
聞いたことはあるが、具体的には知らない	246	21.5%
知らない	826	72.1%
無効票	14	1.2%
合計	1,146	100.0%

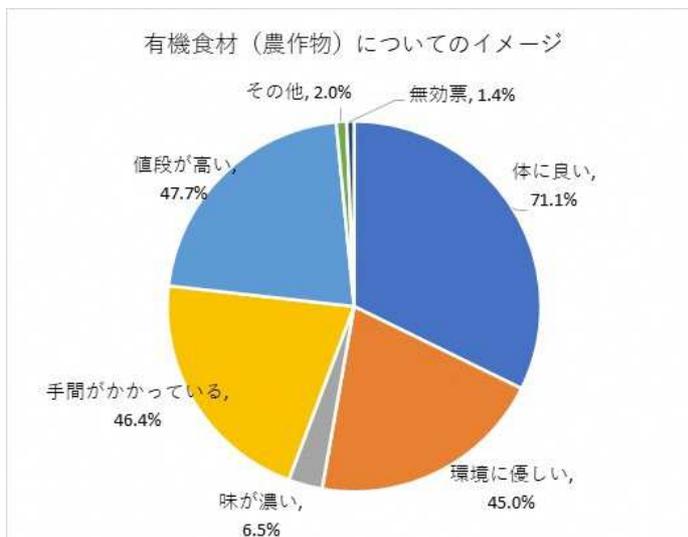


問25-2 有機食材（農作物）についてのイメージを教えてください。  
 てはまるもの全てに○)

(あ

「体に良い」が一番多く71.1%であり、次いで「値段が高い」47.7%、「手間がかかっている」46.4%となっている。

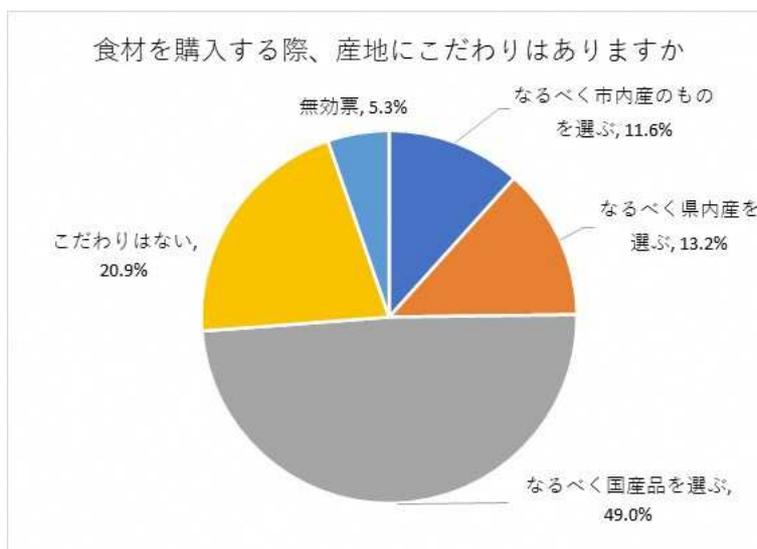
	回答数	構成比
<b>体に良い</b>	<b>815</b>	<b>71.1%</b>
環境に優しい	516	45.0%
味が濃い	75	6.5%
<b>手間がかかっている</b>	<b>532</b>	<b>46.4%</b>
<b>値段が高い</b>	<b>547</b>	<b>47.7%</b>
その他	23	2.0%
無効票	16	1.4%
回答者数	1,146	100.0%



問25-3 食材を購入する際、産地にこだわりがありますか？

「なるべく国産品を選ぶ」が一番多く49.0%であり、次いで「こだわりはない」20.9%、「なるべく県内産を選ぶ」13.2%となっている。

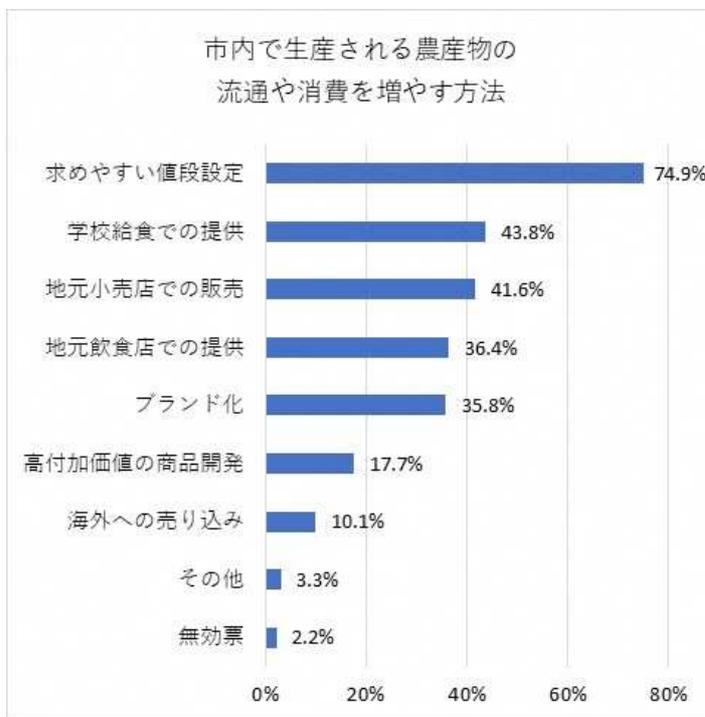
	回答数	構成比
なるべく市内産のものを選ぶ	133	11.6%
<b>なるべく県内産を選ぶ</b>	<b>151</b>	<b>13.2%</b>
<b>なるべく国産品を選ぶ</b>	<b>562</b>	<b>49.0%</b>
こだわりはない	239	20.9%
無効票	61	5.3%
合計	1,146	100.0%



問25-4 市内で生産される農産物の流通や消費を増やす方法として、どのようなことが必要だと思いますか？（あてはまるものに全てに○）

「求めやすい値段設定」が一番多く74.9%であり、次いで「学校給食での提供」43.8%、「地元小売店での販売」41.6%となっている。

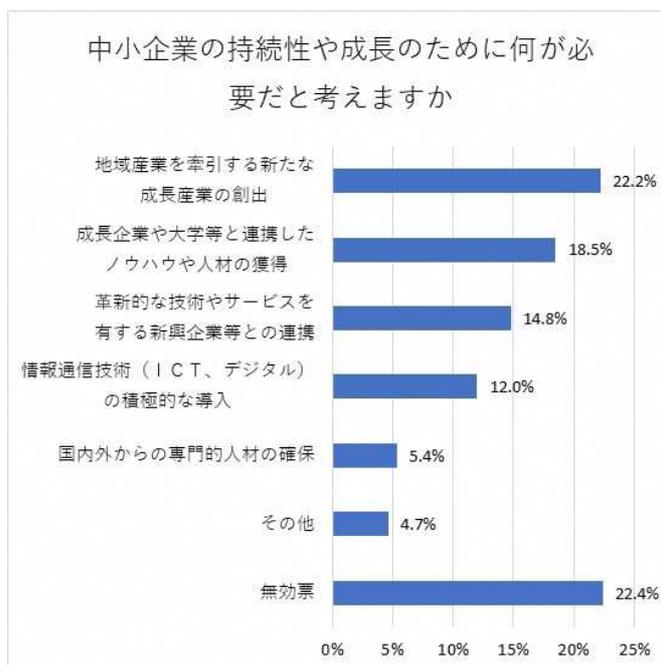
	回答数	構成比
<b>求めやすい値段設定</b>	<b>858</b>	<b>74.9%</b>
<b>学校給食での提供</b>	<b>502</b>	<b>43.8%</b>
<b>地元小売店での販売</b>	<b>477</b>	<b>41.6%</b>
地元飲食店での提供	417	36.4%
ブランド化	410	35.8%
高付加価値の商品開発	203	17.7%
海外への売り込み	116	10.1%
その他	38	3.3%
無効票	25	2.2%
回答者数	1,146	100.0%



問25-5 農業や市内の約9割を占める中小企業の持続性や成長のために何が必要だと思いますか？

「地域産業を牽引する新たな成長産業の創出」が一番多く22.2%であり、次いで「成長企業や大学等と連携したノウハウや人材の獲得」18.5%、「革新的な技術やサービスを有する新興企業等との連携」14.8%となっている。

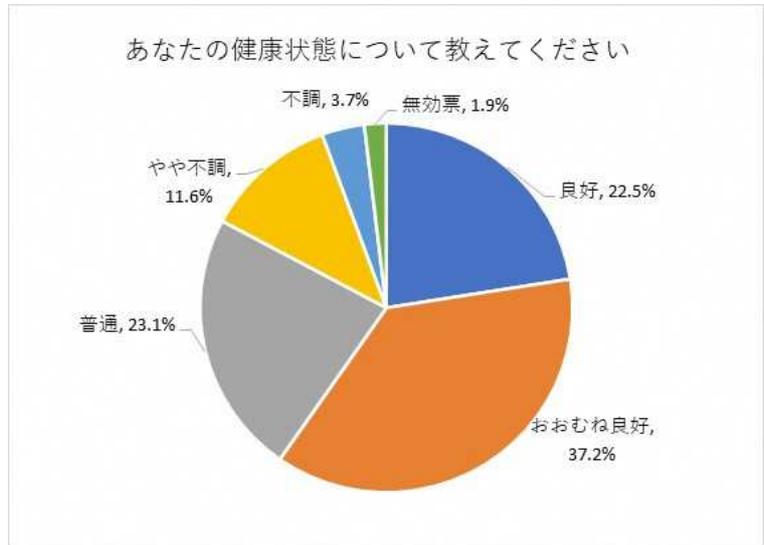
	回答数	構成比
<b>地域産業を牽引する新たな成長産業の創出</b>	<b>254</b>	<b>22.2%</b>
<b>成長企業や大学等と連携したノウハウや人材の獲得</b>	<b>212</b>	<b>18.5%</b>
<b>革新的な技術やサービスを有する新興企業等との連携</b>	<b>170</b>	<b>14.8%</b>
情報通信技術（ICT、デジタル）の積極的な導入	137	12.0%
国内外からの専門的人材の確保	62	5.4%
その他	54	4.7%
無効票	257	22.4%
合計	1,146	100.0%



問26-1 あなたの健康状態について教えてください。

「おおむね良好」が一番多く37.2%であり、次いで「普通」23.1%、「良好」22.5%となっている。

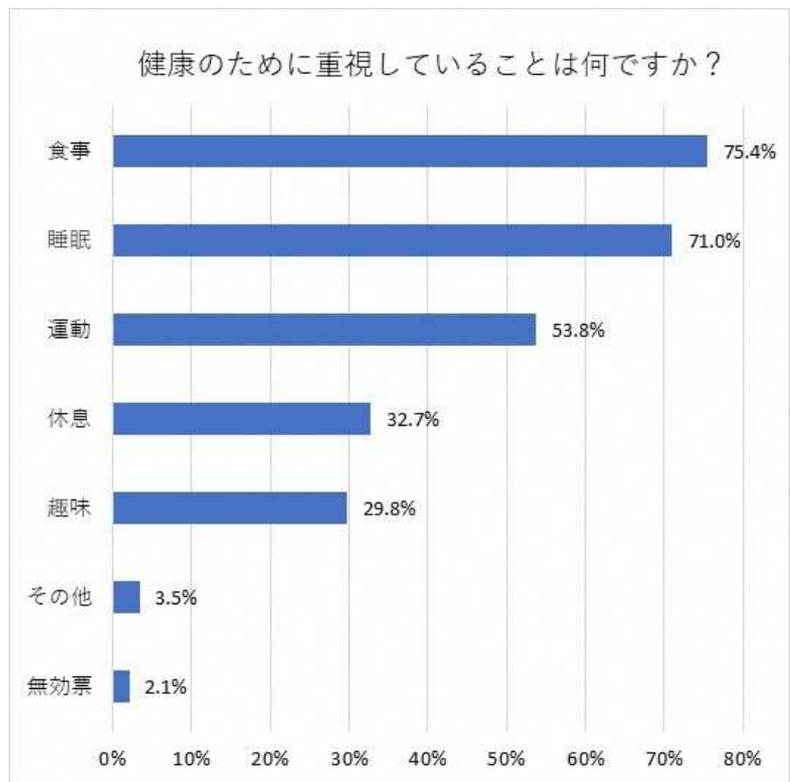
	回答数	構成比
良好	258	22.5%
おおむね良好	426	37.2%
普通	265	23.1%
やや不調	133	11.6%
不調	42	3.7%
無効票	22	1.9%
合計	1,146	100.0%



問26-2 健康のために重視していることは何ですか？（あてはまるものに全てに○）

「食事」が一番多く75.4%であり、次いで「睡眠」71.0%、「運動」53.8%となっている。

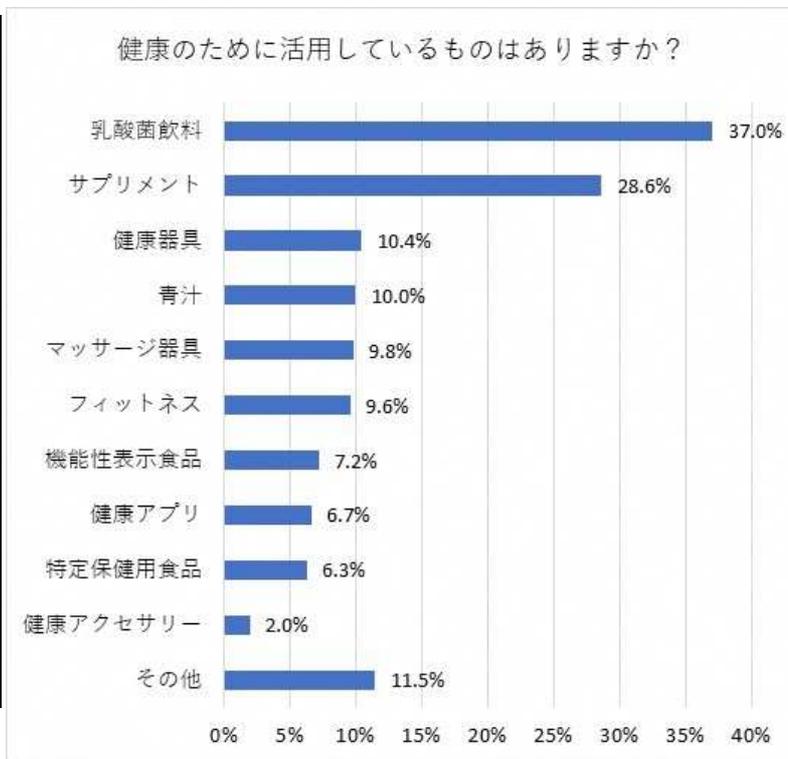
	回答数	構成比
食事	864	75.4%
睡眠	814	71.0%
運動	616	53.8%
休息	375	32.7%
趣味	342	29.8%
その他	40	3.5%
無効票	24	2.1%
回答者数	1,146	



問26-3 健康のために活用しているものはありますか？（あてはまるものに全てに○）

「乳酸菌飲料」が一番多く 37.0%であり、次いで「サプリメント」28.6%、「健康器具」10.4%となっている。

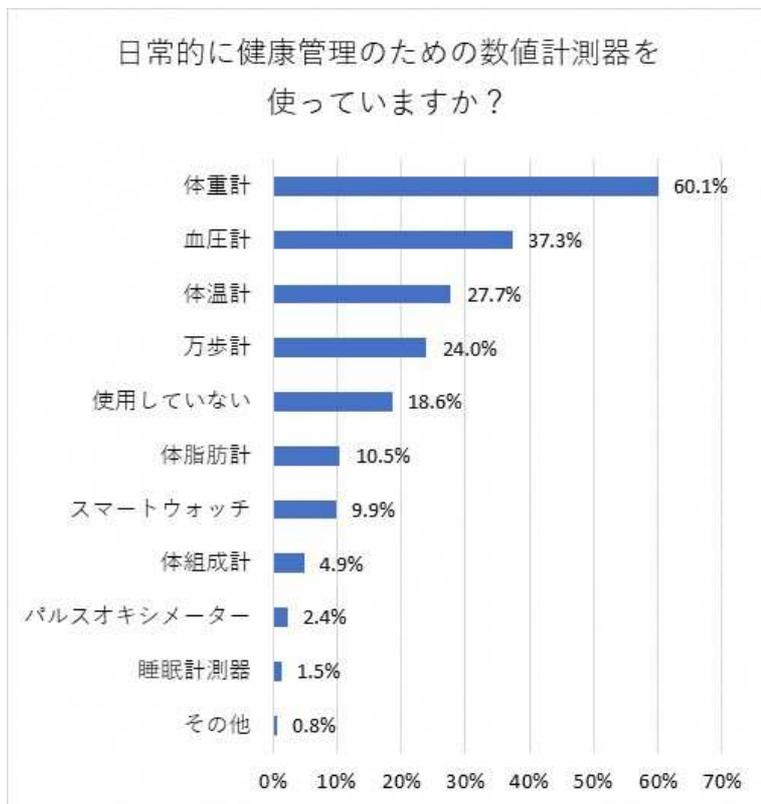
	回答数	構成比
乳酸菌飲料	424	37.0%
サプリメント	328	28.6%
健康器具	119	10.4%
青汁	115	10.0%
マッサージ器具	112	9.8%
フィットネス	110	9.6%
機能性表示食品	83	7.2%
健康アプリ	77	6.7%
特定保健用食品	72	6.3%
健康アクセサリ	23	2.0%
その他	132	11.5%
無効票	162	14.1%
回答者数	1,146	



問26-4 日常的に健康管理のための数値計測機器を使っていますか？（あてはまるものに全てに○）

「体重計」が一番多く60.1%であり、次いで「血圧計」37.3%、「体温計」27.7%となっている。

	回答数	構成比
<b>体重計</b>	<b>689</b>	<b>60.1%</b>
<b>血圧計</b>	<b>427</b>	<b>37.3%</b>
<b>体温計</b>	<b>318</b>	<b>27.7%</b>
万歩計	275	24.0%
使用していない	213	18.6%
体脂肪計	120	10.5%
スマートウォッチ	114	9.9%
体組成計	56	4.9%
パルスオキシメーター	27	2.4%
睡眠計測器	17	1.5%
その他	9	0.8%
無効票	28	2.4%
回答者数	1,146	



問26-5 「健康・予防」のための商品やサービスを開発し、また皆さんに健康行動を促すためには、必要なデータを収集し、分析して、「見える化」することが求められます。問26-4で計測した数値を匿名の情報に加工（個人が特定できる情報を消去）し、活用したい場合、データ提供にご協力をいただけますか？

「協力可能」と回答した方は31.9%であった。

	回答数	構成比
<b>協力可能</b>	<b>366</b>	<b>31.9%</b>
どちらとも言えない	477	41.6%
協力不可	254	22.2%
無効票	49	4.3%
合計	1,146	100.0%

